
長与町 男女共同参画アンケート調査 結果報告書

令和4年10月

長与町

目 次

| | |
|--|----|
| I 調査の概要 | 1 |
| 1 調査の目的 | 3 |
| 2 調査対象及び調査方法等 | 3 |
| 3 回収結果 | 3 |
| 4 調査内容 | 3 |
| 5 数値の基本的な取扱いについて | 3 |
| II 調査結果 | 5 |
| 1 回答者の属性 | 7 |
| (1) 性別 | 7 |
| (2) 結婚 | 7 |
| (3) 配偶者の就業状況 | 8 |
| (4) 世帯構成 | 9 |
| (5) 年齢 | 9 |
| (6) 職業 | 10 |
| 2 男女平等(男女の地位)について | 12 |
| 3 家庭生活や地域活動について | 21 |
| (1) 家庭の中での男女の役割分担(現在) | 21 |
| (2) 家庭の中での男女の役割分担(希望) | 33 |
| (3) 男女の家庭生活と地域活動の参加支援 | 45 |
| 4 男女の働き方について | 47 |
| (1) 性別役割分担意識について | 47 |
| (2) 女性が仕事をする事 | 48 |
| (3) 女性の再就職について | 50 |
| (4) 男性の育児休業や介護休業の利用について | 52 |
| (5) 男性の育児休業や介護休業の状況改善について | 54 |
| 5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について | 56 |
| (1) 仕事と生活の優先度 | 56 |
| (2) 男女の仕事と家庭の両立支援 | 59 |
| 6 女性の活躍推進について | 61 |
| (1) 女性の参画の現状 | 61 |
| (2) 職場における女性の活躍推進について | 63 |
| (3) 地域における女性の活躍推進について | 65 |
| 7 ハラスメントについて | 67 |
| (1) セクシャル・ハラスメント | 67 |
| (2) マタニティ・ハラスメント | 68 |
| (3) パタニティ・ハラスメント | 69 |
| (4) パワー・ハラスメント | 70 |
| (5) 上記の行為を身近な人が受けているのを見聞きしたこと | 71 |
| 8 配偶者や交際相手からの暴力(ドメスティックバイオレンス「DV」)について | 72 |
| (1) 暴力被害の経験 | 72 |
| (2) 被害の相談 | 74 |
| (3) 相談しなかった(できなかった)・相談しようと思わなかった理由 | 76 |

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 9 性の多様性について | 78 |
| (1) 性的マイノリティ(性的少数者)という言葉について..... | 78 |
| (2) 自分の性別や恋愛対象となる性別について | 79 |
| 10 防災分野における男女共同参画について..... | 80 |
| 11 子どもへの男女共同参画教育について | 81 |
| 12 男女共同参画の実現について..... | 83 |
| 13 男女共同参画用語について | 84 |
| Ⅲ 自由記述意見 | 91 |
| Ⅳ 使用した調査票 | 103 |

I 調査の概要

1 調査の目的

男女共同参画社会を形成する施策の推進及び、今年度策定する第4次長与町男女共同参画計画の作成基礎資料を収集するために実施しました。

2 調査対象及び調査方法等

| | |
|------|---------------------------|
| 調査地域 | 長与町全域 |
| 調査対象 | 満18歳以上の町民 |
| 標本数 | 2,000人 |
| 抽出法 | 令和4年6月1日現在の住民基本台帳による無作為抽出 |
| 調査方法 | 郵送配布・回収 |
| 調査時期 | 令和4年6月24日～7月15日 |

3 回収結果

| | 全体 | 男性 | 女性 | その他 | 備考 |
|-------|-------|-------|-------|-----|--------|
| 標本数 | 2,000 | 936 | 1,064 | | |
| 有効回収数 | 684 | 287 | 392 | 1 | 性別不明 4 |
| 有効回収率 | 34.2% | 30.7% | 36.8% | | |

4 調査内容

- (1)男女平等(男女の地位)について
- (2)家庭生活や地域活動について
- (3)男女の働き方について
- (4)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について
- (5)女性の活躍推進について
- (6)ハラスメントについて
- (7)配偶者や交際相手からの暴力(ドメスティックバイオレンス「DV」)について
- (8)性の多様性について
- (9)防災分野における男女共同参画について
- (10)子どもへの男女共同参画教育について
- (11)男女共同参画の実現について
- (12)男女共同参画用語について

5 数値の基本的な取扱いについて

- 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示しています。
- 百分率は小数第2位を四捨五入しました。したがって比率の合計が100%にならない場合があります。
- 1人の回答者が複数回答してもよい質問では、比率の合計が100%を上回る場合があります。
- 「無回答」とは、回答していない者または回答規則に反した回答(単数回答設問における複数回答など)者の数です。

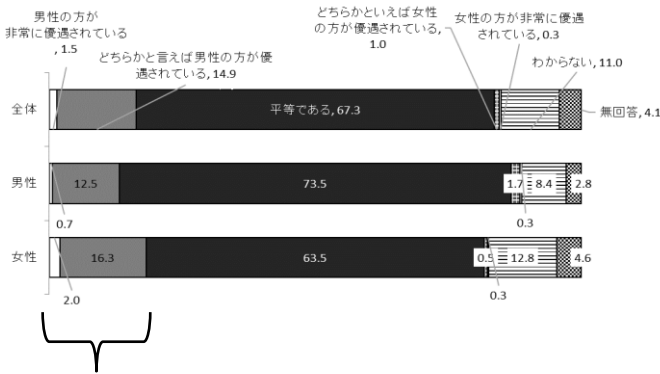
I 調査の概要

□問と問の関係をみるクロス集計において、表側（縦列）は「無回答」を除いています。そのため合計は「n」数と一致しません。

□回答者数（n）が概ね 30 を下回る設問については分析の対象外とする場合があります。また、性別がその他の者と 10 代の男女は回答者数が 10 以下のため、性別または年齢別の分析の対象から除いています。

□カテゴリ（選択肢）の比率を合計して比較する場合（下例参照）、小数点第 2 位を四捨五入しているため、グラフ上の数値を合計したものと一致しないことがあります。

例) 学校教育における男女の地位 問 1(3)



| カテゴリ名 | n=392 | 合計 |
|----------------------|-------|-----------------------|
| 男性の方が非常に優遇されている | 2.04 | “男性優遇” |
| どちらかといえば男性の方が優遇されている | 16.32 | 18.36% → 18.4% |
| 平等 | 63.52 | “平等” 63.5% ↑ |
| どちらかといえば女性の方が優遇されている | 0.51 | “女性優遇” |
| 女性の方が非常に優遇されている | 0.25 | 0.76% → 0.8% |
| わからない | 12.75 | |
| 無回答 | 4.59 | |
| 全体 | 100 | |

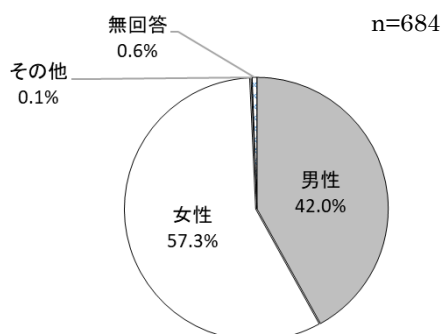
グラフ上で合計した場合

数表で合計した場合

II 調査結果

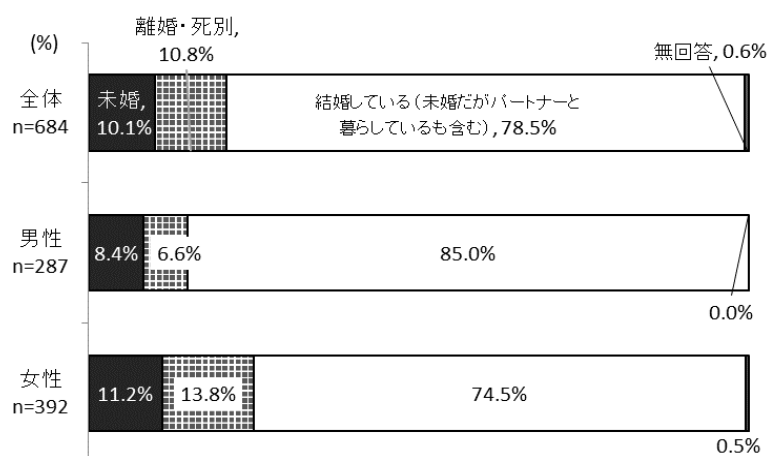
1 回答者の属性

(1) 性別



女性が57.3%、男性が42%、その他が0.1%となっています。「無回答」(0.6%)は性別を回答しなかった割合です。

(2) 結婚



全体では、「結婚している (未婚だがパートナーと暮らしているを含む)」が78.5%を占め、「離婚・死別」は10.8%、「未婚」が10.1%となっています。

男性は「結婚している」が85.0%と女性(74.5%)に比べて多く、女性は「離婚・死別」がやや多くなっています。

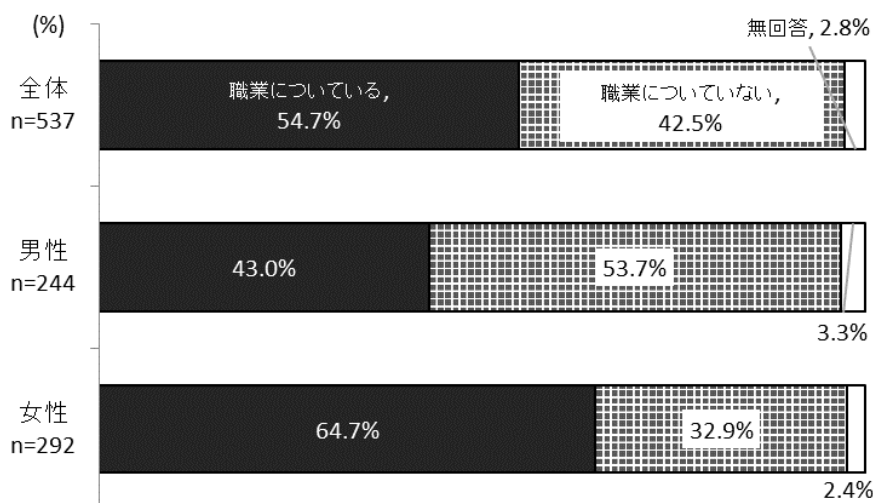
年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 未婚 | 離婚・死別 | 結婚している (未婚だがパートナーと暮らしているも含む) | 無回答 |
|-------|----------|-------|-------|------------------------------|-----|
| 全体 | 684 | 10.1 | 10.8 | 78.5 | 0.6 |
| 10代 | 4 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20代 | 34 | 76.5 | 0.0 | 23.5 | 0.0 |
| 30代 | 85 | 17.6 | 3.5 | 78.8 | 0.0 |
| 40代 | 96 | 8.3 | 2.1 | 89.6 | 0.0 |
| 50代 | 122 | 5.7 | 12.3 | 82.0 | 0.0 |
| 60代 | 143 | 4.2 | 12.6 | 83.2 | 0.0 |
| 70代以上 | 196 | 1.5 | 17.9 | 80.1 | 0.5 |

30代以上で「結婚している (未婚だがパートナーと暮らしているを含む)」が78%~90%弱となっています。「未婚」は10代で100%、20代で76.5%、30代で17.6%です。「離婚・死別」は70代以上で17.9%と全年代中で最も多くなっています。

(3) 配偶者の就業状況



前問で「結婚している（未婚だがパートナーと暮らしているを含む）」と回答した 537 人に配偶者の就業状況を聞いたところ、「職業についている」が 54.7%、「職業についていない」が 42.5% です。

性別でみると、配偶者が「職業についている」のは男性が 43.0%に対し、女性は 64.7%となっています。

これ以降、本報告書では、配偶者が職業についている場合は「共働き」、配偶者が職業についていない場合は「片働き」と表記します。

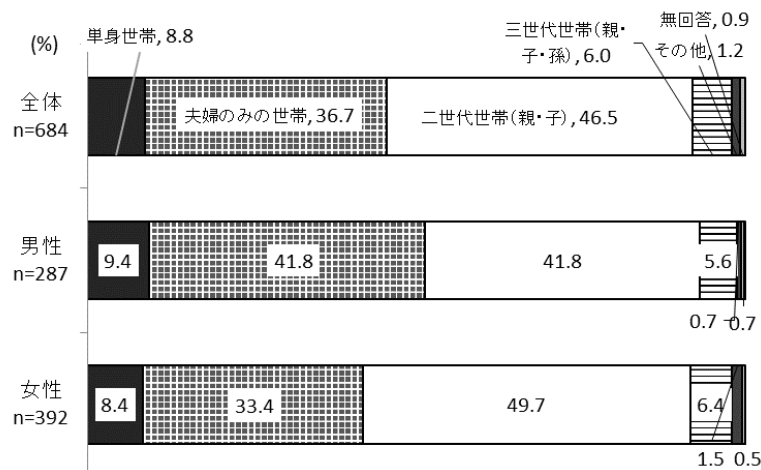
年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 職業についている (%) | 職業についていない (%) | 無回答 (%) |
|-------|----------|--------------|---------------|---------|
| 全体 | 537 | 54.7 | 42.5 | 2.8 |
| 男性 | 244 | 43.0 | 53.7 | 3.3 |
| 女性 | 292 | 64.7 | 32.9 | 2.4 |
| 10代 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20代 | 8 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 67 | 88.1 | 10.4 | 1.5 |
| 40代 | 86 | 76.7 | 20.9 | 2.3 |
| 50代 | 100 | 81.0 | 16.0 | 3.0 |
| 60代 | 119 | 54.6 | 42.9 | 2.5 |
| 70代以上 | 157 | 9.6 | 86.6 | 3.8 |

年齢別でみると、「共働き」は 20～50 代では約 80%となり、20 代が 100%、30 代が 88.1% の順で多くなっています。

(4) 世帯構成



全体では、「二世帯世帯（親・子）」が最も多く 46.5%、「夫婦のみの世帯」が 36.7%、「単身世帯」「三世帯世帯（親・子・孫）」が 10%未満で続いています。

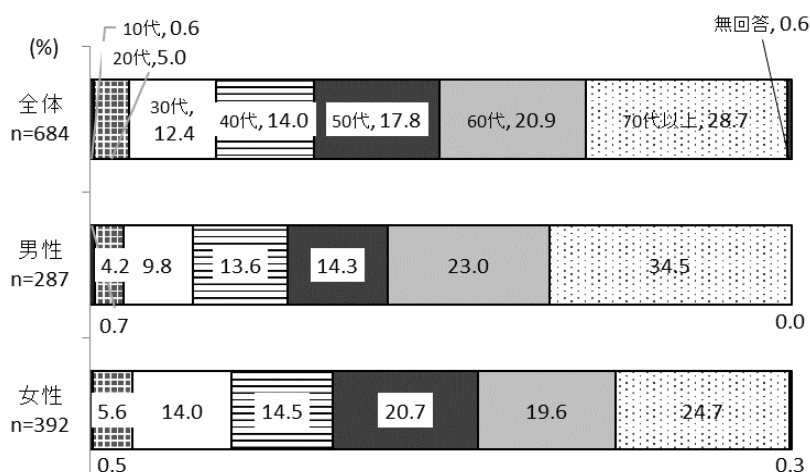
年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 単身世帯 | 夫婦のみの世帯 | 二世帯世帯 (親・子) | 三世帯世帯 (親・子・孫) | その他 | 無回答 |
|----------|----------|------|---------|-------------|---------------|-----|-----|
| 全体 n=684 | 684 | 8.8 | 36.7 | 46.5 | 6.0 | 1.2 | 0.9 |
| 男性 n=287 | 287 | 9.4 | 41.8 | 41.8 | 5.6 | 0.7 | 0.7 |
| 女性 n=392 | 392 | 8.4 | 33.4 | 49.7 | 6.4 | 1.5 | 0.5 |
| 10代 | 4 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20代 | 34 | 20.6 | 5.9 | 70.6 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 85 | 4.7 | 7.1 | 83.5 | 4.7 | 0.0 | 0.0 |
| 40代 | 96 | 4.2 | 13.5 | 74.0 | 7.3 | 0.0 | 1.0 |
| 50代 | 122 | 7.4 | 36.9 | 53.3 | 2.5 | 0.0 | 0.0 |
| 60代 | 143 | 8.4 | 53.1 | 29.4 | 8.4 | 0.7 | 0.0 |
| 70代以上 | 196 | 11.7 | 55.6 | 21.4 | 6.1 | 3.6 | 1.5 |

20~50代は「二世帯世帯（親・子）」、60代以上は「夫婦のみの世帯」が多くなっています。70代以上の単身世帯が 11.7%と 20代 の 20.6%に続いて 2 番目に多くなっています。

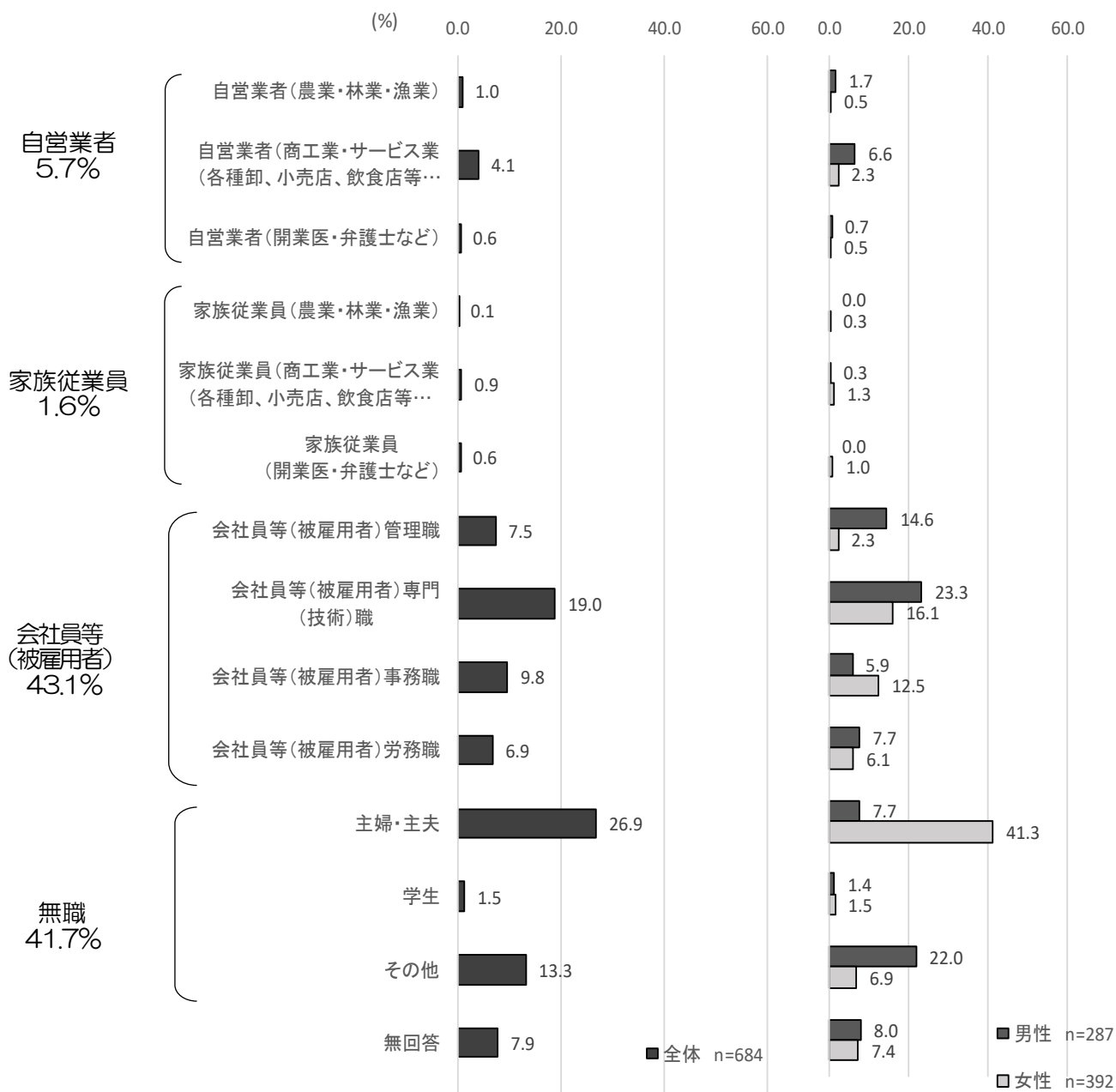
(5) 年齢



全体では、70代以上が 28.7%と最も多く、10代が 0.6%と最も少なくなっており、年代順で続いています。

男性は 70代以上が 30%台、60代が 20%台、50代、40代は 10%台、女性は 70代以上、50代 20%台、60代、40代、30代は 10%台、男女とも 20代と 10代は 10%未満となっています。

(6) 職業



全体では「主婦・主夫」が 26.9%と最も多く、「専門(技術)職」(19%)、「無職(その他)」(13.3%)が続いています。類型化すると、「会社員等(被雇用者)」と「無職」が 40%台、「自営業者」「家族従業員」が 10%未満です。

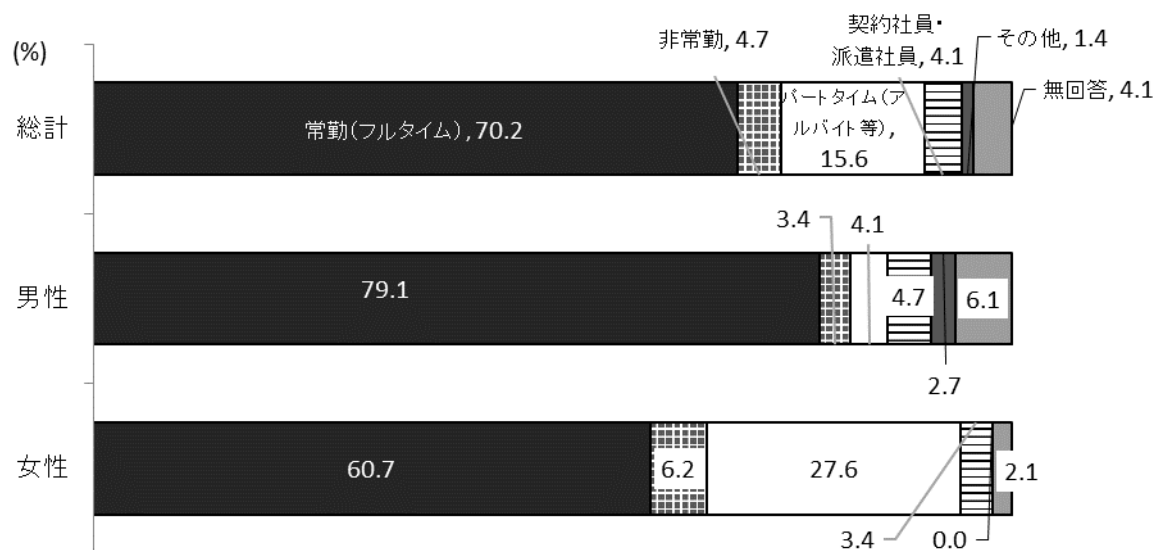
年齢別

(単位: %)

| 選択項目 | 回答者数 (人) | 自営業者 | | | 自営業者 計 | 家族従業員 | | | 家族従業員 計 | 無職計 | 無回答 |
|-------|-------------|--------------------|--|---------------------|-------------------|---------------------|---|----------------------|------------|------|------|
| | | 自営業者 (農業・林業・漁業) | 自営業者 (商工業・サービス業 (各種卸、小売店、飲食店等サービス業)) | 自営業者 (開業医・弁護士など) | | 家族従業員 (農業・林業・漁業) | 家族従業員 (商工業・サービス業(各種卸、小売店、飲食店等サービス業)) | 家族従業員 (開業医・弁護士など) | | | |
| 全体 | 684 | 1.0 | 4.1 | 0.6 | 5.7 | 0.1 | 0.9 | 0.6 | 1.6 | | |
| 10代 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 20代 | 34 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 30代 | 85 | 0.0 | 1.2 | 1.2 | 2.4 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 1.2 | | |
| 40代 | 96 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 2.1 | 0.0 | 2.1 | | |
| 50代 | 122 | 0.8 | 8.2 | 1.6 | 10.7 | 0.0 | 0.8 | 0.8 | 1.6 | | |
| 60代 | 143 | 2.1 | 4.9 | 0.7 | 7.7 | 0.0 | 1.4 | 0.7 | 2.1 | | |
| 70代以上 | 196 | 1.5 | 3.1 | 0.0 | 4.6 | 0.5 | 0.0 | 1.0 | 1.5 | | |
| 選択項目 | 回答者数 (人) | 会社員等(被雇用者) | | | | 会社員等 (被雇用者) 計 | 無職 | | | 無職計 | 無回答 |
| | | 会社員等 (被雇用者)管理職 | 会社員等 (被雇用者)専門 (技術)職 | 会社員等 (被雇用者)事務職 | 会社員等 (被雇用者)労務職 | | 主婦・主夫 | 学生 | その他 | | |
| 全体 | 684 | 7.5 | 19.0 | 9.8 | 6.9 | 43.1 | 26.9 | 1.5 | 13.3 | 41.7 | 7.9 |
| 10代 | 4 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 |
| 20代 | 34 | 2.9 | 29.4 | 23.5 | 11.8 | 67.6 | 2.9 | 20.6 | 8.8 | 32.4 | 0.0 |
| 30代 | 85 | 4.7 | 29.4 | 28.2 | 8.2 | 70.6 | 17.6 | 0.0 | 5.9 | 23.5 | 2.4 |
| 40代 | 96 | 16.7 | 29.2 | 12.5 | 7.3 | 65.6 | 17.7 | 0.0 | 5.2 | 22.9 | 5.2 |
| 50代 | 122 | 14.8 | 21.3 | 11.5 | 10.7 | 58.2 | 15.6 | 0.0 | 5.7 | 21.3 | 8.2 |
| 60代 | 143 | 6.3 | 22.4 | 4.2 | 9.8 | 42.7 | 32.2 | 0.0 | 9.1 | 41.3 | 6.3 |
| 70代以上 | 196 | 1.5 | 4.1 | 1.5 | 1.0 | 8.2 | 43.4 | 0.0 | 29.1 | 72.4 | 13.3 |

年齢別でみると、20～60代は「会社員等(被雇用者)」、70代以上は「無職」が多くなっています。

<会社員等(被雇用者)の内訳>



会社員等(被雇用者)の内訳について、全体では、「常勤(フルタイム)」が70.2%を占めており、「パートタイム(アルバイト等)」(15.6%)、「非常勤」(4.7%)、「契約社員・派遣社員」(4.1%)、の順で続いています。

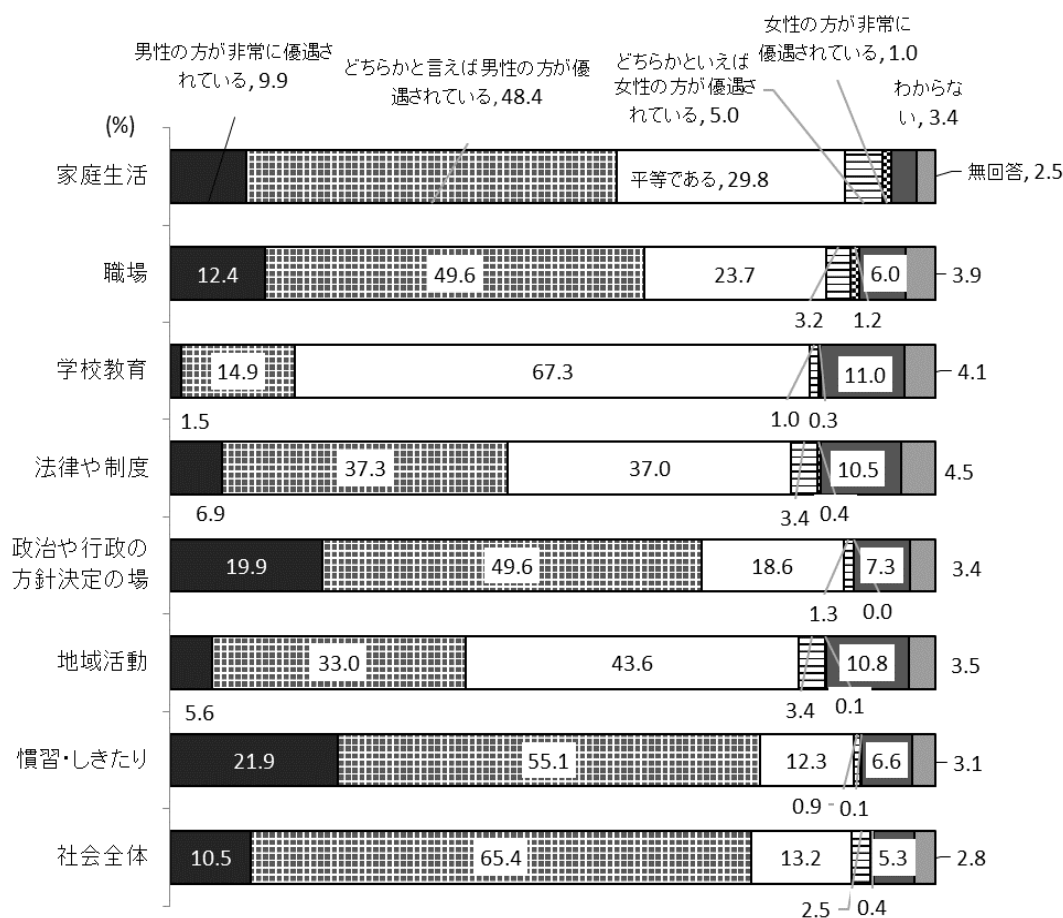
性別でみると、「常勤(フルタイム)」は男性で79.1%、女性で60.7%となっています。一方、「パートタイム(アルバイト等)」は男性で4.1%にとどまり、女性は27.6%にのぼります。

2 男女平等(男女の地位)について

問1 すべての方におたずねします。現在の社会において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。(1)～(8)の項目についてそれぞれ1つ選んでください。(〇は1つずつ)

- ◆ “平等”の第1位は【学校教育】で67.3%。“男性優遇”は【職場】や【政治や行政の方針決定の場】が60%台にのぼり、【慣習・しきたり】【社会全体】においては約75%。
- ◆ “女性優遇”は【家庭生活】(6%)が第1位。

全体



「平等」が最も多いのは【学校教育】(67.3%)で、【地域活動】(43.6%)、【法律や制度】(37%)、【家庭生活】(29.8%)が続きます。

下表でみると、“男性優遇”は【慣習・しきたり】(77%)、【社会全体】(75.9%)、【政治や行政の方針決定の場】(69.4%)、【職場】(62%)が60%台であるのに対し、“女性優遇”は【家庭生活】(6%)が第1位となりますが、すべて10%未満となっています。

<全体ランキング>

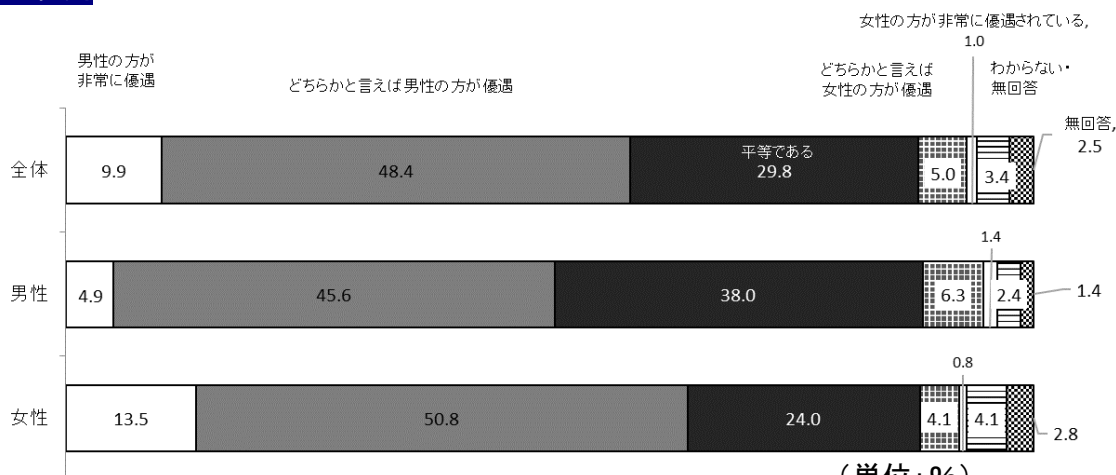
(単位：%)

| 順位 | “平等” | “男性優遇” | “女性優遇” |
|----|-------------------|-------------------|------------------|
| 1 | 学校教育 67.3 | 慣習・しきたり 77.0 | 家庭生活 6.0 |
| 2 | 地域活動 43.6 | 社会全体 75.9 | 職場 4.4 |
| 3 | 法律や制度 37.0 | 政治や行政の方針決定の場 69.4 | 法律や制度 3.8 |
| 4 | 家庭生活 29.8 | 職場 62.0 | 地域活動 3.5 |
| 5 | 職場 23.7 | 家庭生活 58.3 | 社会全体 2.9 |
| 6 | 政治や行政の方針決定の場 18.6 | 法律や制度 44.2 | 学校教育 1.3 |
| 7 | 社会全体 13.2 | 地域活動 38.6 | 政治や行政の方針決定の場 1.3 |
| 8 | 慣習・しきたり 12.3 | 学校教育 16.4 | 慣習・しきたり 1.0 |

(1) 家庭生活

- ◆ “男性優遇”（58.3%）＞ “平等”（29.8%）＞ “女性優遇”（6%）の順。
- ◆ 男性と女性どちらも “男性優遇” が最も多い。
- ◆ 片働きと共働きではどちらも “男性優遇” が60%台。

全体・性別



(単位: %)

| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 58.3 | 29.8 | 6.0 |
| 男性 n=287 | 50.5 | 38.0 | 7.7 |
| 女性 n=392 | 64.3 | 24.0 | 4.8 |

全体では “男性優遇” (58.3%) > “平等” (29.8%) > “女性優遇” (6.0%) の順です。男性は “男性優遇” が 50.5%、 “平等” (38%) を約 12% 上回り、女性では “男性優遇” が 64.3%、 “平等” (24%) を約 40% 上回っています。

性年齢・婚姻・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・無回答 |
|----------|----------|--------|-------|--------|-----------|
| 全体 | 684 | 58.3 | 29.8 | 6.0 | 5.8 |
| 男性 | 287 | 50.5 | 38.0 | 7.7 | 3.8 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 58.3 | 25.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 46.4 | 35.7 | 17.9 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 48.7 | 38.5 | 10.3 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 51.2 | 41.5 | 4.9 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 47.0 | 45.5 | 3.0 | 4.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 59.6 | 28.3 | 6.1 | 6.1 |
| 女性 | 392 | 64.3 | 24.0 | 4.8 | 6.9 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 59.1 | 22.7 | 13.6 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 50.9 | 38.2 | 7.3 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 73.7 | 19.3 | 3.5 | 3.5 |
| 女性-50代 | 81 | 67.9 | 21.0 | 3.7 | 7.4 |
| 女性-60代 | 77 | 70.1 | 19.5 | 3.9 | 6.5 |
| 女性-70代以上 | 97 | 61.9 | 22.7 | 4.1 | 11.3 |
| 未婚 | 69 | 49.3 | 27.5 | 13.0 | 10.1 |
| 離婚・死別 | 74 | 52.7 | 24.3 | 8.1 | 14.9 |
| 結婚している | 537 | 60.7 | 30.7 | 4.8 | 3.7 |
| 共働き | 294 | 60.2 | 32.7 | 5.4 | 1.7 |
| 片働き | 228 | 60.5 | 29.4 | 3.5 | 6.6 |

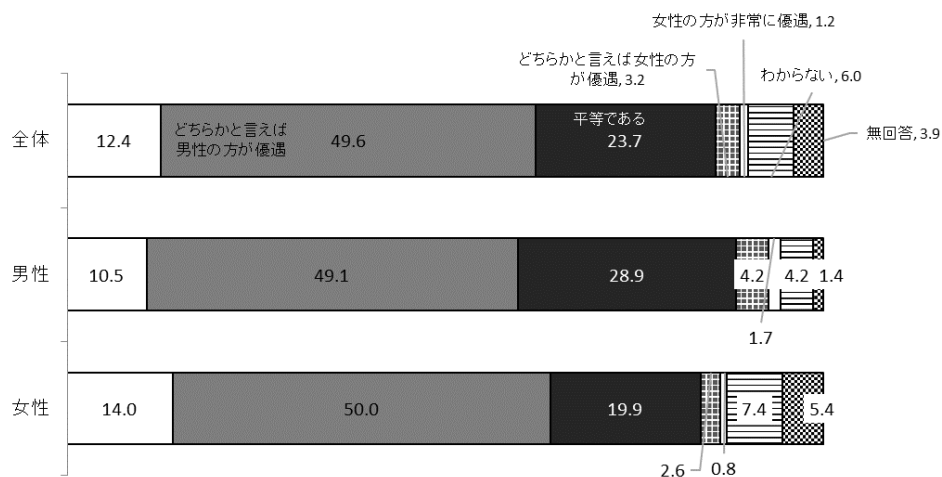
“男性優遇” は男性の 30 代以上と女性の 20 代以上で多く、特に女性 40 代が最も多くなっています。“平等” は男性の 20 代が 50% を超え、多くなっています。

II 調査結果 2 男女平等（男女の地位）について

(2) 職場

- ◆ “男性優遇”（62%） > “平等”（23.7%） > “女性優遇”（4.4%）の順。
- ◆ 全体、男女共に“男性優遇”が最も多い。

全体・性別



（単位：%）

| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 62.0 | 23.7 | 4.4 |
| 男性 n=287 | 59.6 | 28.9 | 5.9 |
| 女性 n=392 | 64.0 | 19.9 | 3.3 |

全体では、“男性優遇”（62%）が“平等”（23.7%）を大きく上回り、“女性優遇”は4.4%となっています。

性年齢・職業別

（単位：%）

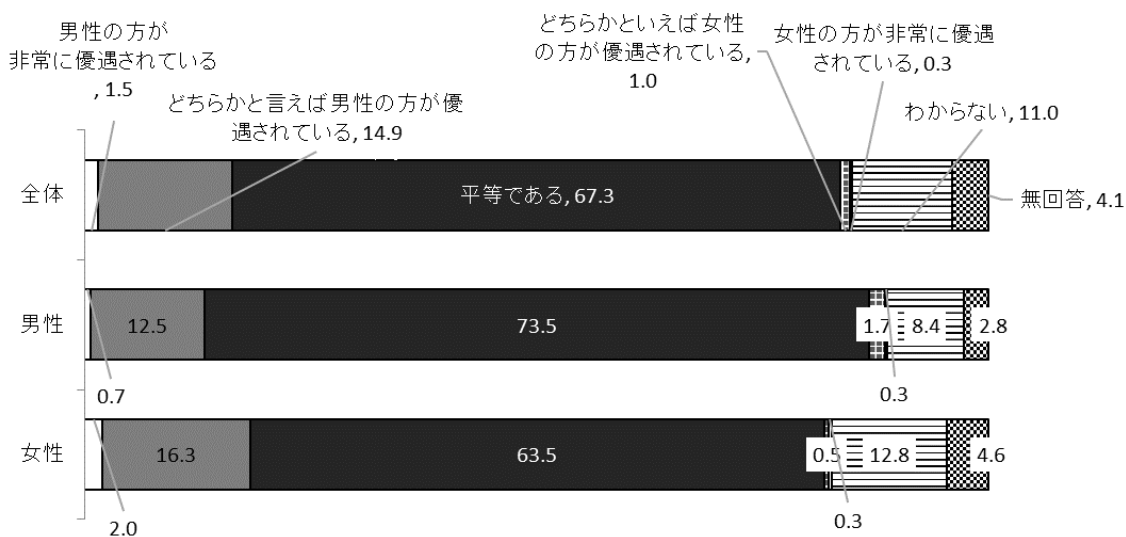
| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・ 無回答 |
|------------|-------------|--------|------|--------|---------------|
| 全体 | 684 | 62.0 | 23.7 | 4.4 | 9.9 |
| 男性 | 287 | 59.6 | 28.9 | 5.9 | 5.6 |
| 男性－10代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性－20代 | 12 | 50.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 |
| 男性－30代 | 28 | 53.6 | 35.7 | 10.7 | 0.0 |
| 男性－40代 | 39 | 53.8 | 35.9 | 10.3 | 0.0 |
| 男性－50代 | 41 | 53.7 | 34.1 | 9.8 | 2.4 |
| 男性－60代 | 66 | 54.5 | 42.4 | 3.0 | 0.0 |
| 男性－70代以上 | 99 | 70.7 | 17.2 | 1.0 | 11.1 |
| 女性 | 392 | 64.0 | 19.9 | 3.3 | 12.8 |
| 女性－10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性－20代 | 22 | 63.6 | 31.8 | 4.5 | 0.0 |
| 女性－30代 | 55 | 65.5 | 20.0 | 5.5 | 9.1 |
| 女性－40代 | 57 | 66.7 | 22.8 | 7.0 | 3.5 |
| 女性－50代 | 81 | 58.0 | 29.6 | 2.5 | 9.9 |
| 女性－60代 | 77 | 75.3 | 22.1 | 0.0 | 2.6 |
| 女性－70代以上 | 97 | 57.7 | 5.2 | 3.1 | 34.0 |
| 自営業者 | 39 | 53.8 | 33.3 | 10.3 | 2.6 |
| 家族従業員 | 11 | 63.6 | 9.1 | 9.1 | 18.2 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 55.6 | 35.6 | 6.4 | 2.4 |
| 主婦・主夫 | 184 | 74.5 | 8.2 | 0.0 | 17.4 |
| 学生 | 10 | 80.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 |
| その他 | 91 | 65.9 | 17.6 | 1.1 | 15.4 |
| 共働き | 294 | 60.5 | 28.6 | 6.1 | 4.8 |
| 片働き | 228 | 65.4 | 20.2 | 2.2 | 12.3 |

女性の10代を除く男女全ての年代で“男性優遇”が多く、特に男性の70代以上、女性の60代は70%を超えています。

(3) 学校教育

- ◆ “平等” (67.3%) > “男性優遇” (16.4%) > “女性優遇” (1.3%) の順で平等が多数。
- ◆ すべての年代で “平等” が多い。

全体・性別



(単位: %)

| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 16.4 | 67.3 | 1.3 |
| 男性 n=287 | 13.2 | 73.5 | 2.1 |
| 女性 n=392 | 18.4 | 63.5 | 0.8 |

全体では “平等” が 67.3% と “平等” が多数です。

性年齢別

(単位: %)

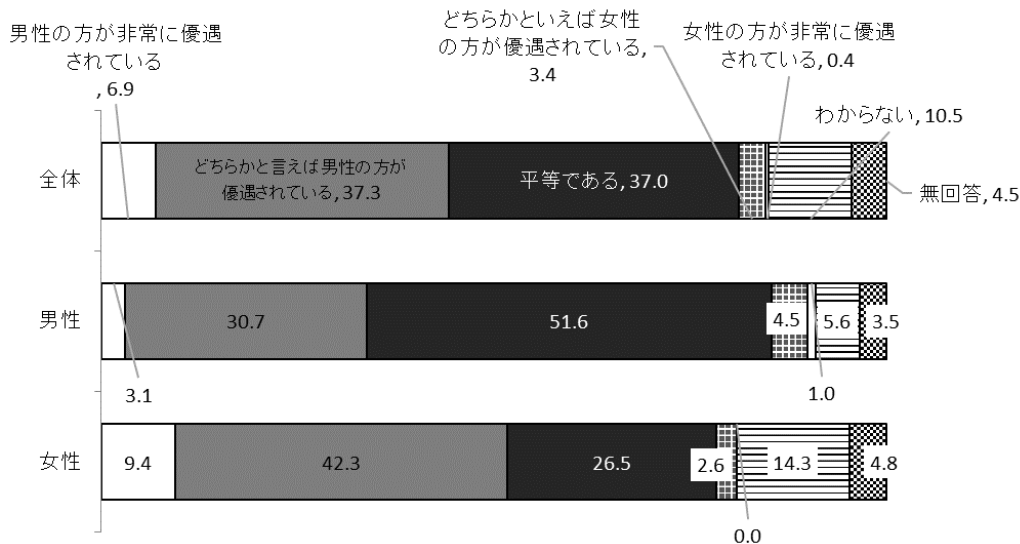
| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・無回答 |
|----------|----------|--------|-------|--------|-----------|
| 全体 | 684 | 16.4 | 67.3 | 1.3 | 15.1 |
| 男性 | 287 | 13.2 | 73.5 | 2.1 | 11.1 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 33.3 | 50.0 | 8.3 | 8.3 |
| 男性-30代 | 28 | 3.6 | 71.4 | 7.1 | 17.9 |
| 男性-40代 | 39 | 7.7 | 76.9 | 5.1 | 10.3 |
| 男性-50代 | 41 | 14.6 | 82.9 | 0.0 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 15.2 | 77.3 | 0.0 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 14.1 | 68.7 | 1.0 | 16.2 |
| 女性 | 392 | 18.4 | 63.5 | 0.8 | 17.3 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 31.8 | 59.1 | 0.0 | 9.1 |
| 女性-30代 | 55 | 16.4 | 61.8 | 3.6 | 18.2 |
| 女性-40代 | 57 | 19.3 | 78.9 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 12.3 | 67.9 | 1.2 | 18.5 |
| 女性-60代 | 77 | 22.1 | 64.9 | 0.0 | 13.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 18.6 | 50.5 | 0.0 | 30.9 |

男女のどの年代も “平等” が多く、特に男性の 30 代～60 代は 70% 以上となっています。“男性優遇” は男性の 20 代 (33.3%)、女性の 20 代 (31.8%)、60 代 (22.1%) で多くなっています。

(4) 法律や制度

- ◆ “男性優遇” (44.2%) > “平等” (37%)。“女性優遇” は3.8%。
- ◆ 男性は“平等”が半数を超えるが、女性は“男性優遇”が半数以上。

全体・性別



(単位: %)

| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 44.2 | 37.0 | 3.8 |
| 男性 n=287 | 33.8 | 51.6 | 5.6 |
| 女性 n=392 | 51.8 | 26.5 | 2.6 |

全体では“男性優遇” (44.2%) が“平等” (37%) を上回っています。男性は“平等”が半数を超えますが、女性は“男性優遇”が“平等”を25ポイント以上上回ります。

性年齢・働き状況別

(単位: %)

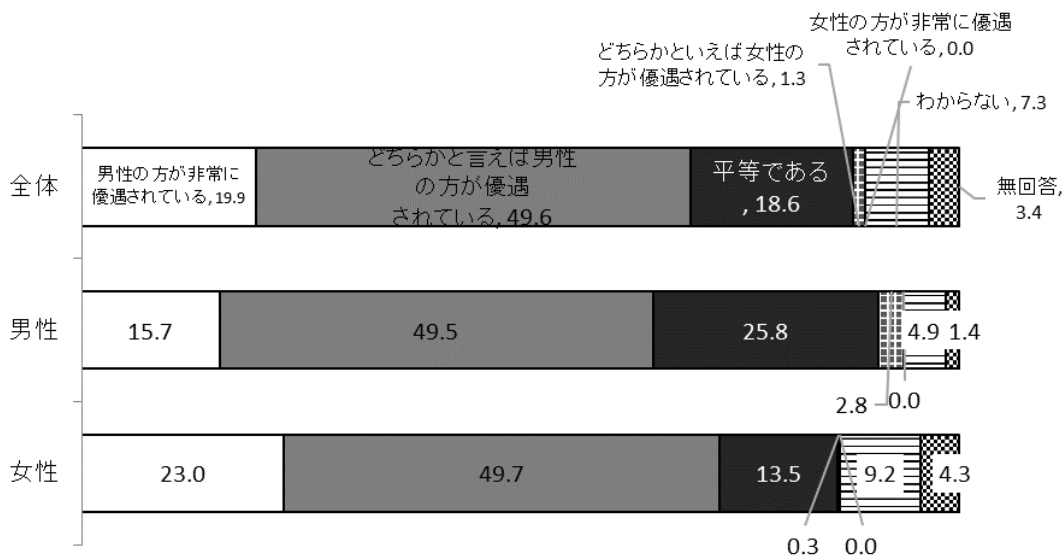
| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・無回答 |
|----------|----------|--------|------|--------|-----------|
| 全体 | 684 | 44.2 | 37.0 | 3.8 | 15.1 |
| 男性 | 287 | 33.8 | 51.6 | 5.6 | 9.1 |
| 男性-10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 41.7 | 33.3 | 16.7 | 8.3 |
| 男性-30代 | 28 | 17.9 | 57.1 | 14.3 | 10.7 |
| 男性-40代 | 39 | 23.1 | 53.8 | 10.3 | 12.8 |
| 男性-50代 | 41 | 36.6 | 48.8 | 9.8 | 4.9 |
| 男性-60代 | 66 | 42.4 | 53.0 | 1.5 | 3.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 34.3 | 51.5 | 1.0 | 13.1 |
| 女性 | 392 | 51.8 | 26.5 | 2.6 | 19.1 |
| 女性-10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 31.8 | 36.4 | 4.5 | 27.3 |
| 女性-30代 | 55 | 49.1 | 32.7 | 3.6 | 14.5 |
| 女性-40代 | 57 | 63.2 | 28.1 | 0.0 | 8.8 |
| 女性-50代 | 81 | 53.1 | 21.0 | 3.7 | 22.2 |
| 女性-60代 | 77 | 59.7 | 24.7 | 5.2 | 10.4 |
| 女性-70代以上 | 97 | 43.3 | 25.8 | 0.0 | 30.9 |
| 共働き | 294 | 49.3 | 33.3 | 4.8 | 12.6 |
| 片働き | 228 | 39.5 | 44.3 | 2.2 | 14.0 |

男性の30代以上と片働きは“平等”が“男性優遇”を上回り、一方、女性の30代以上と共働きは“男性優遇”が“平等”を上回りました。

(5) 政治や行政の方針決定の場

- ◆ “男性優遇” (69.4%) > “平等” (18.6%)。“女性優遇” は1.3%。
- ◆ 全体、男女共に “男性優遇” が最も多い。

全体・性別



(単位: %)

| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 69.4 | 18.6 | 1.3 |
| 男性 n=287 | 65.2 | 25.8 | 2.8 |
| 女性 n=392 | 72.7 | 13.5 | 0.3 |

全体、男女共に “男性優遇” が “平等” を上回っています。

性年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・無回答 |
|----------|----------|--------|------|--------|-----------|
| 全体 | 684 | 69.4 | 18.6 | 1.3 | 10.7 |
| 男性 | 287 | 65.2 | 25.8 | 2.8 | 6.3 |
| 男性-10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 75.0 | 8.3 | 0.0 | 16.7 |
| 男性-30代 | 28 | 57.1 | 35.7 | 3.6 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 56.4 | 33.3 | 7.7 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 61.0 | 29.3 | 9.8 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 69.7 | 25.8 | 0.0 | 4.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 68.7 | 20.2 | 0.0 | 11.1 |
| 女性 | 392 | 72.7 | 13.5 | 0.3 | 13.5 |
| 女性-10代 | 2 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 63.6 | 13.6 | 0.0 | 22.7 |
| 女性-30代 | 55 | 76.4 | 16.4 | 0.0 | 7.3 |
| 女性-40代 | 57 | 80.7 | 14.0 | 0.0 | 5.3 |
| 女性-50代 | 81 | 77.8 | 11.1 | 1.2 | 9.9 |
| 女性-60代 | 77 | 76.6 | 14.3 | 0.0 | 9.1 |
| 女性-70代以上 | 97 | 60.8 | 12.4 | 0.0 | 26.8 |

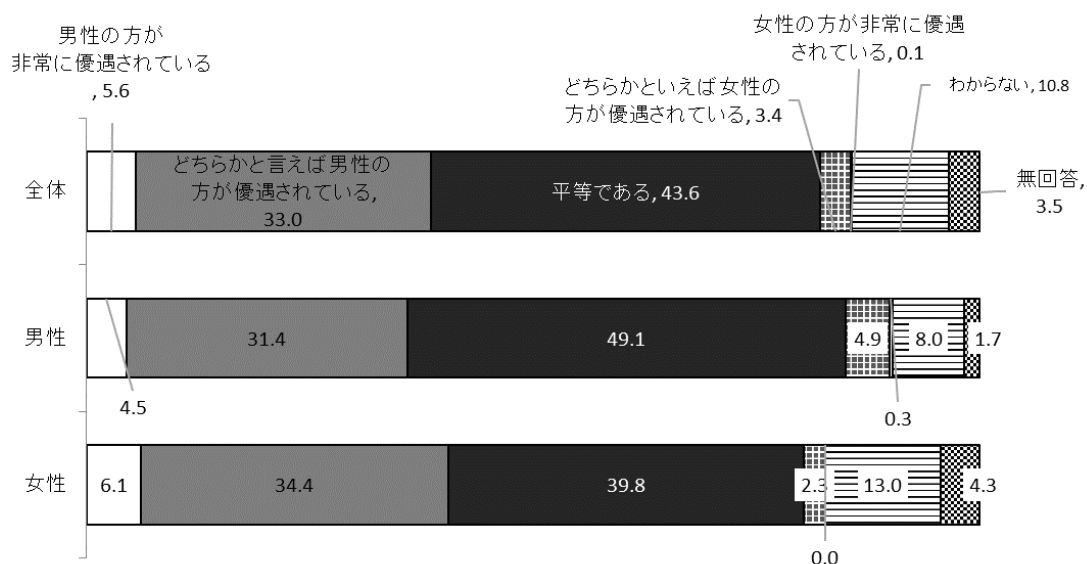
男女のどの年代も “男性優遇” が多く、特に男性の 20 代、女性の 30 代~60 代は 70%以上となっています。

II 調査結果 2 男女平等（男女の地位）について

(6) 地域活動

- ◆ “平等” (43.6%) > “男性優遇” (38.6%) > “女性優遇” (3.5%) の順。
- ◆ 男性はすべての年代で “平等” の傾向、女性は20代、40代、60代以上で “男性優遇” が “平等” を上回る。

全体・性別



(単位: %)

| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 38.6 | 43.6 | 3.5 |
| 男性 n=287 | 35.9 | 49.1 | 5.2 |
| 女性 n=392 | 40.6 | 39.8 | 2.3 |

全体では “平等” (43.6%) が “男性優遇” (38.6%) を上回り、“女性優遇” は 3.5% です。

男性は “平等” が 50% 近くにとどまっていますが、女性は 40% 近くにとどまります。

性年齢別

(単位: %)

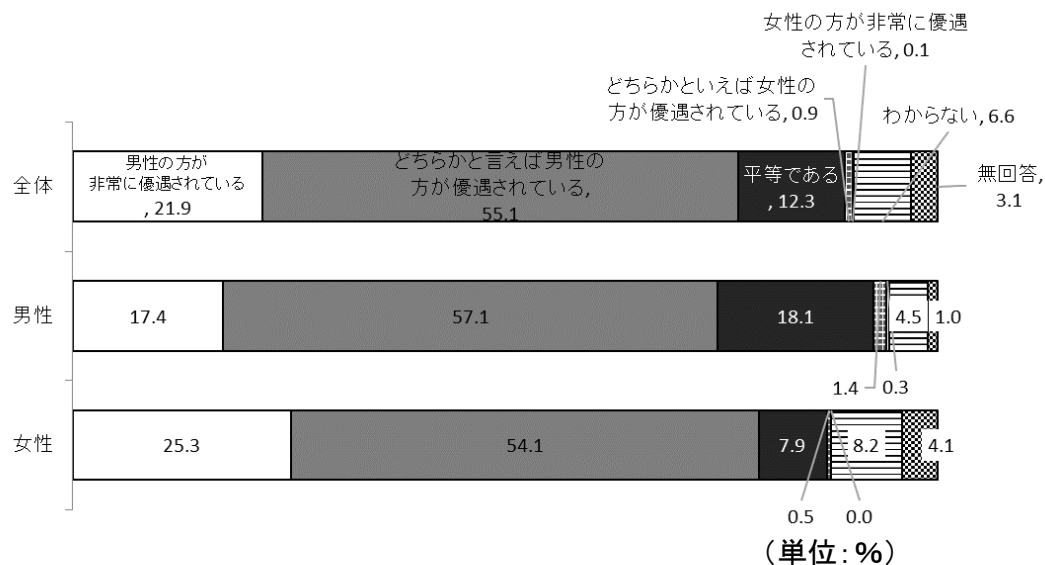
| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・無回答 |
|----------|----------|--------|-------|--------|-----------|
| 全体 | 684 | 38.6 | 43.6 | 3.5 | 14.3 |
| 男性 | 287 | 35.9 | 49.1 | 5.2 | 9.8 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 50.0 | 0.0 | 33.3 |
| 男性-30代 | 28 | 28.6 | 57.1 | 3.6 | 10.7 |
| 男性-40代 | 39 | 28.2 | 46.2 | 12.8 | 12.8 |
| 男性-50代 | 41 | 34.1 | 48.8 | 7.3 | 9.8 |
| 男性-60代 | 66 | 45.5 | 50.0 | 3.0 | 1.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 38.4 | 46.5 | 4.0 | 11.1 |
| 女性 | 392 | 40.6 | 39.8 | 2.3 | 17.3 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 45.5 | 40.9 | 0.0 | 13.6 |
| 女性-30代 | 55 | 36.4 | 45.5 | 3.6 | 14.5 |
| 女性-40代 | 57 | 49.1 | 43.9 | 0.0 | 7.0 |
| 女性-50代 | 81 | 37.0 | 44.4 | 2.5 | 16.0 |
| 女性-60代 | 77 | 48.1 | 35.1 | 1.3 | 15.6 |
| 女性-70代以上 | 97 | 35.1 | 33.0 | 4.1 | 27.8 |

男性はすべての年代で “平等” が “男性優遇” を上回っています。一方、女性は 30 代、50 代では “平等” が “男性優遇” を上回りますが、20 代、40 代、60 代以上では逆転しています。

(7)慣習・しきたり

- ◆ “男性優遇”（77%） > “平等”（12.3%） > “女性優遇”（1%）の順。
- ◆男女ともにすべての年代で“男性優遇”の傾向。

全体・性別



| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 77.0 | 12.3 | 1.0 |
| 男性 n=287 | 74.6 | 18.1 | 1.7 |
| 女性 n=392 | 79.3 | 7.9 | 0.5 |

全体では“男性優遇”が77%と“平等”（12.3%）を大きく上回ります。男女ともに“男性優遇”が圧倒的多数となっています。

性年齢・婚姻・働き状況別

(単位: %)

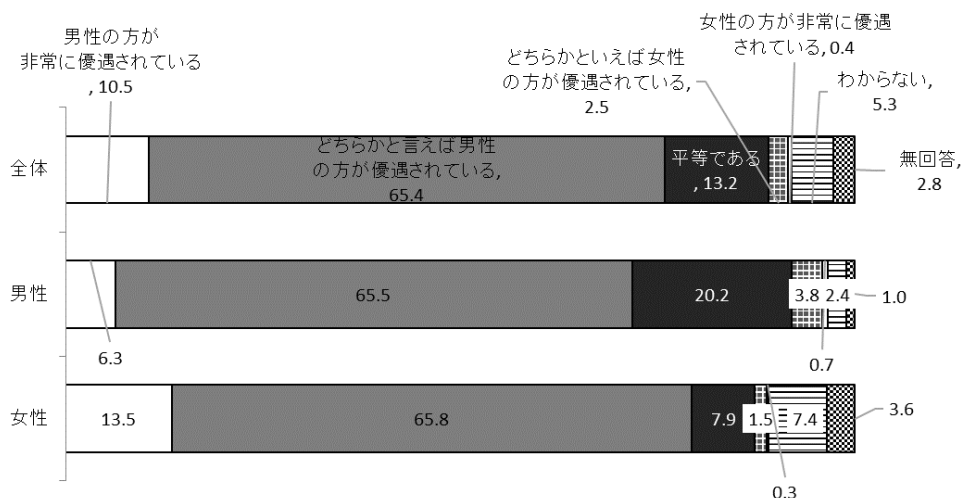
| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・無回答 |
|----------|----------|--------|------|--------|-----------|
| 全体 | 684 | 77.0 | 12.3 | 1.0 | 9.6 |
| 男性 | 287 | 74.6 | 18.1 | 1.7 | 5.6 |
| 男性-10代 | 2 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 50.0 | 25.0 | 8.3 | 16.7 |
| 男性-30代 | 28 | 75.0 | 14.3 | 0.0 | 10.7 |
| 男性-40代 | 39 | 76.9 | 15.4 | 2.6 | 5.1 |
| 男性-50代 | 41 | 78.0 | 19.5 | 2.4 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 78.8 | 19.7 | 1.5 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 71.7 | 18.2 | 1.0 | 9.1 |
| 女性 | 392 | 79.3 | 7.9 | 0.5 | 12.2 |
| 女性-10代 | 2 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 63.6 | 22.7 | 0.0 | 13.6 |
| 女性-30代 | 55 | 80.0 | 10.9 | 0.0 | 9.1 |
| 女性-40代 | 57 | 94.7 | 1.8 | 0.0 | 3.5 |
| 女性-50代 | 81 | 87.7 | 4.9 | 1.2 | 6.2 |
| 女性-60代 | 77 | 80.5 | 6.5 | 0.0 | 13.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 64.9 | 10.3 | 1.0 | 23.7 |
| 未婚 | 69 | 66.7 | 18.8 | 0.0 | 14.5 |
| 離婚・死別 | 74 | 70.3 | 12.2 | 1.4 | 16.2 |
| 結婚している | 537 | 79.7 | 11.5 | 1.1 | 7.6 |
| 共働き | 294 | 84.4 | 8.8 | 1.0 | 5.8 |
| 片働き | 228 | 74.6 | 14.5 | 0.9 | 10.1 |

男女ともにすべての年代で“男性優遇”が“平等”を大きく上回り、女性の40代で90%を超えています。

(8) 社会全体

◆ “男性優遇”（75.9%） > “平等”（13.2%） > “女性優遇”（2.9%）の順。
 ◆ 男女ともに20代以上で “男性優遇” の傾向。

全体・性別



(単位: %)

| | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” |
|----------|--------|------|--------|
| 全体 n=684 | 75.9 | 13.2 | 2.9 |
| 男性 n=287 | 71.8 | 20.2 | 4.5 |
| 女性 n=392 | 79.3 | 7.9 | 1.8 |

全体では、“男性優遇”が75.9%と“平等”（13.2%）を大きく上回ります。男女とも“男性優遇”が圧倒的多数ですが、女性では特に顕著です。

性年齢・婚姻・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | “男性優遇” | “平等” | “女性優遇” | わからない・無回答 |
|----------|----------|--------|------|--------|-----------|
| 全体 | 684 | 75.9 | 13.2 | 2.9 | 8.0 |
| 男性 | 287 | 71.8 | 20.2 | 4.5 | 3.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 66.7 | 16.7 | 16.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 64.3 | 25.0 | 10.7 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 59.0 | 25.6 | 10.3 | 5.1 |
| 男性-50代 | 41 | 73.2 | 24.4 | 2.4 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 77.3 | 18.2 | 1.5 | 3.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 76.8 | 16.2 | 1.0 | 6.1 |
| 女性 | 392 | 79.3 | 7.9 | 1.8 | 11.0 |
| 女性-10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 59.1 | 18.2 | 9.1 | 13.6 |
| 女性-30代 | 55 | 74.5 | 14.5 | 0.0 | 10.9 |
| 女性-40代 | 57 | 91.2 | 3.5 | 0.0 | 5.3 |
| 女性-50代 | 81 | 86.4 | 7.4 | 1.2 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 87.0 | 3.9 | 2.6 | 6.5 |
| 女性-70代以上 | 97 | 68.0 | 7.2 | 2.1 | 22.7 |
| 未婚 | 69 | 60.9 | 20.3 | 10.1 | 8.7 |
| 離婚・死別 | 74 | 70.3 | 12.2 | 6.8 | 10.8 |
| 結婚している | 537 | 79.0 | 12.5 | 1.5 | 7.1 |
| 共働き | 294 | 82.3 | 11.6 | 2.0 | 4.1 |
| 片働き | 228 | 75.0 | 13.6 | 0.9 | 10.5 |

男性は20代、60代以上で“男性優遇”が“平等”を50%以上上回り、女性は30代以上で“男性優遇”が“平等”を60%以上上回っています。特に女性の40代～60代では“男性優遇”が“平等”を80%以上近く上回っています。また、片働きに比べ、共働きの方が“男性優遇”が多い傾向です。

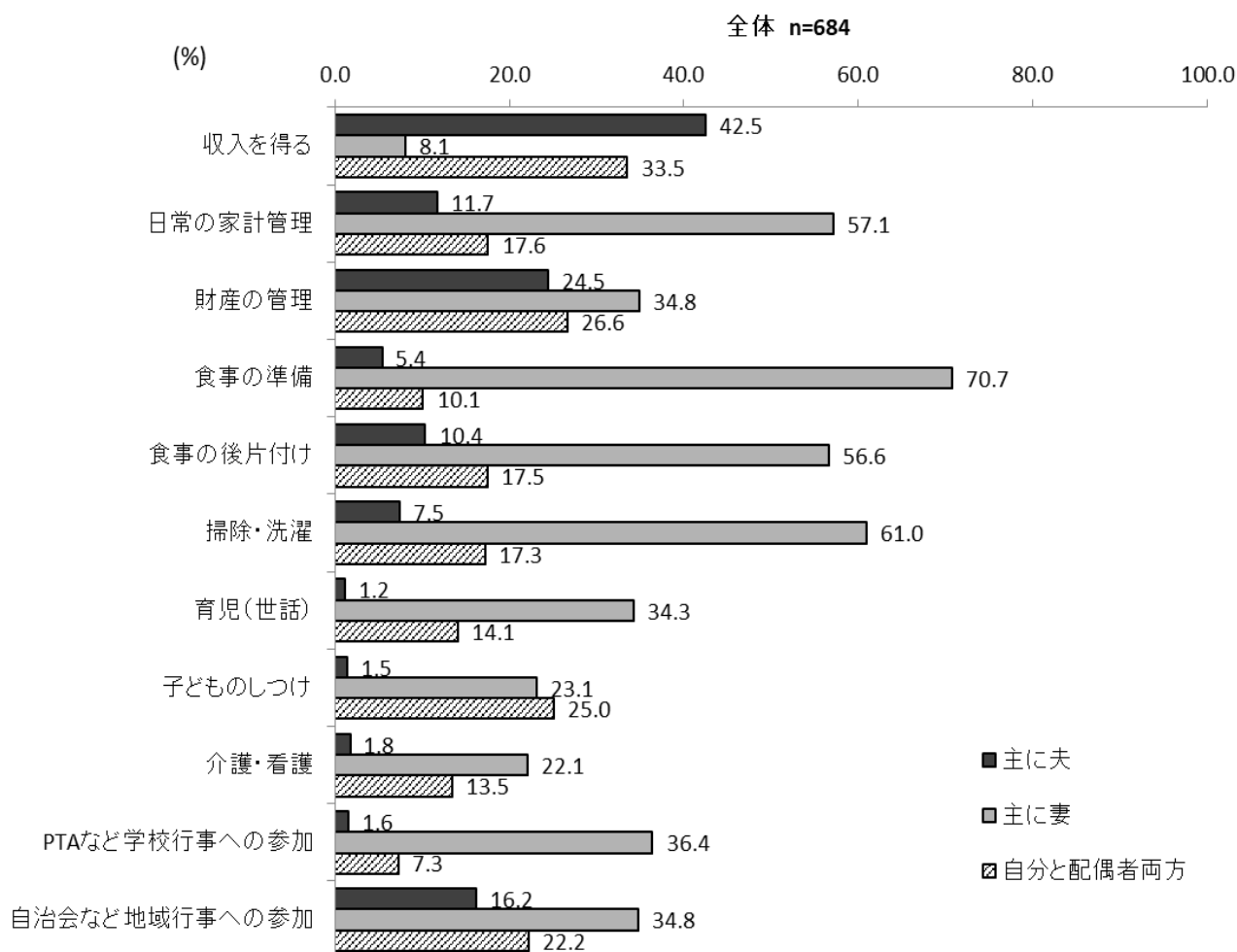
3 家庭生活や地域活動について

(1) 家庭の中での男女の役割分担（現在）

問2 すべての方におたずねします。現在、あなたの家庭において、収入を得ることなどは、どなたがなさっていますか。それぞれ1つ選んでください。（〇は1つずつ）

◆「主に夫」の第1位は【収入を得ること】。【子どものしつけ】は「自分と配偶者両方」が多く、それ以外は「主に妻」が多くなっており、【食事の準備】では70%台にのぼる。

全体・性別



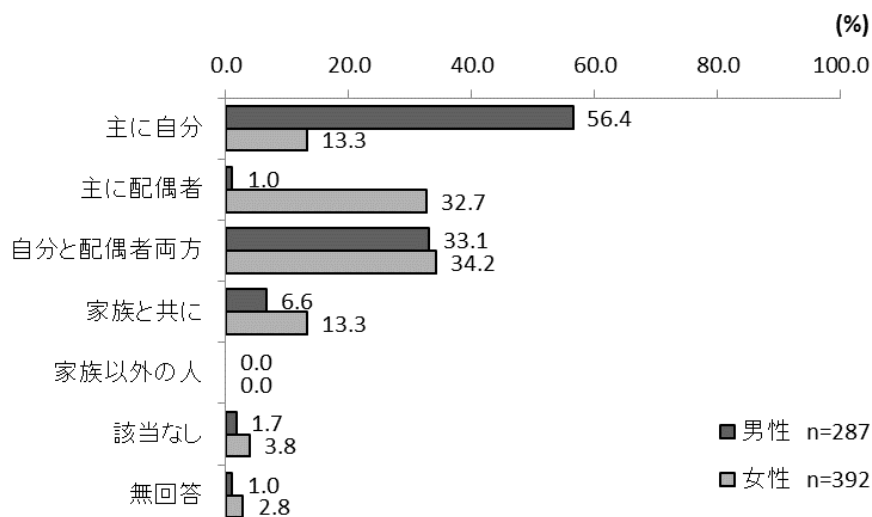
家庭での夫と妻の現在の役割分担を聞いたところ、「主に夫」の第1位は【収入を得る】(42.5%)となっており、第2位【財産の管理】(24.5%)以下を大きく引き離しています。一方、「主に妻」は、【食事の準備】(70.7%)が70%台にのぼり、【掃除・洗濯】(61%)、【日常の家計管理】(57.1%)【食事の後片付け】(56.6%)、と続いています。「自分と配偶者両方」は、【収入を得る】(33.5%)、【財産の管理】(26.6%)、【子どものしつけ】(25%)、【自治会など地域行事への参加】(22.2%)の順となっており、その他の項目は10%台以下にとどまります。

II 調査結果 3 家庭生活や地域活動について

① 収入を得る

- ◆「主に自分」が男性で56.4%、女性で13.3%。「自分と配偶者両方」は全体で33.5%。
- ◆男性は40代、女性は30代で「自分と配偶者両方」が最も多い。

性別



男性の「主に自分」は 56.4%、女性の「主に配偶者」は 32.7%となっており、「自分と配偶者両方」は男女いずれも約 30%となっています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

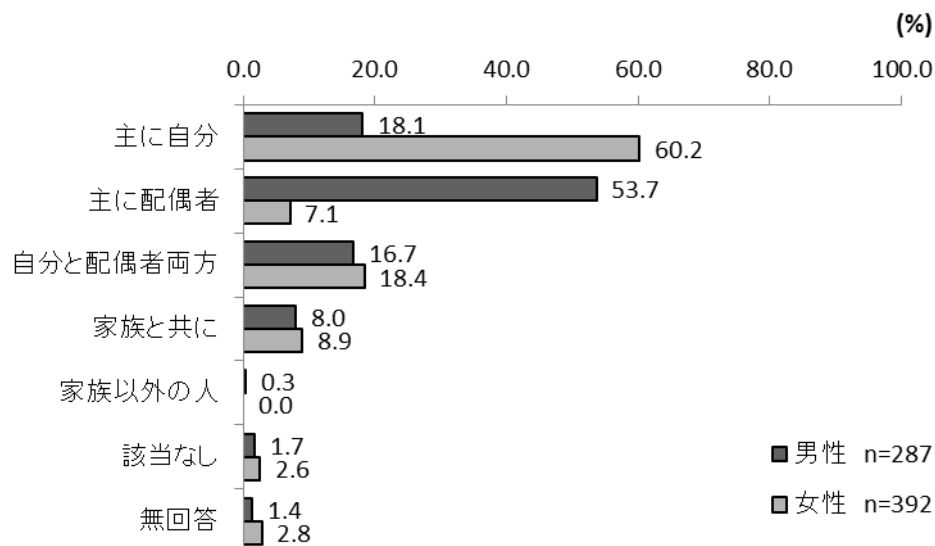
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 31.4 | 19.2 | 33.5 | 10.7 | 0.0 | 2.9 | 2.3 |
| 男性 | 287 | 56.4 | 1.0 | 33.1 | 6.6 | 0.0 | 1.7 | 1.0 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 41.7 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 57.1 | 0.0 | 32.1 | 10.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 56.4 | 0.0 | 35.9 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 65.9 | 0.0 | 26.8 | 4.9 | 0.0 | 2.4 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 59.1 | 3.0 | 34.8 | 1.5 | 0.0 | 1.5 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 54.5 | 1.0 | 35.4 | 5.1 | 0.0 | 2.0 | 2.0 |
| 女性 | 392 | 13.3 | 32.7 | 34.2 | 13.3 | 0.0 | 3.8 | 2.8 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 13.6 | 0.0 | 22.7 | 45.5 | 0.0 | 13.6 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 3.6 | 34.5 | 50.9 | 10.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 7.0 | 43.9 | 45.6 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 17.3 | 30.9 | 33.3 | 16.0 | 0.0 | 2.5 | 0.0 |
| 女性-60代 | 77 | 15.6 | 35.1 | 28.6 | 15.6 | 0.0 | 2.6 | 2.6 |
| 女性-70代以上 | 97 | 16.5 | 33.0 | 26.8 | 9.3 | 0.0 | 6.2 | 8.2 |
| 男性-共働き | 105 | 38.1 | 1.9 | 57.1 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-片働き | 131 | 69.5 | 0.0 | 24.4 | 3.1 | 0.0 | 1.5 | 1.5 |
| 女性-共働き | 189 | 0.5 | 43.4 | 49.2 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 0.5 |
| 女性-片働き | 96 | 6.3 | 43.8 | 37.5 | 3.1 | 0.0 | 3.1 | 6.3 |

男性は 10 代、20 代を除く年代で「主に自分」が多く、女性の 30 代～50 代は「自分と配偶者両方」、60 代以上は「主に配偶者」が多い傾向です。

② 日常の家計管理

- ◆男性は「主に女性」が53.7%、女性が60.2%、「自分と配偶者両方」が約17%。
- ◆共働き状況にかかわらず「主に女性」が60%前後。

性別



男性の「主に配偶者」は 53.7%、女性の「主に自分」は 60.2%となっており、「自分と配偶者両方」は男女いずれも約 17%です。

年齢・働き状況別

(単位: %)

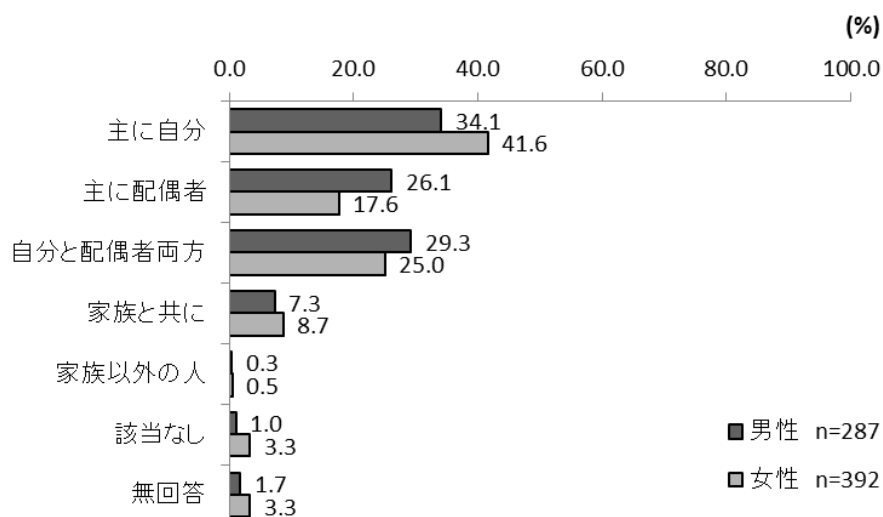
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 42.1 | 26.8 | 17.5 | 8.6 | 0.1 | 2.2 | 2.6 |
| 男性 | 287 | 18.1 | 53.7 | 16.7 | 8.0 | 0.3 | 1.7 | 1.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 25.0 | 0.0 | 58.3 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 21.4 | 32.1 | 21.4 | 21.4 | 0.0 | 3.6 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 25.6 | 51.3 | 15.4 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 17.1 | 56.1 | 22.0 | 2.4 | 0.0 | 2.4 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 16.7 | 68.2 | 9.1 | 3.0 | 1.5 | 1.5 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 17.2 | 53.5 | 21.2 | 4.0 | 0.0 | 1.0 | 3.0 |
| 女性 | 392 | 60.2 | 7.1 | 18.4 | 8.9 | 0.0 | 2.6 | 2.8 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 36.4 | 4.5 | 4.5 | 36.4 | 0.0 | 18.2 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 49.1 | 10.9 | 25.5 | 10.9 | 0.0 | 3.6 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 59.6 | 3.5 | 28.1 | 8.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 67.9 | 7.4 | 18.5 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 74.0 | 7.8 | 14.3 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 1.3 |
| 女性-70代以上 | 97 | 55.7 | 7.2 | 15.5 | 8.2 | 0.0 | 4.1 | 9.3 |
| 男性-共働き | 105 | 15.2 | 58.1 | 21.0 | 3.8 | 0.0 | 1.9 | 0.0 |
| 男性-片働き | 131 | 12.2 | 64.1 | 19.1 | 2.3 | 0.0 | 0.8 | 1.5 |
| 女性-共働き | 189 | 63.5 | 10.1 | 24.9 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.5 |
| 女性-片働き | 96 | 63.5 | 6.3 | 21.9 | 2.1 | 0.0 | 1.0 | 5.2 |

男女ともに 20 代以上で「主に女性」が多く、40 代以上で「主に女性」の割合が高くなります。共働き、片働きいずれも「主に女性」が 60%前後です。

③ 財産の管理

- ◆男女ともに「主に自分」が最も多い。
- ◆「自分と配偶者両方」は男性で29.3%、女性で25%。
- ◆共働きでは「主に女性」と「自分と配偶者両方」が多い傾向にあり、片働きでは「主に自分」と「自分と配偶者両方」が多い傾向。

性別



男女ともに「主に自分」(38.2%)が第1位で、次いで「自分と配偶者両方」(26.6%)、「主に配偶者」(21.2%)が続いています。女性は「主に自分」(41.6%)が「主に男性」(17.6%)を24ポイント引き離しているのに対し、男性は「主に自分」(34.1%)と「主に女性」(26.1%)の差が8ポイントとなっています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

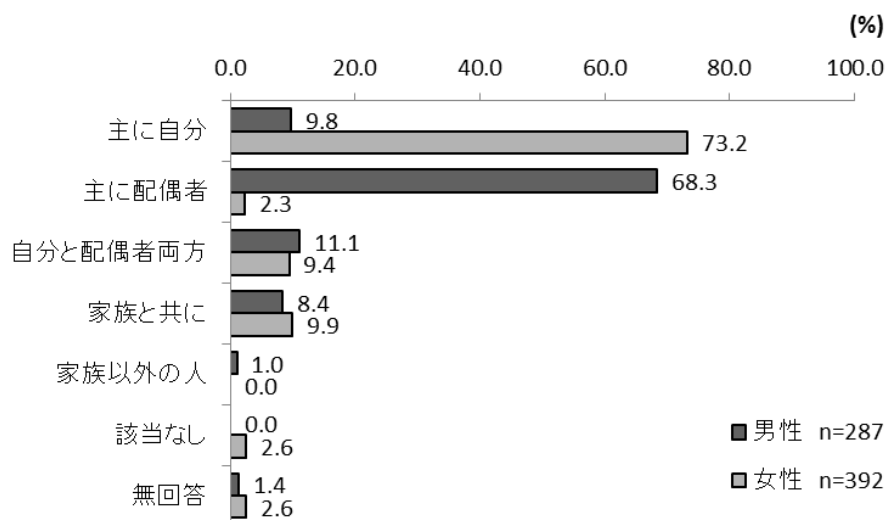
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 38.2 | 21.2 | 26.6 | 8.2 | 0.4 | 2.3 | 3.1 |
| 男性 | 287 | 34.1 | 26.1 | 29.3 | 7.3 | 0.3 | 1.0 | 1.7 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 16.7 | 8.3 | 50.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 32.1 | 25.0 | 25.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 25.6 | 28.2 | 35.9 | 7.7 | 0.0 | 2.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 26.8 | 29.3 | 41.5 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 33.3 | 37.9 | 24.2 | 3.0 | 1.5 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 44.4 | 18.2 | 29.3 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 3.0 |
| 女性 | 392 | 41.6 | 17.6 | 25.0 | 8.7 | 0.5 | 3.3 | 3.3 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 40.9 | 4.5 | 4.5 | 27.3 | 0.0 | 22.7 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 41.8 | 20.0 | 25.5 | 9.1 | 1.8 | 1.8 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 35.1 | 17.5 | 38.6 | 8.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 51.9 | 19.8 | 22.2 | 2.5 | 0.0 | 2.5 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 48.1 | 13.0 | 31.2 | 6.5 | 0.0 | 0.0 | 1.3 |
| 女性-70代以上 | 97 | 32.0 | 21.6 | 19.6 | 10.3 | 1.0 | 4.1 | 11.3 |
| 男性-共働き | 105 | 24.8 | 33.3 | 38.1 | 2.9 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 男性-片働き | 131 | 35.9 | 28.2 | 31.3 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 1.5 |
| 女性-共働き | 189 | 42.3 | 23.3 | 30.7 | 1.6 | 0.5 | 1.1 | 0.5 |
| 女性-片働き | 96 | 31.3 | 22.9 | 34.4 | 3.1 | 1.0 | 2.1 | 5.2 |

男性の30代、70代以上は「主に自分」が最も高く、40~50代は「自分と配偶者両方」が最も高くなっています。女性の10代と40代を除く年代で「主に女性」が最も高くなっています。共働きでは、「主に女性」と「自分と配偶者両方」が多く、片働きでは「主に自分」と「自分と配偶者両方」が多い傾向です。

④ 食事の準備

- ◆ 「主に女性」が男性で68.3%、女性で73.2%。
- ◆ 「自分と配偶者両方」は男性で11.1%、女性で9.4%。
- ◆ 共働き状況にかかわらず「主に女性」が80%前後。

性別



「主に女性」が男女いずれも70%前後で、圧倒的多数となっています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 46.1 | 30.1 | 10.1 | 9.5 | 0.4 | 1.5 | 2.3 |
| 男性 | 287 | 9.8 | 68.3 | 11.1 | 8.4 | 1.0 | 0.0 | 1.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 25.0 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 14.3 | 53.6 | 14.3 | 17.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 5.1 | 71.8 | 15.4 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 7.3 | 70.7 | 19.5 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 7.6 | 74.2 | 15.2 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 13.1 | 71.7 | 4.0 | 5.1 | 3.0 | 0.0 | 3.0 |
| 女性 | 392 | 73.2 | 2.3 | 9.4 | 9.9 | 0.0 | 2.6 | 2.6 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 27.3 | 4.5 | 9.1 | 31.8 | 0.0 | 27.3 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 69.1 | 0.0 | 14.5 | 14.5 | 0.0 | 1.8 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 77.2 | 1.8 | 12.3 | 8.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 84.0 | 0.0 | 9.9 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 81.8 | 3.9 | 9.1 | 5.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 69.1 | 4.1 | 5.2 | 9.3 | 0.0 | 3.1 | 9.3 |
| 男性-共働き | 105 | 2.9 | 75.2 | 20.0 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-片働き | 131 | 3.1 | 81.7 | 8.4 | 3.1 | 2.3 | 0.0 | 1.5 |
| 女性-共働き | 189 | 84.1 | 1.1 | 12.7 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-片働き | 96 | 79.2 | 3.1 | 8.3 | 3.1 | 0.0 | 1.0 | 5.2 |

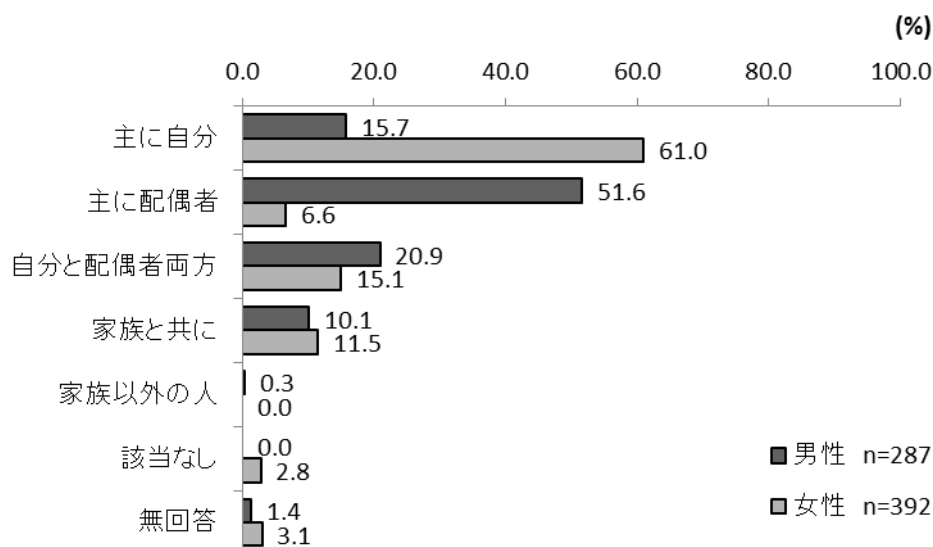
30代以上で「主に女性」が圧倒的多数です。男性の30代~60代と女性の30代、40代で「自分と配偶者両方」が約15%になっています。

共働き、片働きいずれも「主に女性」が80%前後となっており、特に女性の共働きでは「主に自分」が84.1%と最も高くなっています。

⑤ 食事の後片付け

- ◆「主に女性」が男性で51.6%、女性で61%。「家族と共に」は男女ともに約10%。
- ◆共働き状況にかかわらず「主に女性」が60%前後。

性別



「主に女性」が男女いずれも最も多く、男性で 51.6%、女性で 61%となっています。「自分と配偶者両方」は男性 20.9%、女性 15.1%であり、「家族と共に」は男女いずれも約 10%となっています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 41.5 | 25.4 | 17.5 | 11.1 | 0.1 | 1.6 | 2.6 |
| 男性 | 287 | 15.7 | 51.6 | 20.9 | 10.1 | 0.3 | 0.0 | 1.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 25.0 | 28.6 | 28.6 | 17.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 15.4 | 51.3 | 25.6 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 14.6 | 56.1 | 24.4 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 9.1 | 62.1 | 22.7 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 18.2 | 54.5 | 16.2 | 7.1 | 1.0 | 0.0 | 3.0 |
| 女性 | 392 | 61.0 | 6.6 | 15.1 | 11.5 | 0.0 | 2.8 | 3.1 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 27.3 | 4.5 | 9.1 | 36.4 | 0.0 | 22.7 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 47.3 | 14.5 | 23.6 | 12.7 | 0.0 | 1.8 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 57.9 | 8.8 | 17.5 | 15.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 67.9 | 4.9 | 16.0 | 7.4 | 0.0 | 1.2 | 2.5 |
| 女性-60代 | 77 | 75.3 | 3.9 | 16.9 | 2.6 | 0.0 | 1.3 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 61.9 | 5.2 | 8.2 | 11.3 | 0.0 | 3.1 | 10.3 |
| 男性-共働き | 105 | 14.3 | 52.4 | 27.6 | 5.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-共働き | 131 | 7.6 | 64.1 | 22.1 | 3.8 | 0.8 | 0.0 | 1.5 |
| 男性-片働き | 189 | 66.7 | 8.5 | 21.2 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-片働き | 96 | 67.7 | 7.3 | 13.5 | 5.2 | 0.0 | 1.0 | 5.2 |

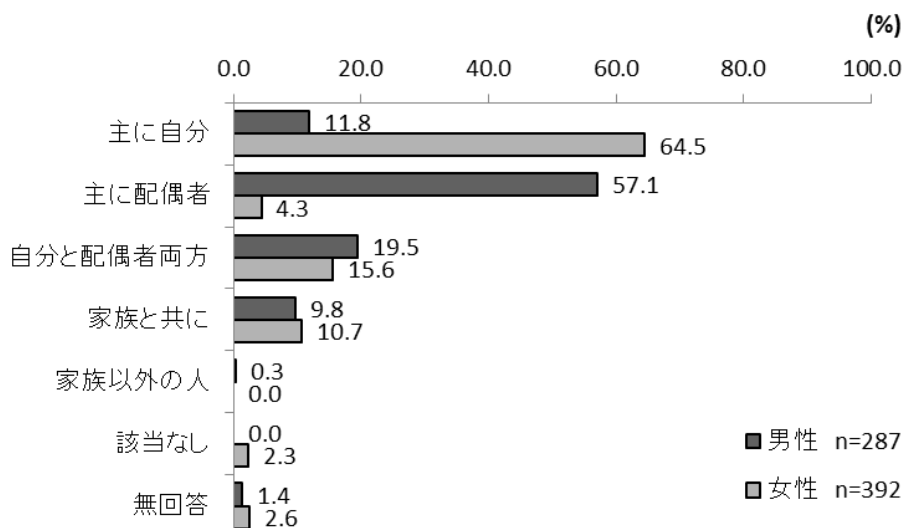
男性も女性も 40 代以上で「主に女性」が圧倒的多数です。

共働き、片働きいずれも「主に女性」が 60%前後となっており、次に「自分と配偶者両方」の順で高くなっています。

⑥ 掃除・洗濯

- ◆「主に女性」が男性で57.1%、女性で64.5%。男女とも30代以上で「主に女性」が最多。
- ◆共働き状況にかかわらず「主に女性」が60%前後。共働きの「自分と配偶者両方」は男性で33.3%、女性で19.6%。

性別



「主に女性」が男女いずれも最も多く、「主に女性」について、「自分と配偶者両方」(17.3%)、「家族と共に」(10.5%)が続いています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

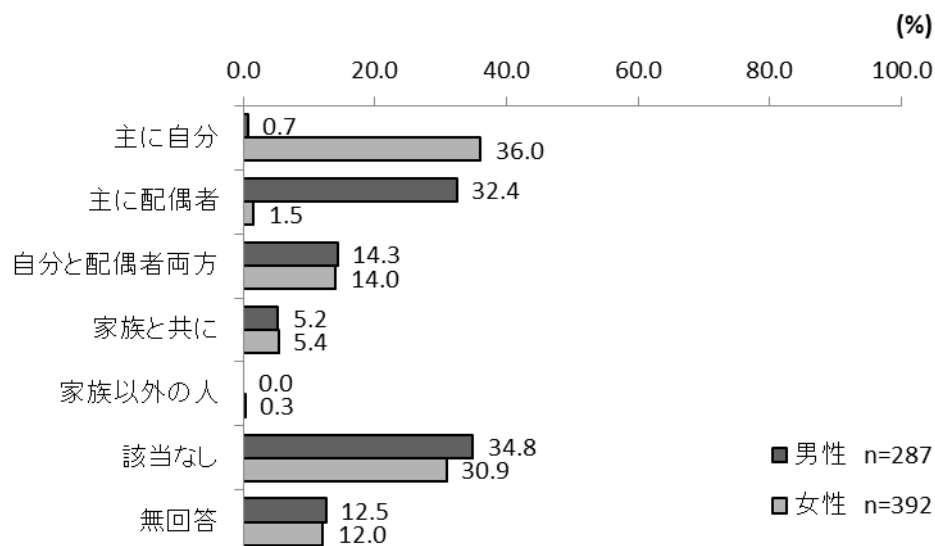
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 42.0 | 26.5 | 17.3 | 10.5 | 0.1 | 1.3 | 2.3 |
| 男性 | 287 | 11.8 | 57.1 | 19.5 | 9.8 | 0.3 | 0.0 | 1.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 16.7 | 8.3 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 14.3 | 46.4 | 25.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 5.1 | 66.7 | 17.9 | 10.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 14.6 | 53.7 | 24.4 | 7.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 7.6 | 65.2 | 21.2 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 16.2 | 57.6 | 17.2 | 5.1 | 1.0 | 0.0 | 3.0 |
| 女性 | 392 | 64.5 | 4.3 | 15.6 | 10.7 | 0.0 | 2.3 | 2.6 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 31.8 | 4.5 | 9.1 | 40.9 | 0.0 | 13.6 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 56.4 | 5.5 | 23.6 | 12.7 | 0.0 | 1.8 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 68.4 | 5.3 | 14.0 | 12.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 72.8 | 2.5 | 14.8 | 6.2 | 0.0 | 2.5 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 72.7 | 3.9 | 15.6 | 7.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 61.9 | 5.2 | 14.4 | 6.2 | 0.0 | 3.1 | 9.3 |
| 男性-共働き | 105 | 6.7 | 53.3 | 33.3 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-片働き | 131 | 5.3 | 73.3 | 16.0 | 3.1 | 0.8 | 0.0 | 1.5 |
| 女性-共働き | 189 | 73.5 | 4.2 | 19.6 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-片働き | 96 | 66.7 | 5.2 | 18.8 | 3.1 | 0.0 | 1.0 | 5.2 |

男女ともに、20代では「家族と共に」が第1位ですが、30代以上では「主に女性」が最も多くなっています。共働き、片働きいずれも「主に女性」が60%前後と他を大きく引き離しています。男性の共働きでは、「自分と配偶者両方」が33.3%とやや高くなっています。

⑦ 育児（世話）

- ◆「主に女性」が男性で32.4%、女性で36%。男女共に30代以上で「主に女性」が圧倒的多数。
- ◆働き状況に関わらず「主に女性」が圧倒的多数。

性別



男女共に「主に女性」が30%台で第1位、第2位に「自分と配偶者両方」が14%程度となっています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 20.9 | 14.6 | 14.0 | 5.4 | 0.1 | 32.3 | 12.6 |
| 男性 | 287 | 0.7 | 32.4 | 14.3 | 5.2 | 0.0 | 34.8 | 12.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 33.3 | 0.0 | 58.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 7.1 | 42.9 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 21.4 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 0.0 | 43.6 | 30.8 | 7.7 | 0.0 | 17.9 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 39.0 | 22.0 | 7.3 | 0.0 | 29.3 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 45.5 | 12.1 | 1.5 | 0.0 | 34.8 | 6.1 |
| 男性-70代以上 | 99 | 0.0 | 18.2 | 4.0 | 4.0 | 0.0 | 44.4 | 29.3 |
| 女性 | 392 | 36.0 | 1.5 | 14.0 | 5.4 | 0.3 | 30.9 | 12.0 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 13.6 | 4.5 | 4.5 | 18.2 | 0.0 | 59.1 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 54.5 | 0.0 | 25.5 | 3.6 | 0.0 | 14.5 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 49.1 | 0.0 | 24.6 | 3.5 | 0.0 | 21.1 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 48.1 | 0.0 | 13.6 | 3.7 | 0.0 | 33.3 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 32.5 | 3.9 | 11.7 | 7.8 | 1.3 | 33.8 | 9.1 |
| 女性-70代以上 | 97 | 16.5 | 2.1 | 6.2 | 3.1 | 0.0 | 35.1 | 37.1 |
| 男性-共働き | 105 | 0.0 | 41.9 | 26.7 | 3.8 | 0.0 | 23.8 | 3.8 |
| 男性-片働き | 131 | 0.0 | 33.6 | 9.9 | 4.6 | 0.0 | 34.4 | 17.6 |
| 女性-共働き | 189 | 54.5 | 0.5 | 22.2 | 2.6 | 0.0 | 16.9 | 3.2 |
| 女性-片働き | 96 | 29.2 | 3.1 | 8.3 | 5.2 | 0.0 | 32.3 | 21.9 |

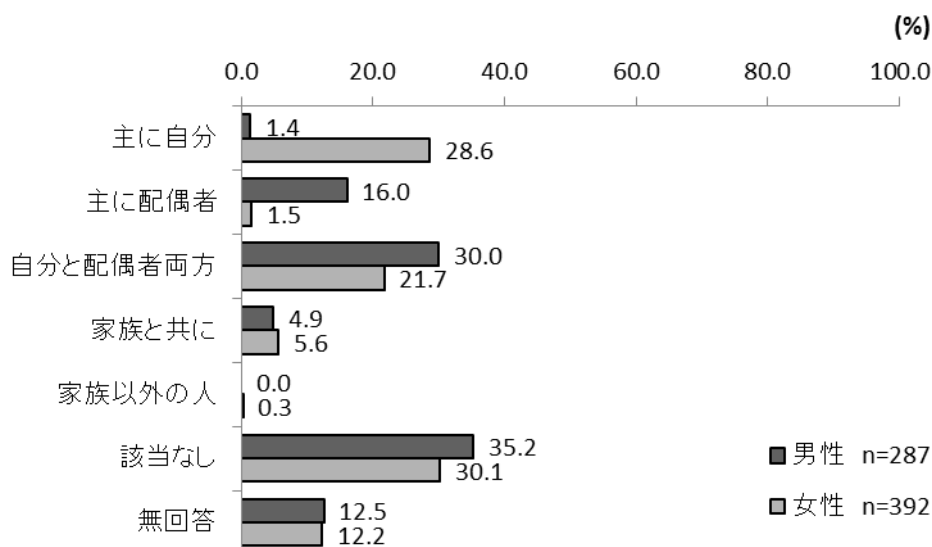
男女共に10代、20代では「家族と共に」が最も多いが、30代以上は「主に女性」が圧倒的多数となっています。

働き状況別では、働き状況に関わらず、「主に女性」が多数となっているものの、共働きは男女ともに「自分と配偶者両方」が20%超となっています。

⑧ 子どものしつけ

- ◆男性は「自分と配偶者両方」(30%)、女性は「主に自分」(28.6%) が最も多い。
- ◆働き状況に関わらず、男性は「自分と配偶者両方」、女性は「主に自分」が最も多い。

性別



男性は「自分と配偶者両方」が30%と「主に配偶者」(16.0%)を大きく上回り、女性は「主に自分」(28.6%)が「自分と配偶者両方」(21.7%)を上回り、逆転しています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 17.0 | 7.7 | 25.0 | 5.4 | 0.1 | 32.0 | 12.7 |
| 男性 | 287 | 1.4 | 16.0 | 30.0 | 4.9 | 0.0 | 35.2 | 12.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 33.3 | 0.0 | 58.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 10.7 | 17.9 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 2.6 | 20.5 | 51.3 | 7.7 | 0.0 | 17.9 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 17.1 | 48.8 | 0.0 | 0.0 | 31.7 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 25.8 | 30.3 | 3.0 | 0.0 | 34.8 | 6.1 |
| 男性-70代以上 | 99 | 0.0 | 9.1 | 13.1 | 5.1 | 0.0 | 43.4 | 29.3 |
| 女性 | 392 | 28.6 | 1.5 | 21.7 | 5.6 | 0.3 | 30.1 | 12.2 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 13.6 | 0.0 | 4.5 | 18.2 | 0.0 | 63.6 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 49.1 | 1.8 | 29.1 | 1.8 | 0.0 | 14.5 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 36.8 | 1.8 | 35.1 | 3.5 | 0.0 | 21.1 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 34.6 | 0.0 | 29.6 | 3.7 | 0.0 | 30.9 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 26.0 | 2.6 | 23.4 | 6.5 | 1.3 | 31.2 | 9.1 |
| 女性-70代以上 | 97 | 13.4 | 2.1 | 6.2 | 6.2 | 0.0 | 35.1 | 37.1 |
| 男性-共働き | 105 | 1.0 | 21.0 | 47.6 | 1.0 | 0.0 | 25.7 | 3.8 |
| 男性-片働き | 131 | 0.8 | 16.8 | 24.4 | 6.1 | 0.0 | 32.8 | 19.1 |
| 女性-共働き | 189 | 42.9 | 1.1 | 34.9 | 2.1 | 0.0 | 15.3 | 3.7 |
| 女性-片働き | 96 | 21.9 | 4.2 | 14.6 | 4.2 | 0.0 | 32.3 | 22.9 |

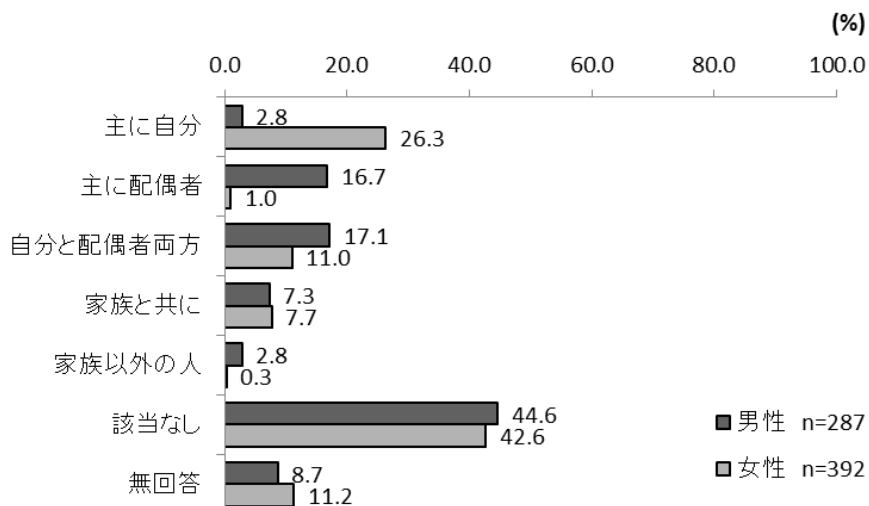
男性は30代以上では「自分と配偶者両方」、女性は30代以上で「主に自分」が最も多い傾向です。

働き状況に関わらず、男性は「自分と配偶者両方」が、女性は「主に自分」が多いものの、片働きより共働きの方が第2位との差が大きくなっています。

⑨ 介護・看護

- ◆男性は「主に配偶者」と「自分と配偶者両方」の差が小さく、女性は「主に自分」が多数。
- ◆男性60代、女性30代以上は「主に女性」が20%超となり最も多くなっている。

性別



男性は「自分と配偶者両方」が第1位で17.1%、続いて「主に配偶者」が16.7%となっており、差はわずかです。女性は「主に自分」が第1位で26.3%、続いて「自分と配偶者両方」が11%となっています。

年齢・働き状況別

(単位: %)

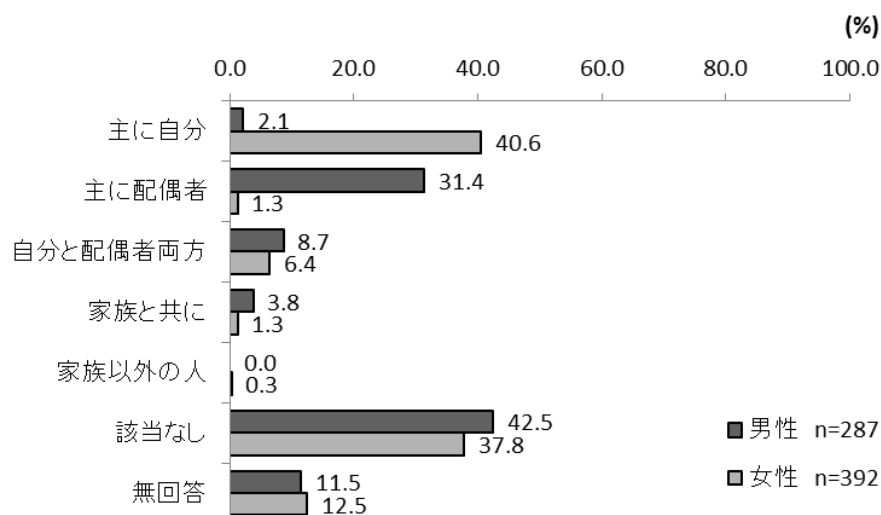
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 16.2 | 7.6 | 13.5 | 7.6 | 1.3 | 43.3 | 10.5 |
| 男性 | 287 | 2.8 | 16.7 | 17.1 | 7.3 | 2.8 | 44.6 | 8.7 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 66.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 7.1 | 7.1 | 10.7 | 3.6 | 0.0 | 67.9 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 2.6 | 10.3 | 15.4 | 2.6 | 0.0 | 69.2 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 2.4 | 22.0 | 24.4 | 4.9 | 4.9 | 39.0 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 4.5 | 27.3 | 25.8 | 10.6 | 1.5 | 28.8 | 1.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 1.0 | 15.2 | 13.1 | 6.1 | 5.1 | 38.4 | 21.2 |
| 女性 | 392 | 26.3 | 1.0 | 11.0 | 7.7 | 0.3 | 42.6 | 11.2 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | 0.0 | 4.5 | 22.7 | 0.0 | 68.2 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 23.6 | 0.0 | 5.5 | 9.1 | 0.0 | 60.0 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 28.1 | 1.8 | 8.8 | 7.0 | 0.0 | 52.6 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 34.6 | 0.0 | 18.5 | 3.7 | 0.0 | 40.7 | 2.5 |
| 女性-60代 | 77 | 28.6 | 2.6 | 14.3 | 9.1 | 0.0 | 35.1 | 10.4 |
| 女性-70代以上 | 97 | 22.7 | 1.0 | 8.2 | 5.2 | 1.0 | 28.9 | 33.0 |
| 男性-共働き | 105 | 1.9 | 15.2 | 23.8 | 2.9 | 1.0 | 53.3 | 1.9 |
| 男性-片働き | 131 | 2.3 | 21.4 | 16.8 | 6.1 | 4.6 | 35.9 | 13.0 |
| 女性-共働き | 189 | 28.6 | 1.1 | 15.3 | 4.2 | 0.0 | 46.6 | 4.2 |
| 女性-片働き | 96 | 31.3 | 2.1 | 9.4 | 6.3 | 1.0 | 30.2 | 19.8 |

男性の60代以上と女性は30代以上で「主に女性」が多くなっています。

⑩ PTA など学校行事への参加

- ◆男女共に、「主に女性」が圧倒的多数。特に、女性30代、40代で60%を超える。
- ◆働き状況に関わらず、「主に女性」が圧倒的多数。

性別



男女共に、「主に女性」が圧倒的多数となっています。

年齢・職業・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|------------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 24.1 | 13.9 | 7.3 | 2.5 | 0.1 | 39.6 | 12.4 |
| 男性 | 287 | 2.1 | 31.4 | 8.7 | 3.8 | 0.0 | 42.5 | 11.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 10.7 | 32.1 | 10.7 | 0.0 | 0.0 | 42.9 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 2.6 | 53.8 | 12.8 | 5.1 | 0.0 | 25.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 39.0 | 12.2 | 2.4 | 0.0 | 41.5 | 4.9 |
| 男性-60代 | 66 | 1.5 | 39.4 | 16.7 | 1.5 | 0.0 | 36.4 | 4.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 1.0 | 17.2 | 1.0 | 4.0 | 0.0 | 50.5 | 26.3 |
| 女性 | 392 | 40.6 | 1.3 | 6.4 | 1.3 | 0.3 | 37.8 | 12.5 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 9.1 | 0.0 | 4.5 | 9.1 | 0.0 | 77.3 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 60.0 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 29.1 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 61.4 | 0.0 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 26.3 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 54.3 | 1.2 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 38.3 | 2.5 |
| 女性-60代 | 77 | 35.1 | 1.3 | 7.8 | 2.6 | 1.3 | 42.9 | 9.1 |
| 女性-70代以上 | 97 | 18.6 | 3.1 | 4.1 | 0.0 | 0.0 | 36.1 | 38.1 |
| 自営業者 | 39 | 15.4 | 28.2 | 12.8 | 0.0 | 0.0 | 30.8 | 12.8 |
| 家族従業員 | 11 | 45.5 | 9.1 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 36.4 | 0.0 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 23.4 | 20.7 | 10.8 | 2.0 | 0.0 | 39.7 | 3.4 |
| 主婦・主夫 | 184 | 36.4 | 1.6 | 2.7 | 1.6 | 0.5 | 36.4 | 20.7 |
| 学生 | 10 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 70.0 | 10.0 |
| その他 | 91 | 5.5 | 13.2 | 5.5 | 6.6 | 0.0 | 53.8 | 15.4 |
| 男性-共働き | 105 | 2.9 | 38.1 | 18.1 | 1.9 | 0.0 | 34.3 | 4.8 |
| 男性-片働き | 131 | 0.8 | 34.4 | 3.8 | 3.8 | 0.0 | 42.0 | 15.3 |
| 女性-共働き | 189 | 61.4 | 0.5 | 9.5 | 0.0 | 0.0 | 24.9 | 3.7 |
| 女性-片働き | 96 | 32.3 | 3.1 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 37.5 | 24.0 |

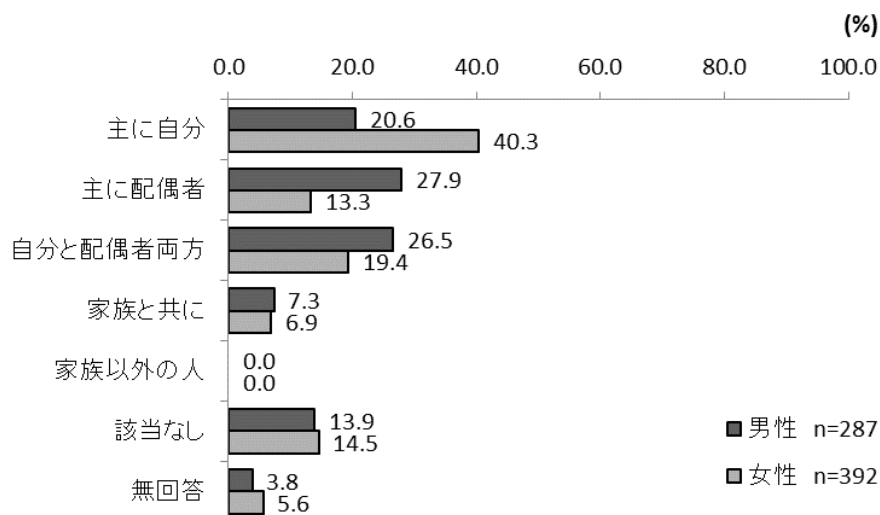
「主に女性」が男性30代、50代、60代と女性60代で30%を超え、男性の40代、女性の30代~50代で50%を超えています。

働き状況別では、片働きよりも共働きで「主に女性」が高くなっています。

① 自治会など地域行事等への参加

- ◆男性は「主に配偶者」と「自分と配偶者両方」、「主に自分」の3つが拮抗。女性は「主に自分」が2位以下を20ポイント以上引き離す。
- ◆共働きは片働きより「自分と配偶者両方」のポイントが高い傾向。

性別



男性は「主に配偶者」(27.9%)、「自分と配偶者両方」(26.5%)、「主に自分」(20.6%)が20%台となっています。女性は「主に自分」(40.3%)が最も多く、「自分と配偶者両方」(19.4%)、「主に配偶者」(13.3%)を引き離しています。

年齢・職業・働き状況別

(単位: %)

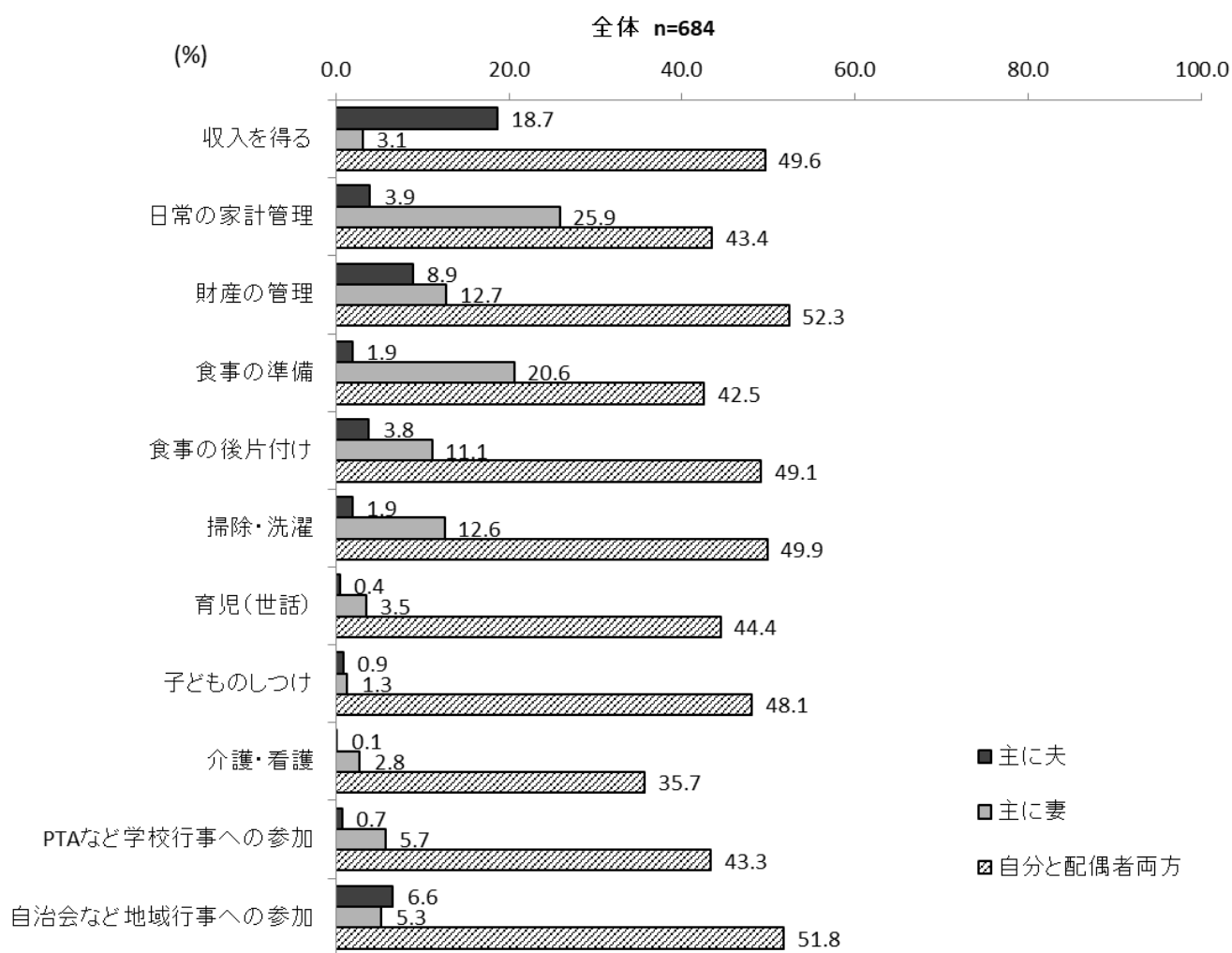
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|------------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 31.7 | 19.3 | 22.2 | 7.2 | 0.0 | 14.3 | 5.3 |
| 男性 | 287 | 20.6 | 27.9 | 26.5 | 7.3 | 0.0 | 13.9 | 3.8 |
| 男性-10代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 27.3 | 10.7 | 32.1 | 7.1 | 0.0 | 28.6 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 36.8 | 20.5 | 30.8 | 10.3 | 0.0 | 20.5 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 58.0 | 39.0 | 34.1 | 2.4 | 0.0 | 12.2 | 4.9 |
| 男性-60代 | 66 | 45.5 | 39.4 | 28.8 | 3.0 | 0.0 | 6.1 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 38.1 | 27.3 | 22.2 | 5.1 | 0.0 | 11.1 | 8.1 |
| 女性 | 392 | 40.3 | 13.3 | 19.4 | 6.9 | 0.0 | 14.5 | 5.6 |
| 女性-10代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 9.1 | 0.0 | 4.5 | 31.8 | 0.0 | 54.5 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 27.3 | 12.7 | 21.8 | 12.7 | 0.0 | 23.6 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 36.8 | 14.0 | 29.8 | 7.0 | 0.0 | 12.3 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 58.0 | 13.6 | 17.3 | 3.7 | 0.0 | 6.2 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 45.5 | 11.7 | 26.0 | 1.3 | 0.0 | 13.0 | 2.6 |
| 女性-70代以上 | 97 | 38.1 | 17.5 | 12.4 | 4.1 | 0.0 | 10.3 | 17.5 |
| 自営業者 | 39 | 28.2 | 38.5 | 17.9 | 0.0 | 0.0 | 12.8 | 2.6 |
| 家族従業員 | 11 | 36.4 | 27.3 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 0.0 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 25.1 | 23.1 | 26.8 | 8.5 | 0.0 | 15.3 | 1.4 |
| 主婦・主夫 | 184 | 43.5 | 13.6 | 17.4 | 3.3 | 0.0 | 13.6 | 8.7 |
| 学生 | 10 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 40.0 | 10.0 |
| その他 | 91 | 34.1 | 14.3 | 22.0 | 8.8 | 0.0 | 15.4 | 5.5 |
| 男性-共働き | 105 | 19.0 | 26.7 | 39.0 | 1.9 | 0.0 | 12.4 | 1.0 |
| 男性-片働き | 131 | 17.6 | 35.1 | 24.4 | 4.6 | 0.0 | 13.7 | 4.6 |
| 女性-共働き | 189 | 41.8 | 17.5 | 27.0 | 2.6 | 0.0 | 10.6 | 0.5 |
| 女性-片働き | 96 | 40.6 | 16.7 | 20.8 | 2.1 | 0.0 | 8.3 | 11.5 |

(2) 家庭の中での男女の役割分担（希望）

問2 すべての方におたずねします。あなたは、次にあげる事柄について、望ましいと思う分担はどれですか。それぞれ1つを選んでください。（〇は1つずつ）

- ◆すべての項目で「夫・妻の両方」が最も多く、ほとんどの項目で50%前後。
- ◆【財産の管理】では「夫・妻の両方」が52.3%で全項目中最大。

全体・性別



家庭での夫と妻の希望の役割分担を聞いたところ、「主に妻」を希望する項目が、多いものから順に【日常の家計管理】(25.9%)、【食事の準備】(20.5%)、【財産の管理】(12.7%)、【掃除・洗濯】(12.6%)となっています。

「自分と配偶者両方」を希望する項目は、多いものから順に【財産の管理】(52.3%)、【自治会など地域行事への参加】(51.8%)、【掃除・洗濯】(49.9%)、【収入を得る】(49.6%)となっています。

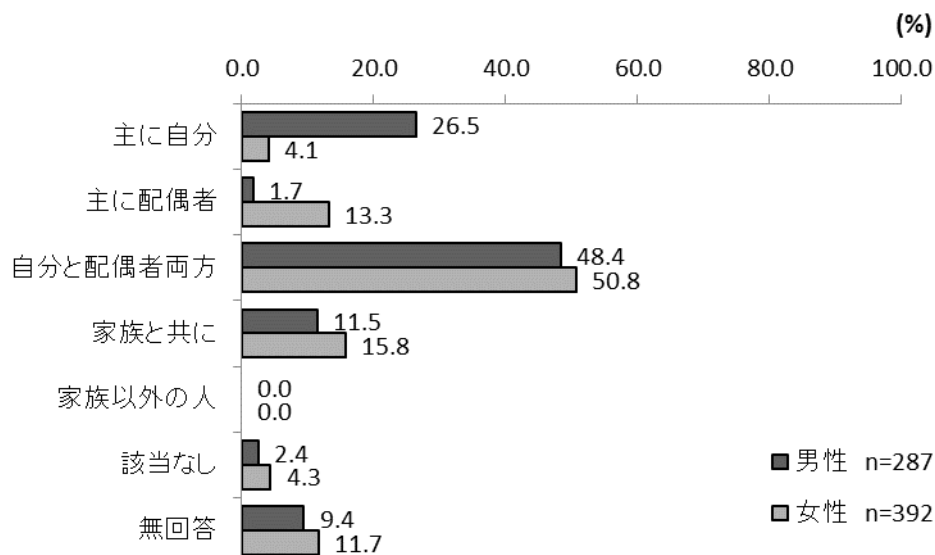
「主に夫」を希望する項目は【収入を得る】(18.7%)、【財産の管理】(8.9%)となっています。

II 調査結果 3 家庭生活や地域活動について

① 収入を得る

- ◆男女共に「自分と配偶者両方」が最も多い。
- ◆片働きより共働きの方が「自分と配偶者両方」との回答が多い。

性別



年齢・働き状況別

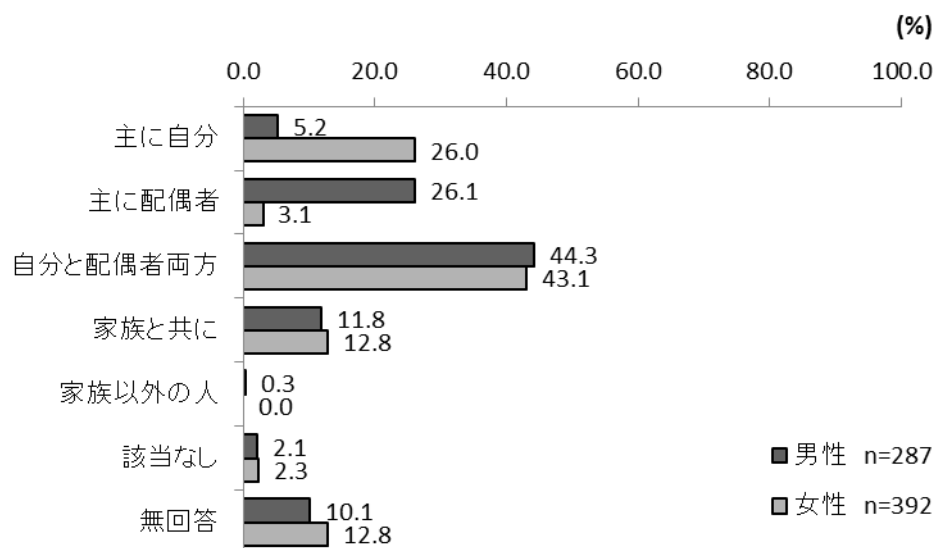
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 13.5 | 8.3 | 49.6 | 14.2 | 0.0 | 3.5 | 11.0 |
| 男性 | 287 | 26.5 | 1.7 | 48.4 | 11.5 | 0.0 | 2.4 | 9.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 21.4 | 3.6 | 53.6 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 25.6 | 2.6 | 59.0 | 7.7 | 0.0 | 2.6 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 26.8 | 0.0 | 61.0 | 4.9 | 0.0 | 4.9 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 27.3 | 1.5 | 51.5 | 9.1 | 0.0 | 1.5 | 9.1 |
| 男性-70代以上 | 99 | 29.3 | 2.0 | 38.4 | 9.1 | 0.0 | 2.0 | 19.2 |
| 女性 | 392 | 4.1 | 13.3 | 50.8 | 15.8 | 0.0 | 4.3 | 11.7 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | 13.6 | 22.7 | 50.0 | 0.0 | 4.5 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 0.0 | 3.6 | 81.8 | 9.1 | 0.0 | 1.8 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 5.3 | 17.5 | 70.2 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 6.2 | 19.8 | 46.9 | 17.3 | 0.0 | 4.9 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 2.6 | 9.1 | 55.8 | 22.1 | 0.0 | 5.2 | 5.2 |
| 女性-70代以上 | 97 | 4.1 | 14.4 | 28.9 | 10.3 | 0.0 | 7.2 | 35.1 |
| 男性-共働き | 105 | 18.1 | 3.8 | 66.7 | 4.8 | 0.0 | 1.9 | 4.8 |
| 男性-片働き | 131 | 29.0 | 0.8 | 45.8 | 7.6 | 0.0 | 2.3 | 14.5 |
| 女性-共働き | 189 | 0.0 | 18.5 | 67.7 | 6.9 | 0.0 | 1.1 | 5.8 |
| 女性-片働き | 96 | 0.0 | 14.6 | 49.0 | 6.3 | 0.0 | 7.3 | 22.9 |

② 日常の家計管理

◆男女ともに「自分と配偶者両方」が最も多く、次に「主に女性」が多い。

性別



年齢・働き状況別

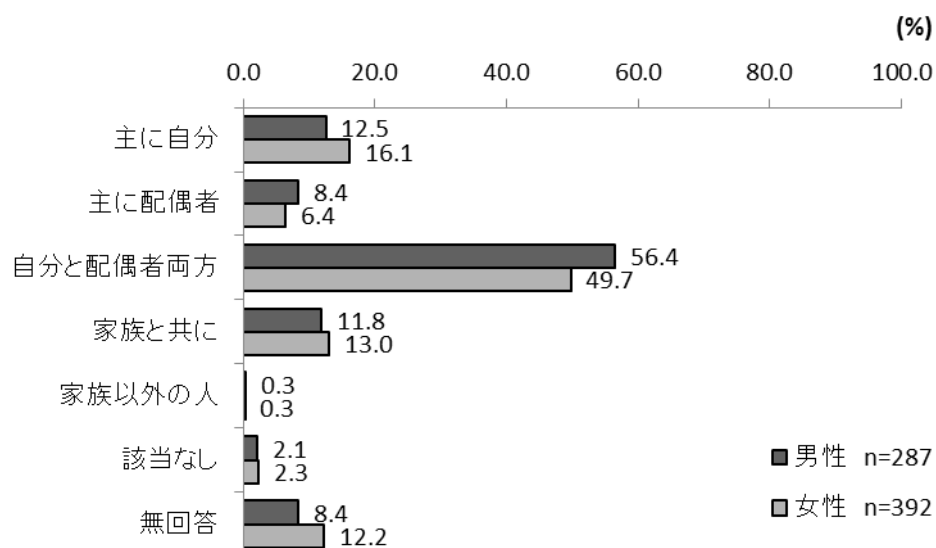
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 17.1 | 12.7 | 43.4 | 12.6 | 0.1 | 2.2 | 11.8 |
| 男性 | 287 | 5.2 | 26.1 | 44.3 | 11.8 | 0.3 | 2.1 | 10.1 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 16.7 | 8.3 | 66.7 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 7.1 | 7.1 | 57.1 | 25.0 | 0.0 | 3.6 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 10.3 | 35.9 | 35.9 | 15.4 | 0.0 | 2.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 4.9 | 19.5 | 65.9 | 2.4 | 0.0 | 4.9 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 1.5 | 36.4 | 42.4 | 6.1 | 1.5 | 1.5 | 10.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 6.1 | 25.3 | 41.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 20.2 |
| 女性 | 392 | 26.0 | 3.1 | 43.1 | 12.8 | 0.0 | 2.3 | 12.8 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 27.3 | 9.1 | 22.7 | 31.8 | 0.0 | 4.5 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 32.7 | 3.6 | 50.9 | 9.1 | 0.0 | 1.8 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 24.6 | 5.3 | 57.9 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 24.7 | 0.0 | 53.1 | 13.6 | 0.0 | 1.2 | 7.4 |
| 女性-60代 | 77 | 29.9 | 2.6 | 46.8 | 9.1 | 0.0 | 3.9 | 7.8 |
| 女性-70代以上 | 97 | 20.6 | 3.1 | 24.7 | 12.4 | 0.0 | 3.1 | 36.1 |
| 男性-共働き | 105 | 1.9 | 29.5 | 51.4 | 7.6 | 0.0 | 2.9 | 6.7 |
| 男性-片働き | 131 | 4.6 | 31.3 | 48.1 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 13.0 |
| 女性-共働き | 189 | 29.1 | 3.7 | 57.7 | 1.6 | 0.0 | 1.6 | 6.3 |
| 女性-片働き | 96 | 24.0 | 2.1 | 42.7 | 7.3 | 0.0 | 1.0 | 22.9 |

③ 財産の管理

◆男女ともに「自分と配偶者両方」が約50%で圧倒的多数。

性別



年齢・働き状況別

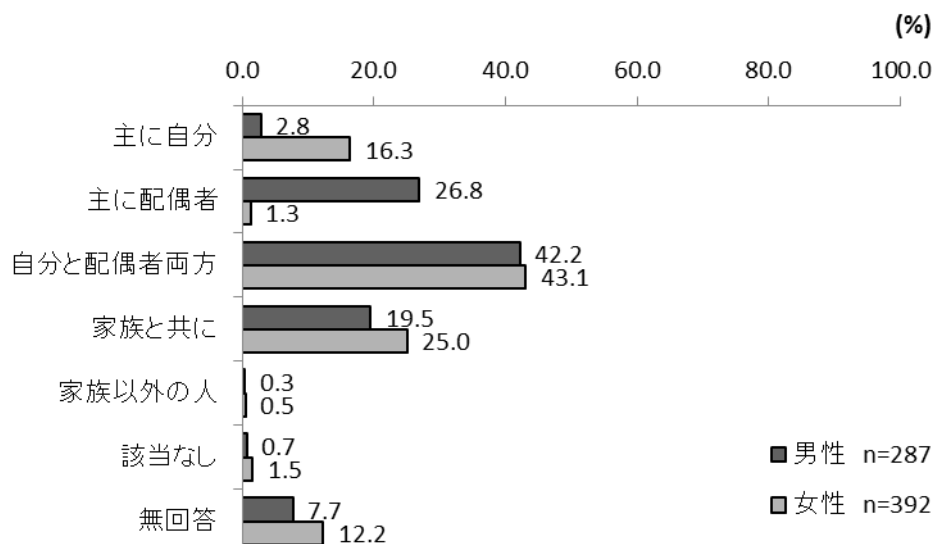
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 14.5 | 7.2 | 52.3 | 12.7 | 0.3 | 2.2 | 10.8 |
| 男性 | 287 | 12.5 | 8.4 | 56.4 | 11.8 | 0.3 | 2.1 | 8.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 8.3 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 3.6 | 3.6 | 64.3 | 25.0 | 0.0 | 3.6 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 15.4 | 12.8 | 53.8 | 12.8 | 0.0 | 5.1 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 9.8 | 7.3 | 73.2 | 2.4 | 0.0 | 2.4 | 4.9 |
| 男性-60代 | 66 | 10.6 | 13.6 | 57.6 | 7.6 | 1.5 | 0.0 | 9.1 |
| 男性-70代以上 | 99 | 17.2 | 5.1 | 51.5 | 9.1 | 0.0 | 1.0 | 16.2 |
| 女性 | 392 | 16.1 | 6.4 | 49.7 | 13.0 | 0.3 | 2.3 | 12.2 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 22.7 | 0.0 | 31.8 | 36.4 | 0.0 | 4.5 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 25.5 | 9.1 | 52.7 | 9.1 | 1.8 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 15.8 | 10.5 | 61.4 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 13.6 | 4.9 | 64.2 | 8.6 | 0.0 | 3.7 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 19.5 | 5.2 | 57.1 | 9.1 | 0.0 | 2.6 | 6.5 |
| 女性-70代以上 | 97 | 8.2 | 6.2 | 28.9 | 16.5 | 0.0 | 3.1 | 37.1 |
| 男性-共働き | 105 | 3.8 | 13.3 | 67.6 | 7.6 | 0.0 | 2.9 | 4.8 |
| 男性-片働き | 131 | 16.8 | 6.9 | 60.3 | 4.6 | 0.0 | 0.8 | 10.7 |
| 女性-共働き | 189 | 15.3 | 8.5 | 66.1 | 2.6 | 0.5 | 1.6 | 5.3 |
| 女性-片働き | 96 | 10.4 | 7.3 | 49.0 | 8.3 | 0.0 | 1.0 | 24.0 |

④ 食事の準備

- ◆男女ともに第1位は「自分と配偶者両方」。男性は第2位が「主に女性」、女性は第2位が「家族と共に」となった。
- ◆男性の共働きと女性は働き状況に関わらず、「自分と配偶者両方」が50%超で圧倒的多数。男性の片働きは「自分と配偶者両方」が最も多いものの、第2位の「主に女性」との差が小さい。

性別



年齢・働き状況別

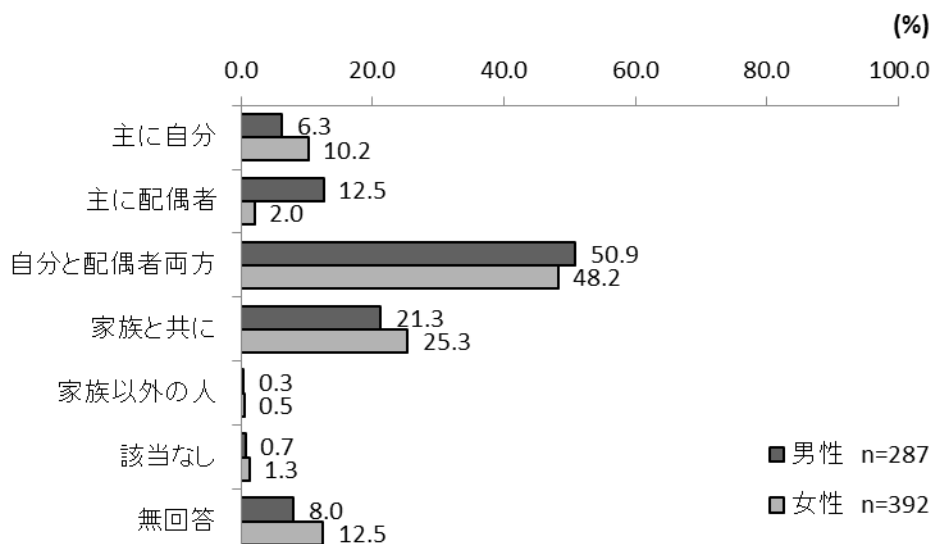
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 10.5 | 12.0 | 42.5 | 22.8 | 0.4 | 1.2 | 10.5 |
| 男性 | 287 | 2.8 | 26.8 | 42.2 | 19.5 | 0.3 | 0.7 | 7.7 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 8.3 | 25.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 3.6 | 10.7 | 57.1 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 2.6 | 23.1 | 53.8 | 17.9 | 0.0 | 2.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 4.9 | 34.1 | 43.9 | 12.2 | 0.0 | 2.4 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 1.5 | 24.2 | 47.0 | 19.7 | 0.0 | 0.0 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 3.0 | 34.3 | 31.3 | 14.1 | 1.0 | 0.0 | 16.2 |
| 女性 | 392 | 16.3 | 1.3 | 43.1 | 25.0 | 0.5 | 1.5 | 12.2 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 9.1 | 0.0 | 18.2 | 68.2 | 0.0 | 0.0 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 10.9 | 0.0 | 67.3 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 21.1 | 1.8 | 42.1 | 29.8 | 1.8 | 0.0 | 3.5 |
| 女性-50代 | 81 | 18.5 | 2.5 | 44.4 | 25.9 | 1.2 | 2.5 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 16.9 | 0.0 | 53.2 | 23.4 | 0.0 | 1.3 | 5.2 |
| 女性-70代以上 | 97 | 15.5 | 2.1 | 27.8 | 14.4 | 0.0 | 3.1 | 37.1 |
| 男性-共働き | 105 | 1.0 | 27.6 | 51.4 | 15.2 | 0.0 | 1.0 | 3.8 |
| 男性-片働き | 131 | 0.0 | 32.8 | 44.3 | 11.5 | 0.8 | 0.0 | 10.7 |
| 女性-共働き | 189 | 20.1 | 1.1 | 55.6 | 15.9 | 1.1 | 1.1 | 5.3 |
| 女性-片働き | 96 | 10.4 | 3.1 | 51.0 | 10.4 | 0.0 | 1.0 | 24.0 |

⑤ 食事の後片付け

- ◆男女ともに「自分と配偶者両方」が第1位。第2位に「家族と共に」が続く。
- ◆男女共、働き状況にかかわらず、第1位は「自分と配偶者両方」が圧倒的多数。

性別



年齢・働き状況別

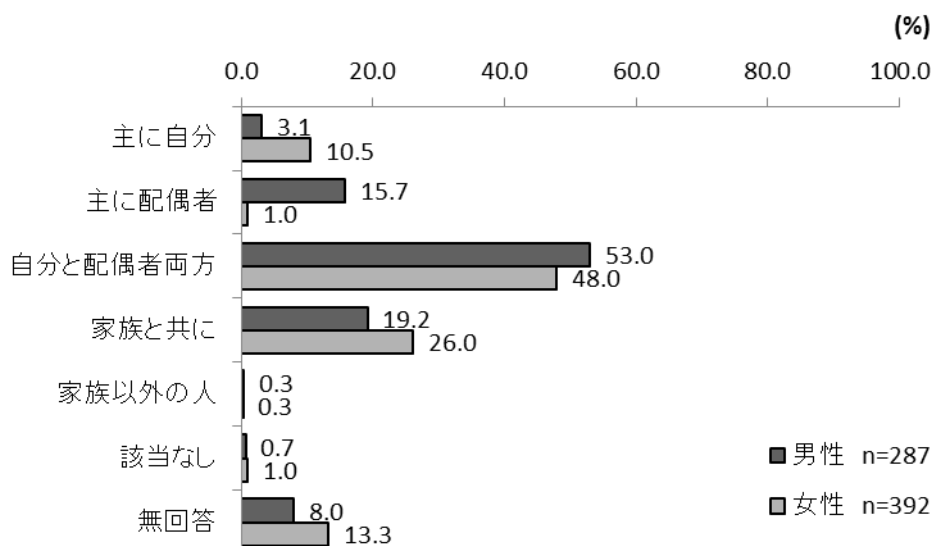
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者 両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|-------------|------|-------|--------------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 8.5 | 6.4 | 49.1 | 23.7 | 0.4 | 1.0 | 10.8 |
| 男性 | 287 | 6.3 | 12.5 | 50.9 | 21.3 | 0.3 | 0.7 | 8.0 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 0.0 | 25.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 10.7 | 3.6 | 57.1 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 10.3 | 2.6 | 64.1 | 20.5 | 0.0 | 2.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 7.3 | 17.1 | 58.5 | 12.2 | 0.0 | 2.4 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 3.0 | 13.6 | 53.0 | 22.7 | 0.0 | 0.0 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 5.1 | 18.2 | 41.4 | 17.2 | 1.0 | 0.0 | 17.2 |
| 女性 | 392 | 10.2 | 2.0 | 48.2 | 25.3 | 0.5 | 1.3 | 12.5 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | 0.0 | 22.7 | 68.2 | 0.0 | 0.0 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 1.8 | 5.5 | 65.5 | 25.5 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 7.0 | 5.3 | 54.4 | 29.8 | 1.8 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 17.3 | 1.2 | 46.9 | 27.2 | 1.2 | 1.2 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 6.5 | 0.0 | 62.3 | 23.4 | 0.0 | 1.3 | 6.5 |
| 女性-70代以上 | 97 | 14.4 | 1.0 | 32.0 | 11.3 | 0.0 | 3.1 | 38.1 |
| 男性-共働き | 105 | 7.6 | 10.5 | 61.0 | 16.2 | 0.0 | 1.0 | 3.8 |
| 男性-片働き | 131 | 2.3 | 17.6 | 53.4 | 14.5 | 0.8 | 0.0 | 11.5 |
| 女性-共働き | 189 | 9.0 | 2.6 | 63.0 | 18.0 | 1.1 | 0.5 | 5.8 |
| 女性-片働き | 96 | 7.3 | 3.1 | 55.2 | 10.4 | 0.0 | 1.0 | 22.9 |

⑥ 掃除・洗濯

- ◆男女共に第1位は「自分と配偶者両方」。第2位は「家族と共に」。
- ◆働き状況にかかわらず、「自分と配偶者両方」が50%超。

性別



年齢・働き状況別

(単位: %)

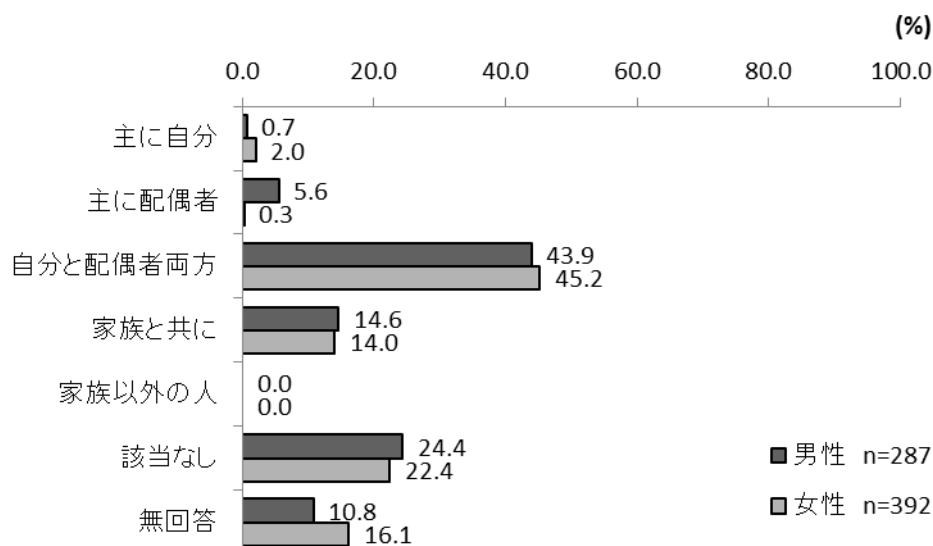
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 7.3 | 7.2 | 49.9 | 23.2 | 0.3 | 0.9 | 11.3 |
| 男性 | 287 | 3.1 | 15.7 | 53.0 | 19.2 | 0.3 | 0.7 | 8.0 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 8.3 | 33.3 | 58.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 3.6 | 7.1 | 67.9 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 5.1 | 15.4 | 56.4 | 20.5 | 0.0 | 2.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 4.9 | 14.6 | 61.0 | 14.6 | 0.0 | 2.4 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 1.5 | 10.6 | 62.1 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 3.0 | 23.2 | 40.4 | 15.2 | 1.0 | 0.0 | 17.2 |
| 女性 | 392 | 10.5 | 1.0 | 48.0 | 26.0 | 0.3 | 1.0 | 13.3 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | 0.0 | 27.3 | 63.6 | 0.0 | 0.0 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 5.5 | 1.8 | 67.3 | 23.6 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 10.5 | 1.8 | 49.1 | 36.8 | 0.0 | 0.0 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 12.3 | 1.2 | 50.6 | 27.2 | 1.2 | 1.2 | 6.2 |
| 女性-60代 | 77 | 10.4 | 0.0 | 58.4 | 23.4 | 0.0 | 1.3 | 6.5 |
| 女性-70代以上 | 97 | 12.4 | 1.0 | 32.0 | 12.4 | 0.0 | 2.1 | 40.2 |
| 男性-共働き | 105 | 1.0 | 11.4 | 65.7 | 17.1 | 0.0 | 1.0 | 3.8 |
| 男性-片働き | 131 | 0.8 | 21.4 | 54.2 | 11.5 | 0.8 | 0.0 | 11.5 |
| 女性-共働き | 189 | 11.1 | 1.6 | 61.4 | 18.5 | 0.5 | 0.5 | 6.3 |
| 女性-片働き | 96 | 5.2 | 1.0 | 58.3 | 10.4 | 0.0 | 1.0 | 24.0 |

II 調査結果 3 家庭生活や地域活動について

⑦ 育児（世話）

- ◆男女ともに「自分と配偶者両方」が40%超で圧倒的多数。
- ◆「自分と配偶者両方」は共働きで約60%、片働きで40%前後。

性別



年齢・働き状況別

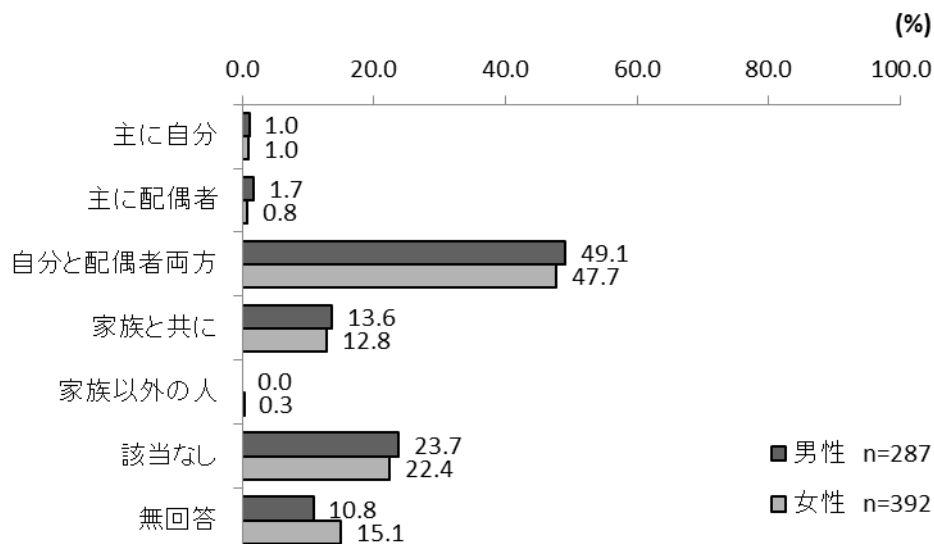
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 1.5 | 2.5 | 44.4 | 14.5 | 0.0 | 23.1 | 14.0 |
| 男性 | 287 | 0.7 | 5.6 | 43.9 | 14.6 | 0.0 | 24.4 | 10.8 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 50.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 10.7 | 57.1 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 5.1 | 10.3 | 64.1 | 15.4 | 0.0 | 2.6 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 4.9 | 51.2 | 12.2 | 0.0 | 29.3 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 7.6 | 51.5 | 7.6 | 0.0 | 25.8 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 0.0 | 2.0 | 27.3 | 16.2 | 0.0 | 31.3 | 23.2 |
| 女性 | 392 | 2.0 | 0.3 | 45.2 | 14.0 | 0.0 | 22.4 | 16.1 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 0.0 | 27.3 | 50.0 | 0.0 | 18.2 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 5.5 | 0.0 | 70.9 | 9.1 | 0.0 | 10.9 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 0.0 | 1.8 | 66.7 | 12.3 | 0.0 | 14.0 | 5.3 |
| 女性-50代 | 81 | 2.5 | 0.0 | 53.1 | 14.8 | 0.0 | 23.5 | 6.2 |
| 女性-60代 | 77 | 2.6 | 0.0 | 41.6 | 14.3 | 0.0 | 29.9 | 11.7 |
| 女性-70代以上 | 97 | 1.0 | 0.0 | 19.6 | 8.2 | 0.0 | 27.8 | 43.3 |
| 男性-共働き | 105 | 0.0 | 6.7 | 57.1 | 10.5 | 0.0 | 21.0 | 4.8 |
| 男性-片働き | 131 | 0.8 | 5.3 | 42.7 | 10.7 | 0.0 | 25.2 | 15.3 |
| 女性-共働き | 189 | 2.6 | 0.0 | 69.3 | 6.3 | 0.0 | 12.2 | 9.5 |
| 女性-片働き | 96 | 2.1 | 1.0 | 32.3 | 9.4 | 0.0 | 27.1 | 28.1 |

⑧ 子どものしつけ

- ◆男女ともに「自分と配偶者両方」が圧倒的多数。
- ◆「自分と配偶者両方」は共働きで約65%、片働きで約40%。

性別



年齢・働き状況別

(単位: %)

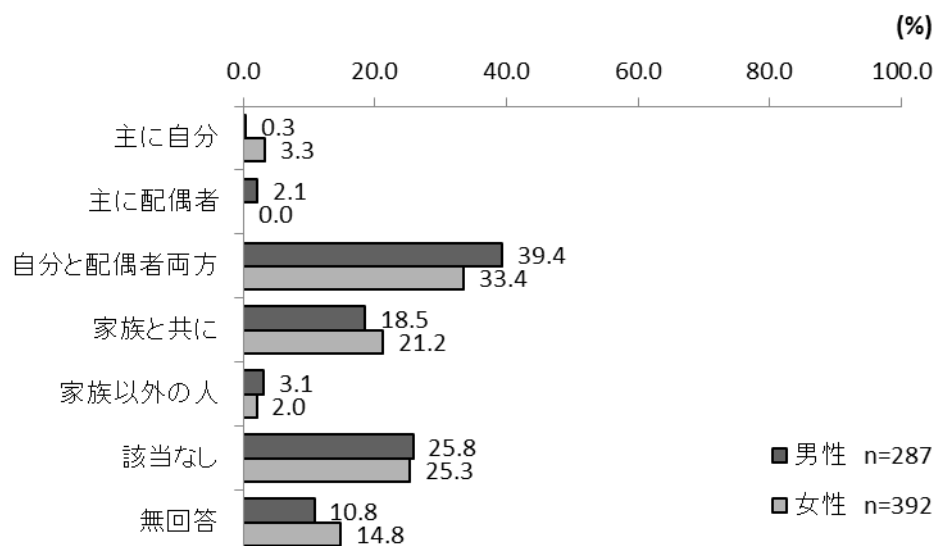
| | 回答者数 (人) | 主に自分 (%) | 主に配偶者 (%) | 自分と配偶者両方 (%) | 家族と共に (%) | 家族以外の人 (%) | 該当なし (%) | 無回答 (%) |
|----------|----------|----------|-----------|--------------|-----------|------------|----------|---------|
| 全体 | 684 | 1.0 | 1.2 | 48.1 | 13.3 | 0.1 | 22.8 | 13.5 |
| 男性 | 287 | 1.0 | 1.7 | 49.1 | 13.6 | 0.0 | 23.7 | 10.8 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 3.6 | 0.0 | 64.3 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 5.1 | 2.6 | 74.4 | 12.8 | 0.0 | 2.6 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 2.4 | 65.9 | 0.0 | 0.0 | 29.3 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 3.0 | 53.0 | 10.6 | 0.0 | 25.8 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 0.0 | 1.0 | 28.3 | 17.2 | 0.0 | 30.3 | 23.2 |
| 女性 | 392 | 1.0 | 0.8 | 47.7 | 12.8 | 0.3 | 22.4 | 15.1 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 0.0 | 27.3 | 50.0 | 0.0 | 18.2 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 3.6 | 1.8 | 70.9 | 9.1 | 0.0 | 10.9 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 0.0 | 1.8 | 68.4 | 10.5 | 0.0 | 14.0 | 5.3 |
| 女性-50代 | 81 | 1.2 | 0.0 | 60.5 | 9.9 | 0.0 | 23.5 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 0.0 | 1.3 | 44.2 | 15.6 | 0.0 | 29.9 | 9.1 |
| 女性-70代以上 | 97 | 1.0 | 0.0 | 20.6 | 7.2 | 1.0 | 27.8 | 42.3 |
| 男性-共働き | 105 | 1.0 | 2.9 | 64.8 | 5.7 | 0.0 | 21.0 | 4.8 |
| 男性-片働き | 131 | 0.8 | 1.5 | 46.6 | 11.5 | 0.0 | 24.4 | 15.3 |
| 女性-共働き | 189 | 1.1 | 1.1 | 70.9 | 6.9 | 0.0 | 12.2 | 7.9 |
| 女性-片働き | 96 | 1.0 | 1.0 | 36.5 | 7.3 | 0.0 | 29.2 | 25.0 |

II 調査結果 3 家庭生活や地域活動について

⑨ 介護・看護

- ◆男女ともに「自分と配偶者両方」が第1位で、女性よりも男性の方が多。女性では男性に比べ、「家族と共に」の希望が高い。
- ◆共働き状況に関わらず「自分と配偶者両方」が第1位、第2位に「家族と共に」が続く。

性別



年齢・働き状況別

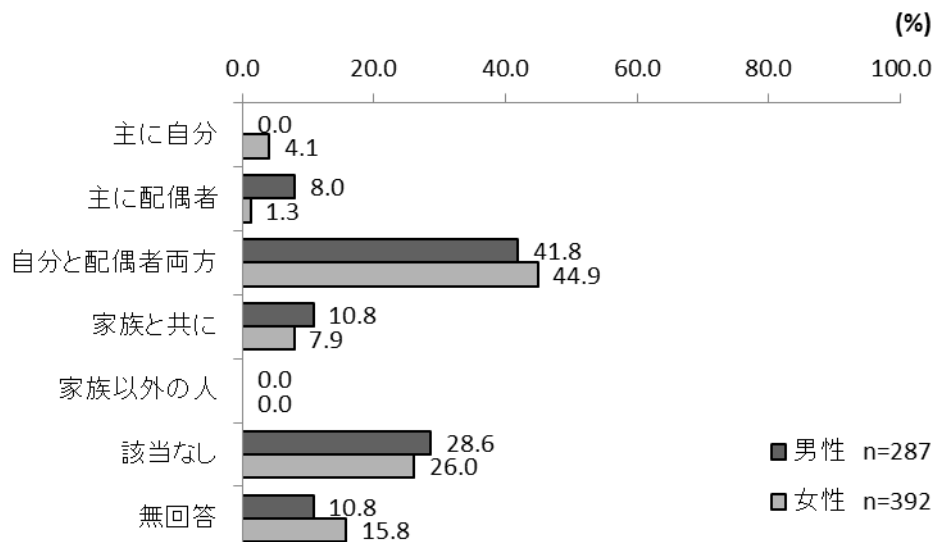
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者 両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|----------|-------------|------|-------|--------------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 2.0 | 0.9 | 35.7 | 20.2 | 2.5 | 25.4 | 13.3 |
| 男性 | 287 | 0.3 | 2.1 | 39.4 | 18.5 | 3.1 | 25.8 | 10.8 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 50.0 | 0.0 | 41.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 0.0 | 32.1 | 14.3 | 0.0 | 50.0 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 0.0 | 5.1 | 43.6 | 20.5 | 5.1 | 23.1 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 2.4 | 48.8 | 14.6 | 4.9 | 26.8 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 3.0 | 51.5 | 15.2 | 1.5 | 19.7 | 9.1 |
| 男性-70代以上 | 99 | 1.0 | 1.0 | 31.3 | 19.2 | 4.0 | 21.2 | 22.2 |
| 女性 | 392 | 3.3 | 0.0 | 33.4 | 21.2 | 2.0 | 25.3 | 14.8 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 9.1 | 0.0 | 13.6 | 50.0 | 0.0 | 22.7 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 1.8 | 0.0 | 38.2 | 18.2 | 1.8 | 36.4 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 3.5 | 0.0 | 40.4 | 17.5 | 3.5 | 26.3 | 8.8 |
| 女性-50代 | 81 | 2.5 | 0.0 | 42.0 | 22.2 | 1.2 | 27.2 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 1.3 | 0.0 | 40.3 | 23.4 | 2.6 | 23.4 | 9.1 |
| 女性-70代以上 | 97 | 4.1 | 0.0 | 19.6 | 15.5 | 2.1 | 18.6 | 40.2 |
| 男性-共働き | 105 | 0.0 | 3.8 | 42.9 | 12.4 | 1.9 | 33.3 | 5.7 |
| 男性-片働き | 131 | 0.8 | 1.5 | 43.5 | 16.0 | 4.6 | 19.8 | 13.7 |
| 女性-共働き | 189 | 2.6 | 0.0 | 44.4 | 14.8 | 2.1 | 27.0 | 9.0 |
| 女性-片働き | 96 | 3.1 | 0.0 | 34.4 | 16.7 | 2.1 | 20.8 | 22.9 |

⑩ PTA など学校行事への参加

- ◆男女ともに「自分と配偶者両方」が圧倒的多数。
- ◆働き状況に関わらず「自分と配偶者両方」が多数。

性別



年齢・職業・働き状況別

(単位: %)

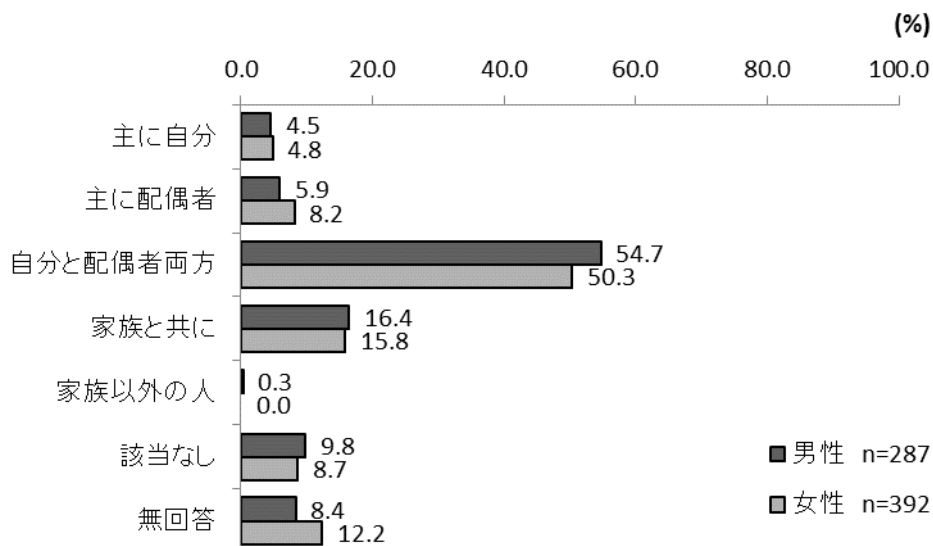
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|------------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 2.3 | 4.1 | 43.3 | 9.4 | 0.0 | 27.0 | 13.9 |
| 男性 | 287 | 0.0 | 8.0 | 41.8 | 10.8 | 0.0 | 28.6 | 10.8 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 41.7 | 0.0 | 41.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 5.5 | 7.1 | 53.6 | 10.7 | 0.0 | 25.0 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 7.0 | 15.4 | 56.4 | 15.4 | 0.0 | 10.3 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 4.9 | 7.3 | 48.8 | 2.4 | 0.0 | 36.6 | 4.9 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 6.1 | 53.0 | 7.6 | 0.0 | 25.8 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 5.2 | 7.1 | 25.3 | 11.1 | 0.0 | 34.3 | 22.2 |
| 女性 | 392 | 4.1 | 1.3 | 44.9 | 7.9 | 0.0 | 26.0 | 15.8 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 4.5 | 27.3 | 31.8 | 0.0 | 31.8 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 5.5 | 0.0 | 63.6 | 5.5 | 0.0 | 21.8 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 7.0 | 1.8 | 64.9 | 3.5 | 0.0 | 17.5 | 5.3 |
| 女性-50代 | 81 | 4.9 | 2.5 | 53.1 | 6.2 | 0.0 | 25.9 | 7.4 |
| 女性-60代 | 77 | 0.0 | 0.0 | 46.8 | 11.7 | 0.0 | 31.2 | 10.4 |
| 女性-70代以上 | 97 | 5.2 | 1.0 | 19.6 | 4.1 | 0.0 | 27.8 | 42.3 |
| 自営業者 | 39 | 5.1 | 7.7 | 46.2 | 5.1 | 0.0 | 17.9 | 17.9 |
| 家族従業員 | 11 | 0.0 | 0.0 | 63.6 | 0.0 | 0.0 | 27.3 | 9.1 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 1.7 | 5.8 | 53.2 | 9.8 | 0.0 | 24.4 | 5.1 |
| 主婦・主夫 | 184 | 3.3 | 1.1 | 38.6 | 7.1 | 0.0 | 28.8 | 21.2 |
| 学生 | 10 | 0.0 | 10.0 | 20.0 | 30.0 | 0.0 | 30.0 | 10.0 |
| その他 | 91 | 1.1 | 5.5 | 23.1 | 14.3 | 0.0 | 40.7 | 15.4 |
| 男性-共働き | 105 | 0.0 | 11.4 | 51.4 | 2.9 | 0.0 | 27.6 | 6.7 |
| 男性-片働き | 131 | 0.0 | 7.6 | 40.5 | 9.2 | 0.0 | 29.0 | 13.7 |
| 女性-共働き | 189 | 5.3 | 1.1 | 65.1 | 2.6 | 0.0 | 15.9 | 10.1 |
| 女性-片働き | 96 | 3.1 | 1.0 | 34.4 | 4.2 | 0.0 | 31.3 | 26.0 |

II 調査結果 3 家庭生活や地域活動について

① 自治会など地域行事等への参加

- ◆男女ともに「自分と配偶者両方」が圧倒的多数。
- ◆働き状況に関わらず「自分と配偶者両方」が多数。

性別



年齢・職業・働き状況別

(単位: %)

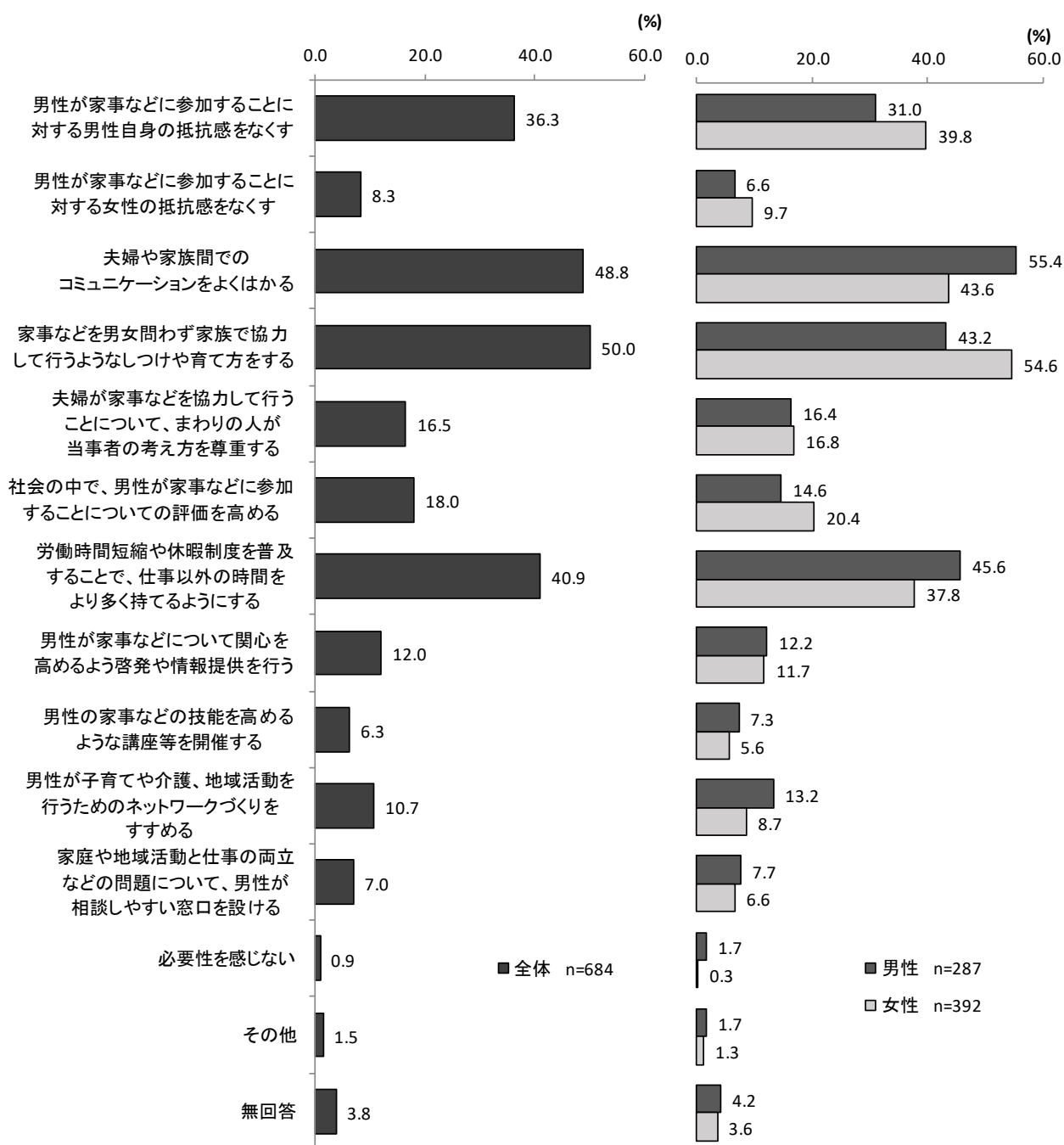
| | 回答者数 (人) | 主に自分 | 主に配偶者 | 自分と配偶者両方 | 家族と共に | 家族以外の人 | 該当なし | 無回答 |
|------------|----------|------|-------|----------|-------|--------|------|------|
| 全体 | 684 | 4.7 | 7.2 | 51.8 | 16.2 | 0.1 | 9.2 | 10.8 |
| 男性 | 287 | 4.5 | 5.9 | 54.7 | 16.4 | 0.3 | 9.8 | 8.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 4.5 | 0.0 | 8.3 | 66.7 | 0.0 | 16.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 1.8 | 3.6 | 67.9 | 10.7 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 0.0 | 10.3 | 46.2 | 23.1 | 0.0 | 12.8 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 6.2 | 4.9 | 63.4 | 4.9 | 2.4 | 17.1 | 4.9 |
| 男性-60代 | 66 | 3.9 | 7.6 | 69.7 | 9.1 | 0.0 | 4.5 | 7.6 |
| 男性-70代以上 | 99 | 9.3 | 5.1 | 46.5 | 18.2 | 0.0 | 7.1 | 17.2 |
| 女性 | 392 | 4.8 | 8.2 | 50.3 | 15.8 | 0.0 | 8.7 | 12.2 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | 0.0 | 18.2 | 54.5 | 0.0 | 18.2 | 4.5 |
| 女性-30代 | 55 | 1.8 | 12.7 | 50.9 | 18.2 | 0.0 | 12.7 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 0.0 | 12.3 | 63.2 | 15.8 | 0.0 | 7.0 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 6.2 | 11.1 | 63.0 | 9.9 | 0.0 | 4.9 | 4.9 |
| 女性-60代 | 77 | 3.9 | 2.6 | 63.6 | 14.3 | 0.0 | 11.7 | 3.9 |
| 女性-70代以上 | 97 | 9.3 | 7.2 | 29.9 | 11.3 | 0.0 | 6.2 | 36.1 |
| 自営業者 | 39 | 2.6 | 5.1 | 56.4 | 7.7 | 2.6 | 10.3 | 15.4 |
| 家族従業員 | 11 | 9.1 | 18.2 | 54.5 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 9.1 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 5.1 | 8.1 | 56.3 | 18.3 | 0.0 | 8.8 | 3.4 |
| 主婦・主夫 | 184 | 4.9 | 8.2 | 50.5 | 10.9 | 0.0 | 9.8 | 15.8 |
| 学生 | 10 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 70.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| その他 | 91 | 6.6 | 3.3 | 40.7 | 23.1 | 0.0 | 13.2 | 13.2 |
| 男性-共働き | 105 | 3.8 | 10.5 | 62.9 | 7.6 | 1.0 | 9.5 | 4.8 |
| 男性-片働き | 131 | 1.5 | 4.6 | 59.5 | 13.0 | 0.0 | 9.9 | 11.5 |
| 女性-共働き | 189 | 0.5 | 11.6 | 68.3 | 6.9 | 0.0 | 7.4 | 5.3 |
| 女性-片働き | 96 | 5.2 | 8.3 | 51.0 | 6.3 | 0.0 | 6.3 | 22.9 |

(3) 男女の家庭生活と地域活動の参加支援

問3 すべての方におたずねします。男性が女性と共に家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆全体では「家事などを男女問わず家族で協力して行うようなしつけや育て方をする」と「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が約50%で第1位、第2位。
 ◆「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」と「家事などを男女問わず家族で協力して行うようなしつけや育て方をする」は男女間のポイントが逆転している。

全体・性別



II 調査結果 3 家庭生活や地域活動について

全体では、「家事などを男女問わず家族で協力して行うようなしつけや育て方をする」50%と、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」48.8%が、ほぼ同数で第1位、第2位となっています。続いて「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」(40.9%)、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」(36.3%)が第3位、第4位となり、第5位以下を15ポイント以上引き離しています。

性別でみると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が男性55.4%に対し、女性43.6%で男女差が11.8ポイントと大きくなっています。他に男女差がある項目として、「家事などを男女問わず家族で協力して行うようなしつけや育て方をする」は男性の43.2%に対し女性は54.6%で11.4ポイント女性が高く、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」が男性31%に対し、女性39.8%で8.8ポイント女性が高く、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が女性37.8%に対し、男性45.6%で7.8ポイント男性が高い結果となっています。その他の項目では、男女差はほとんどありません。

性別

(単位:%)

| | 回答者数 (人) | 男性が家事 などに参加 すること に対する男性 自身の抵抗 感をなくす | 男性が家事 などに参加 すること に対する女性 の抵抗感を なくす | 夫婦や家族 間での コミュニケー ションをよく はかる | 家事などを 男女問わず 家族で協力 して 行うようなし つけや育て 方をする | 夫婦が家事 などを協力し て行うこと について、 まわりの人 が当事者の 考え方を尊 重する | 社会の中 で、男性が 家事などに 参加する ことについて の評価を高 める | 労働時間短 縮や休暇制 度を普及す ることで、 仕事以外の 時間をより 多く持てるよ うにする |
|----|-------------|---|--|--|--|---|---|--|
| 全体 | 684 | 36.3 | 8.3 | 48.8 | 50.0 | 16.5 | 18.0 | 40.9 |
| 男性 | 287 | 31.0 | 6.6 | 55.4 | 43.2 | 16.4 | 14.6 | 45.6 |
| 女性 | 392 | 39.8 | 9.7 | 43.6 | 54.6 | 16.8 | 20.4 | 37.8 |
| | 回答者数 (人) | 男性が家事 などにつ いて関心 を高め るよう 啓発や情 報提供 を行う | 男性の家事 などの技能 を高める ような講 座等を開 催する | 男性が子育 てや介護、 地域活動 を行うた めのネッ トワー クづく りをすす める | 家庭や地域 活動と仕事 の両立な どの問題 について、 男性が相 談しやす い窓口を 設ける | 必要性を感 じない | その他 | 無回答 |
| 全体 | 684 | 12.0 | 6.3 | 10.7 | 7.0 | 0.9 | 1.5 | 3.8 |
| 男性 | 287 | 12.2 | 7.3 | 13.2 | 7.7 | 1.7 | 1.7 | 4.2 |
| 女性 | 392 | 11.7 | 5.6 | 8.7 | 6.6 | 0.3 | 1.3 | 3.6 |

その他の意見

- 地域活動は必要ない。負担になる。
- 幼児の頃からの教育。
- 法律や職場の理解を改正して積極的にオーナーが職員に働きかけること！
- 会社側の理解や協力が必要。
- そもそも各家庭の自由なので無理に参加を進めなくても良い。
- これが当たり前だという事を教育する。男性に甘すぎる。
- 家族内や学校教育の中で男女差別を無くしていく。
- 地域全体で、男尊女卑の考えに気づき、変えていこうとする思考。

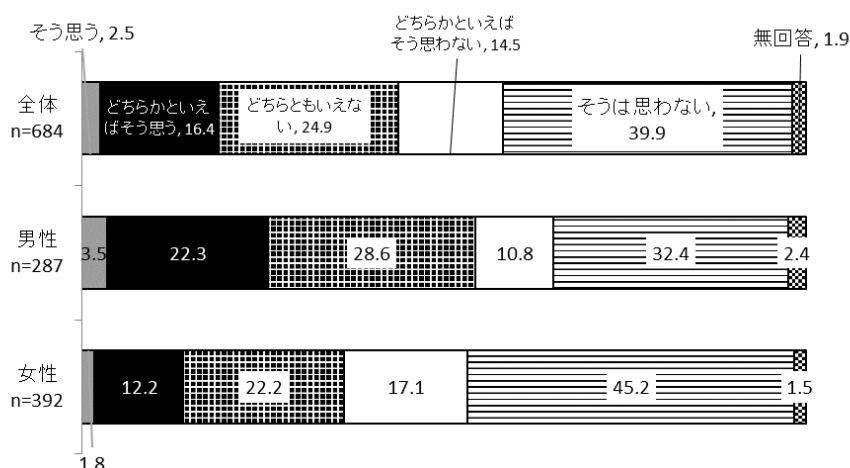
4 男女の働き方について

(1) 性別役割分担意識について

問4 すべての方におたずねします。あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。(〇は1つだけ)

- ◆全体では反対派（54.4%）が賛成派（18.9%）を上回る。
- ◆男性は反対派が賛成派を17ポイント上回り、女性は反対派が賛成派を48ポイント上回る。
- ◆男性の70代以上は賛成派が多いがそれ以外は反対傾向。女性は全年代で反対傾向。

全体・性別



全体では、「そう思う」（2.5%）と「どちらかといえばそう思う」（16.4%）を合わせた“賛成”は 18.9%、「どちらかというと思わない」（14.5%）と「そう思わない」（39.9%）を合わせた“反対”が54.4%と“賛成”を上回ります。「どちらともいえない」は 24.9%です。

男性は“反対”（43.2%）が“賛成”（25.8%）を 17ポイント上回り、女性は“反対”（62.2%）が“賛成”（14%）を 48ポイント上回っています。

性年齢・婚姻・働き状況別

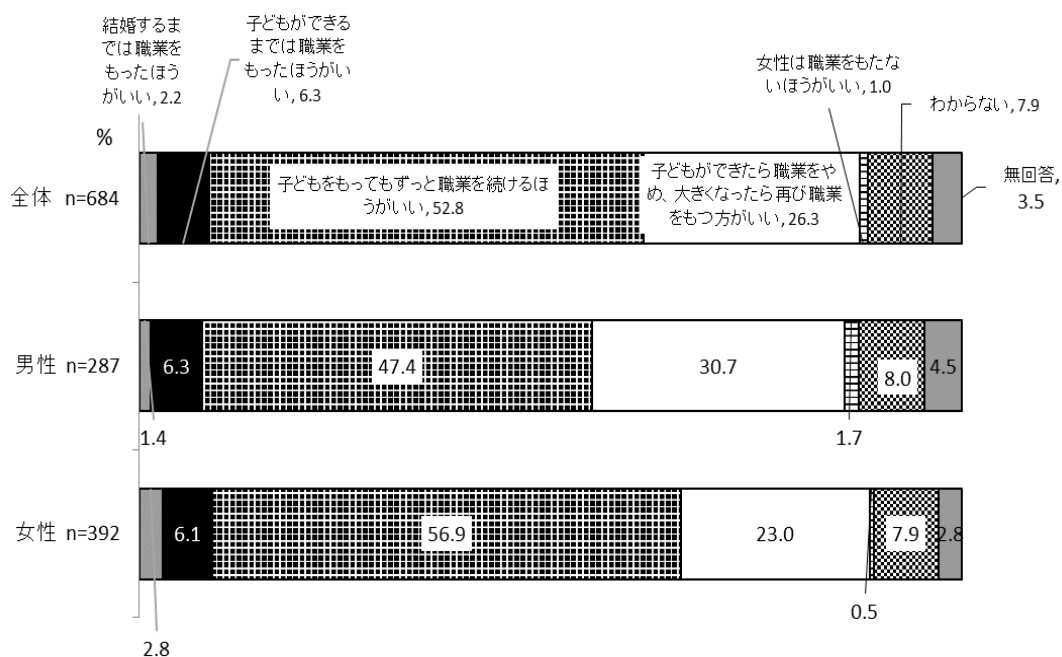
(単位: %)

| | 回答者数 (人) | “賛成” | | “反対” | どちらともいえない | 無回答 |
|----------|----------|------|----|------|-----------|------|
| 全体 | 684 | 18.9 | << | 54.4 | 24.9 | 1.9 |
| 男性 | 287 | 25.8 | < | 43.2 | 28.6 | 2.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | = | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | << | 58.3 | 25.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 14.3 | << | 64.3 | 21.4 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 23.1 | < | 41.0 | 35.9 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 14.6 | << | 51.2 | 31.7 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 24.2 | < | 45.5 | 30.3 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 37.4 | > | 32.3 | 25.3 | 5.1 |
| 女性 | 392 | 14.0 | << | 62.2 | 22.2 | 1.5 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | << | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | << | 81.8 | 13.6 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 10.9 | << | 76.4 | 12.7 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 15.8 | << | 61.4 | 22.8 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 14.8 | << | 58.0 | 27.2 | 0.0 |
| 女性-60代 | 77 | 13.0 | << | 66.2 | 20.8 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 17.5 | << | 50.5 | 25.8 | 6.2 |
| 未婚 | 69 | 10.1 | << | 65.2 | 23.2 | 1.4 |
| 離婚・死別 | 74 | 23.0 | << | 55.4 | 16.2 | 5.4 |
| 結婚している | 537 | 19.6 | << | 52.9 | 26.3 | 1.3 |
| 共働き | 294 | 14.3 | << | 60.5 | 24.8 | 0.3 |
| 片働き | 228 | 25.0 | < | 44.3 | 28.1 | 2.6 |

(2) 女性が仕事をする事

問5 すべての方におたずねします。あなたは、「女性が仕事をする事」についてどのように思いますか。(〇は1つだけ)

- ◆全体では、継続就業型 (52.8%) が、一時中断型 (26.3%) を上回る。
- ◆一時中断型は女性 (23%) より男性 (30.7%) の方が高く、継続就業型は男性 (47.4%) より女性 (56.9%) の方が高い。
- ◆働き状況に関わらず、継続就業型が、一時中断型を上回るものの、片働きの男性は継続就業型と一時中断型の差が小さい傾向。



全体では、「子どもをもってもずっと職業を続けるほうがいい」（継続就業型）が 52.8%と、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がいい」（一時中断型）が 26.3%を上回ります。一時中断型は女性(23%)より男性(30.7%)の方が高く、継続就業型は男性(47.4%)より女性(56.9%)の方が高くなっています。

性年齢・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 結婚するま では職業を もったほうが いい | 子どもがで きるまでは 職業をもった ほうがいい | 子どもをもつ てもずっと職 業を続ける ほうがいい | 子どもがで きたら職業 をやめ、大き くなったら再 び職業をも つ方がいい | 女性は職業 をもたない ほうがいい | わからない | 無回答 |
|----------|-------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--|-------------------------|-------|------|
| 全体 | 684 | 2.2 | 6.3 | 52.8 | 26.3 | 1.0 | 7.9 | 3.5 |
| 男性 | 287 | 1.4 | 6.3 | 47.4 | 30.7 | 1.7 | 8.0 | 4.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 16.7 | 58.3 | 16.7 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 3.6 | 35.7 | 35.7 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 0.0 | 7.7 | 51.3 | 30.8 | 2.6 | 2.6 | 5.1 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 0.0 | 48.8 | 26.8 | 2.4 | 12.2 | 9.8 |
| 男性-60代 | 66 | 1.5 | 6.1 | 56.1 | 27.3 | 4.5 | 4.5 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 3.0 | 8.1 | 41.4 | 35.4 | 0.0 | 6.1 | 6.1 |
| 女性 | 392 | 2.8 | 6.1 | 56.9 | 23.0 | 0.5 | 7.9 | 2.8 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 13.6 | 36.4 | 31.8 | 4.5 | 13.6 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 1.8 | 0.0 | 63.6 | 16.4 | 0.0 | 12.7 | 5.5 |
| 女性-40代 | 57 | 1.8 | 5.3 | 71.9 | 14.0 | 0.0 | 7.0 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 3.7 | 4.9 | 56.8 | 28.4 | 0.0 | 6.2 | 0.0 |
| 女性-60代 | 77 | 1.3 | 5.2 | 64.9 | 22.1 | 0.0 | 5.2 | 1.3 |
| 女性-70代以上 | 97 | 5.2 | 10.3 | 42.3 | 26.8 | 1.0 | 7.2 | 7.2 |
| 男性-共働き | 105 | 0.0 | 4.8 | 59.0 | 24.8 | 1.0 | 7.6 | 2.9 |
| 男性-片働き | 131 | 3.1 | 7.6 | 38.9 | 35.9 | 2.3 | 7.6 | 4.6 |
| 女性-共働き | 189 | 2.6 | 4.2 | 62.4 | 23.3 | 0.0 | 5.8 | 1.6 |
| 女性-片働き | 96 | 3.1 | 10.4 | 47.9 | 24.0 | 1.0 | 9.4 | 4.2 |

性年齢別で見ると、30代男性は継続就業型と一時中断型が同率となり、それ以外の年代で継続就業型が一時中断型を上回ります。女性40代は継続就業型が71.9%と最大となります。

働き別では、継続就業型が一時中断型を上回ります。

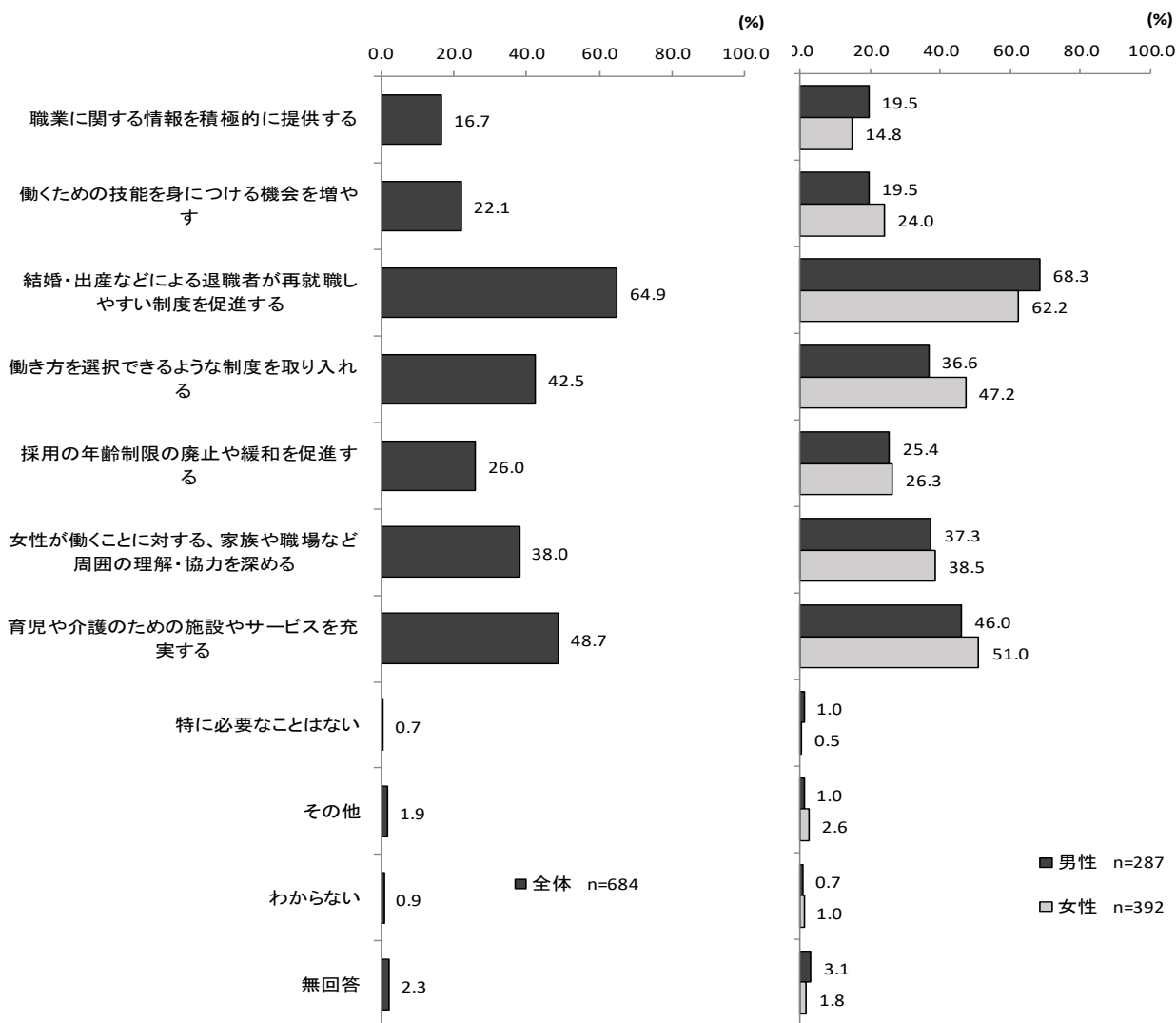
(3) 女性の再就職について

問6 すべての方におたずねします。子育てや介護によりいったん離職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



◆男女とも、「結婚・出産などによる退職者が再就職しやすい制度を促進する」が多数。

全体・性別



全体では、第1位は「結婚・出産などによる退職者が再就職しやすい制度を促進する」64.9%、次に「育児や介護のための施設やサービスを充実する」が48.7%、「働き方を選択できるような制度を取り入れる」42.5%と続きます。

年齢・職業・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 職業に関する情報を積極的に提供する | 働くための技能を身につける機会を増やす | 結婚・出産などによる退職者が再就職しやすい制度を促進する | 働き方を選択できるような制度を取り入れる | 採用の年齢制限の廃止や緩和を促進する | 女性が働くことに対する、家族や職場など周囲の理解・協力を深める | 育児や介護のための施設やサービスを充実させる | 特に必要はない | その他 | わからない | 無回答 |
|------------|-------------|-------------------|---------------------|------------------------------|----------------------|--------------------|---------------------------------|------------------------|---------|-----|-------|------|
| 全体 | 684 | 16.7 | 22.1 | 64.9 | 42.5 | 26.0 | 38.0 | 48.7 | 0.7 | 1.9 | 0.9 | 2.3 |
| 男性 | 287 | 19.5 | 19.5 | 68.3 | 36.6 | 25.4 | 37.3 | 46.0 | 1.0 | 1.0 | 0.7 | 3.1 |
| 女性 | 392 | 14.8 | 24.0 | 62.2 | 47.2 | 26.3 | 38.5 | 51.0 | 0.5 | 2.6 | 1.0 | 1.8 |
| 10代 | 4 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 |
| 20代 | 34 | 11.8 | 8.8 | 85.3 | 64.7 | 14.7 | 50.0 | 44.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 85 | 16.5 | 20.0 | 62.4 | 60.0 | 29.4 | 25.9 | 37.6 | 0.0 | 4.7 | 0.0 | 1.2 |
| 40代 | 96 | 16.7 | 18.8 | 58.3 | 57.3 | 21.9 | 40.6 | 46.9 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 0.0 |
| 50代 | 122 | 12.3 | 27.9 | 62.3 | 44.3 | 36.1 | 34.4 | 45.9 | 2.5 | 1.6 | 0.0 | 1.6 |
| 60代 | 143 | 23.1 | 22.4 | 62.2 | 41.3 | 26.6 | 34.3 | 57.3 | 0.7 | 1.4 | 0.7 | 1.4 |
| 70代以上 | 196 | 15.8 | 23.0 | 68.9 | 24.5 | 21.9 | 44.9 | 50.5 | 0.5 | 0.5 | 2.6 | 5.1 |
| 自営業者 | 39 | 17.9 | 15.4 | 56.4 | 35.9 | 15.4 | 38.5 | 56.4 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 5.1 |
| 家族従業員 | 11 | 0.0 | 36.4 | 45.5 | 36.4 | 36.4 | 36.4 | 36.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 18.3 | 22.7 | 66.4 | 51.2 | 28.5 | 36.6 | 44.7 | 0.3 | 3.4 | 0.0 | 1.0 |
| 主婦・主婦 | 184 | 17.4 | 23.4 | 64.1 | 41.8 | 24.5 | 41.3 | 55.4 | 0.0 | 1.1 | 1.6 | 1.1 |
| 学生 | 10 | 10.0 | 10.0 | 60.0 | 60.0 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| その他の無職 | 91 | 14.3 | 20.9 | 70.3 | 25.3 | 27.5 | 33.0 | 49.5 | 1.1 | 1.1 | 2.2 | 4.4 |
| 共働き | 294 | 15.6 | 21.4 | 64.3 | 51.7 | 27.2 | 35.7 | 47.3 | 0.7 | 3.4 | 0.0 | 1.0 |
| 片働き | 228 | 18.4 | 21.9 | 68.9 | 32.5 | 23.2 | 40.8 | 53.9 | 0.4 | 0.9 | 1.3 | 3.1 |

「結婚・出産などによる退職者が再就職しやすい制度を促進する」は10代を除く年代で第1位です。

全体の第2位は「育児や介護のための施設やサービスを充実する」、第3位は「働き方を選択できるような制度を取り入れる」、第4位は「女性が働くことに対する、家族や職場など周囲の理解・協力を深める」と続きます。

職業別にみると、自営業者と学生は「結婚・出産などによる退職者が再就職しやすい制度を促進する」と「育児や介護のための施設やサービスを充実する」が同率で第1位、それ以外の職業は「結婚・出産などによる退職者が再就職しやすい制度を促進する」が第1位です。

その他の意見

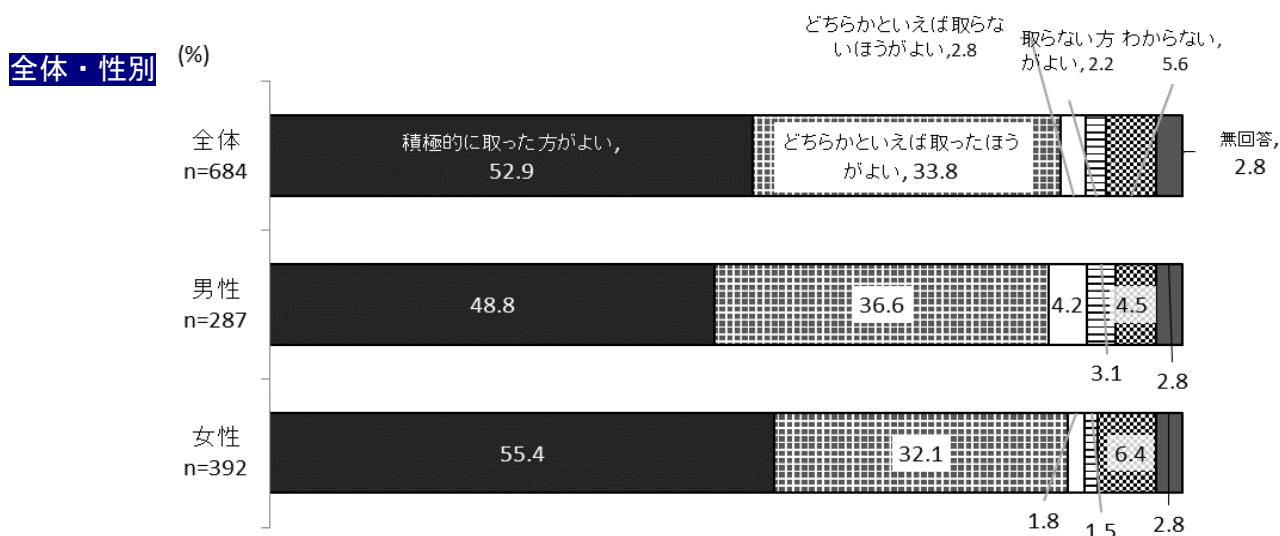
- 女性の雇用賃金を男性の水準まで引き上げる。
- 制度があってもそれを使える環境づくりが必要。
- 子が病気したり、夏休みに入っても休めないのがネック。短期の仕事や在宅がもっとあればいい。
- 病児保育の充実→子供が元気ではない時に誰かがフォローしてくれる仕組み。
- 仕事に対して女性が男性と同等の責任を持つこと。家事や育児を自分が主に負担するという意識があるなら再就職は諦めてほしい。
- 自分の意思。
- 男性の意識改革。
- 再度働く時の単価。
- 子育て中の女性を正社員として雇用し、一定数の人員をもって支援できる体制をとっている事業主への支援を制度化する。
- そもそも子育てや介護で離職しなくてよい制度をつくるべき。
- 社会を変える。
- 育児が終わった頃に、前職などを考慮して年齢に関係なく採用を促進する。

(4) 男性の育児休業や介護休業の利用について

問7 すべての方におたずねします。男性が育児休業制度や介護休業制度を利用することについてどう考えますか。(〇は1つずつ)

(1) 育児休業

- ◆ 「積極的に取った方がよい」の割合が男性より女性の方が高いものの、「どちらかといえば取ったほうがよい」を合わせると全体、男女共に約86%。
- ◆ 「どちらかといえば取らないほうがよい」「取らない方がよい」合わせて5%。



「積極的に取った方がよい」と「どちらかといえば取ったほうがよい」を合わせると、全体では86.7%、男性85.4%、女性87.5%で、全体、男女共にほとんど差はありません。

「どちらかといえば取らないほうがよい」と「取らない方がよい」を合わせると、全体では5%、男性7.3%、女性3.3%となっています。

年齢・職業・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 積極的に取った方がよい | どちらかといえば取ったほうがよい | どちらかといえば取らないほうがよい | 取らない方がよい | わからない | 無回答 |
|------------|----------|-------------|------------------|-------------------|----------|-------|------|
| 全体 n=684 | 684 | 52.9 | 33.8 | 2.8 | 2.2 | 5.6 | 2.8 |
| 男性 n=287 | 287 | 48.8 | 36.6 | 4.2 | 3.1 | 4.5 | 2.8 |
| 女性 n=392 | 392 | 55.4 | 32.1 | 1.8 | 1.5 | 6.4 | 2.8 |
| 10代 | 4 | 52.9 | 33.8 | 2.8 | 2.2 | 5.6 | 2.8 |
| 20代 | 34 | 73.5 | 20.6 | 0.0 | 0.0 | 5.9 | 0.0 |
| 30代 | 85 | 74.1 | 18.8 | 1.2 | 2.4 | 3.5 | 0.0 |
| 40代 | 96 | 54.2 | 37.5 | 1.0 | 2.1 | 5.2 | 0.0 |
| 50代 | 122 | 48.4 | 34.4 | 4.1 | 2.5 | 8.2 | 2.5 |
| 60代 | 143 | 53.1 | 39.9 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 0.7 |
| 70代以上 | 196 | 41.8 | 37.2 | 4.6 | 2.6 | 7.1 | 6.6 |
| 自営業者 | 39 | 35.9 | 46.2 | 5.1 | 5.1 | 2.6 | 5.1 |
| 家族従業員 | 11 | 36.4 | 54.5 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 57.6 | 32.5 | 1.7 | 2.4 | 4.7 | 1.0 |
| 主婦・主婦 | 184 | 53.8 | 36.4 | 2.2 | 1.6 | 4.3 | 1.6 |
| 学生 | 10 | 50.0 | 30.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 |
| その他 | 91 | 45.1 | 31.9 | 5.5 | 3.3 | 9.9 | 4.4 |
| 共働き | 294 | 57.1 | 33.7 | 2.7 | 2.0 | 3.7 | 0.7 |
| 片働き | 228 | 40.0 | 46.7 | 0.0 | 6.7 | 6.7 | 0.0 |

(4) 男性の育児休業や介護休業の利用について

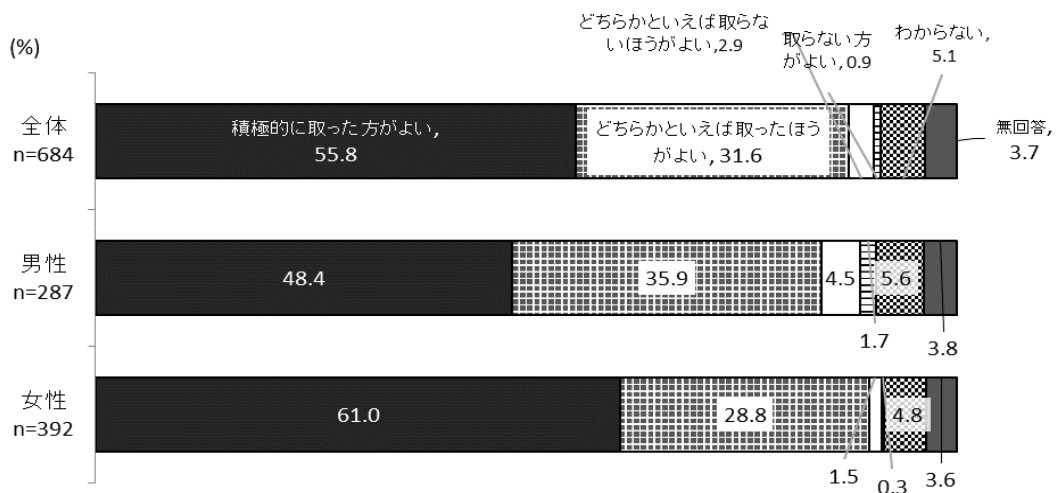
問7 すべての方におたずねします。男性が育児休業制度や介護休業制度を利用することについてどう考えますか。(〇は1つずつ)



(2) 介護休業

- ◆ 「積極的に取った方がよい」の割合が男性より女性の方が高く、「どちらかといえば取ったほうがよい」を合わせると男性は84.3%、女性は89.8%。
- ◆ 「どちらかといえば取らないほうがよい」、「取らない方がよい」合わせて3.8%。

全体・性別



「積極的に取った方がよい」と「どちらかといえば取ったほうがよい」を合わせると、全体では87.4%、男性84.3%、女性89.8%で、全体、男女共にほとんど差はありません。

「どちらかといえば取らないほうがよい」と「取らない方がよい」を合わせると、全体では3.8%、男性6.3%、女性1.8%となっています。

年齢・職業・働き状況別

(単位: %)

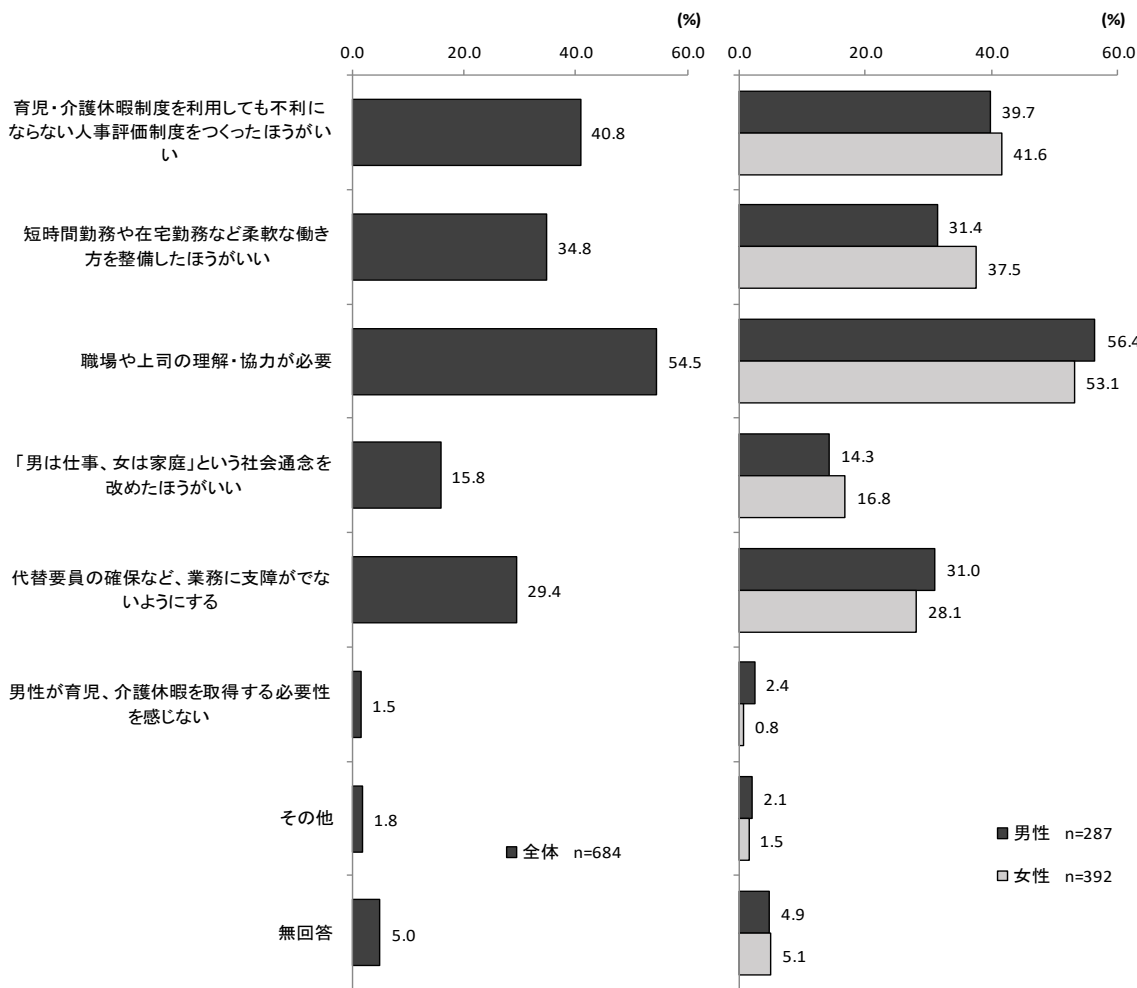
| | 回答者数 (人) | 積極的に取った方がよい | どちらかといえば取ったほうがよい | どちらかといえば取らないほうがよい | 取らない方がよい | わからない | 無回答 |
|------------|----------|-------------|------------------|-------------------|----------|-------|------|
| 全体 n=684 | 684 | 55.8 | 31.6 | 2.9 | 0.9 | 5.1 | 3.7 |
| 男性 n=287 | 287 | 48.4 | 35.9 | 4.5 | 1.7 | 5.6 | 3.8 |
| 女性 n=392 | 392 | 61.0 | 28.8 | 1.5 | 0.3 | 4.8 | 3.6 |
| 10代 | 4 | 55.8 | 31.6 | 2.9 | 0.9 | 5.1 | 3.7 |
| 20代 | 34 | 79.4 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 8.8 | 0.0 |
| 30代 | 85 | 72.9 | 21.2 | 1.2 | 1.2 | 3.5 | 0.0 |
| 40代 | 96 | 58.3 | 32.3 | 2.1 | 2.1 | 5.2 | 0.0 |
| 50代 | 122 | 54.1 | 33.6 | 4.9 | 0.0 | 4.9 | 2.5 |
| 60代 | 143 | 60.1 | 33.6 | 1.4 | 0.0 | 3.5 | 1.4 |
| 70代以上 | 196 | 41.3 | 37.8 | 4.1 | 1.5 | 6.1 | 9.2 |
| 自営業者 | 39 | 38.5 | 51.3 | 2.6 | 2.6 | 0.0 | 5.1 |
| 家族従業員 | 11 | 45.5 | 45.5 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 62.4 | 28.8 | 2.4 | 1.0 | 4.4 | 1.0 |
| 主婦・主婦 | 184 | 59.2 | 29.9 | 2.2 | 0.5 | 4.3 | 3.8 |
| 学生 | 10 | 60.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 20.0 |
| その他 | 91 | 46.2 | 34.1 | 4.4 | 1.1 | 7.7 | 6.6 |
| 共働き | 294 | 62.2 | 30.6 | 2.4 | 0.7 | 3.1 | 1.0 |
| 片働き | 228 | 46.7 | 33.3 | 0.0 | 6.7 | 0.0 | 13.3 |

(5) 男性の育児休業や介護休業の状況改善について

問8 すべての方におたずねします。男性の育児、介護休暇がとりにくい状況があるように言われていますが、そのことについてどう思いますか。(〇は2つまで)

◆職場や上司の理解と協力が第1位。続いて第2位は人事評価制度の整備。

全体・性別



全体では、「職場や上司の理解・協力」が54.5%、「育児・介護休暇制度を利用しても不利にならない人事評価制度をつくる」が40.8%が続いています。そのほか「短時間勤務や在宅勤務など柔軟な働き方を整備する」が34.8%、「代替要員の確保など、業務に支障がでないようにする」が29.4%となっています。

「短時間勤務や在宅勤務など柔軟な働き方を整備する」(男性31.4%、女性37.5%、男女差6.1ポイント)、「職場や上司の理解・協力」(男性56.4%、女性53.1%、男女差3.3ポイント)と男女差があります。

年齢・職業・働き状況別

(単位:%)

| | 回答者数 (人) | 育児・介護休暇制 度を利用して不 利にならない人事 評価制度をつくった ほうがいい | 短時間勤務や 在宅勤務など 柔軟な働き方を 整備したほうが いい | 職場や上司の 理解・協力が必 要 | 「男は仕事、女 は家庭」という 社会通念を改 めたほうがいい | 代替要員の確 保など、業務に 支障がでない ようにする | 男性が育児、 介護休暇を取 得する必要性を 感じない | その他 | 無回答 |
|------------|-------------|---|--|------------------------|---|--------------------------------------|-------------------------------------|------|------|
| 全体 | 684 | 40.8 | 34.8 | 54.5 | 15.8 | 29.4 | 1.5 | 1.8 | 5.0 |
| 男性 | 287 | 39.7 | 31.4 | 56.4 | 14.3 | 31.0 | 2.4 | 2.1 | 4.9 |
| 女性 | 392 | 41.6 | 37.5 | 53.1 | 16.8 | 28.1 | 0.8 | 1.5 | 5.1 |
| 10代 | 4 | 0.0 | 25.0 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 |
| 20代 | 34 | 38.2 | 41.2 | 52.9 | 20.6 | 17.6 | 0.0 | 2.9 | 8.8 |
| 30代 | 85 | 37.6 | 32.9 | 56.5 | 29.4 | 24.7 | 1.2 | 3.5 | 4.7 |
| 40代 | 96 | 40.6 | 44.8 | 45.8 | 12.5 | 33.3 | 0.0 | 2.1 | 5.2 |
| 50代 | 122 | 40.2 | 31.1 | 50.0 | 15.6 | 34.4 | 0.0 | 1.6 | 4.9 |
| 60代 | 143 | 39.2 | 35.7 | 62.2 | 10.5 | 30.1 | 2.8 | 2.1 | 2.1 |
| 70代以上 | 196 | 44.9 | 31.1 | 55.1 | 15.3 | 28.1 | 2.6 | 0.5 | 6.1 |
| 自営業者 | 39 | 25.6 | 30.8 | 53.8 | 15.4 | 20.5 | 5.1 | 0.0 | 12.8 |
| 家族従業員 | 11 | 27.3 | 45.5 | 45.5 | 18.2 | 27.3 | 0.0 | 0.0 | 9.1 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 38.0 | 35.9 | 53.6 | 16.3 | 32.9 | 1.0 | 3.1 | 4.4 |
| 主婦・主婦 | 184 | 48.9 | 34.2 | 57.1 | 15.2 | 27.7 | 1.1 | 0.0 | 3.3 |
| 学生 | 10 | 20.0 | 50.0 | 40.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 | 20.0 |
| その他の無職 | 91 | 41.8 | 35.2 | 54.9 | 14.3 | 33.0 | 0.0 | 1.1 | 4.4 |
| 共働き | 294 | 38.4 | 37.8 | 55.1 | 19.4 | 26.9 | 1.4 | 2.4 | 4.4 |
| 片働き | 228 | 46.9 | 28.9 | 55.3 | 13.2 | 35.5 | 1.3 | 0.4 | 3.5 |

職業別では、家族従業員と学生を除いて、「職場や上司の理解・協力」が第1位となっています。働き状況に関わらず、「職場や上司の理解・協力」が第1位、「育児・介護休暇制度を利用して不利にならない人事評価制度をつくったほうがいい」が第2位となっています。

その他の意見

- ・育児や介護の価値を高めたほうがいい。男性の育児や介護への参加を促進したほうがいい。
- ・本当に育児や介護に参加しているのかが疑問！なのではないか。
- ・意識改革。
- ・主人は技能職（自営）なので、収入の確保の為休業ができない。
- ・育児休暇は必要性を感じない。
- ・女性が責任をもって育児・介護の負担を配偶者に分担して負担させる必要がある。
- ・金銭面。
- ・男女の収入格差を無くす。
- ・育児休業期間中の給付金交付額を増やす必要がある。
- ・国が推進していても、ブラックボックスの認知でしかないので、企業が進んで取り入れるような仕組みを作る。
- ・休暇をとった後の職場方針策をしっかりと決める。休暇を取った際の給与（手取り額）の変動がないこと。

5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

(1) 仕事と生活の優先度

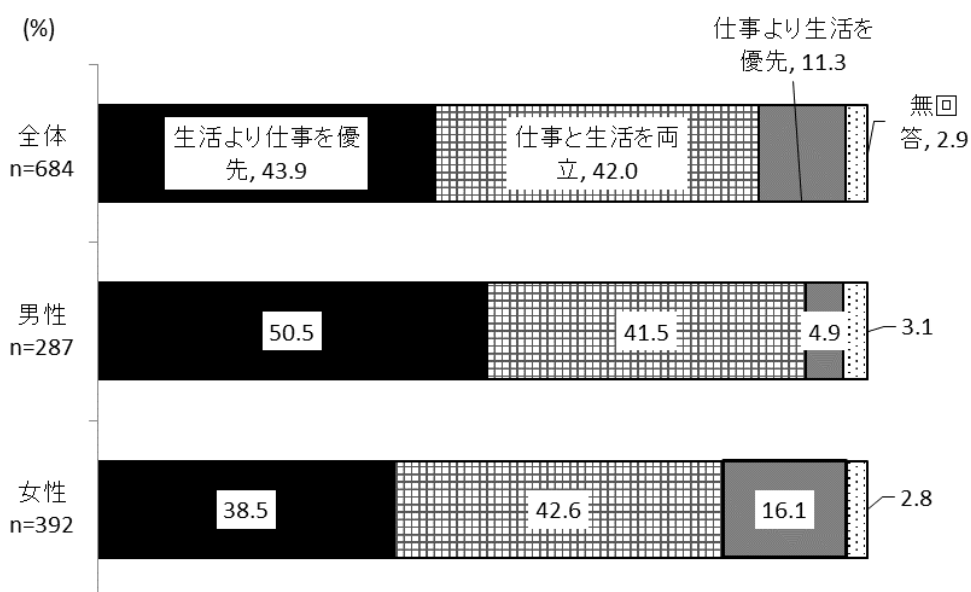
| | |
|----|--|
| 問9 | すべての方におたずねします。仕事と生活（家庭生活、趣味や学習などの個人の時間、地域活動など）の優先度について、「現実」と「希望」それぞれについて最も近いお考えを選んでください。（〇は1つずつ） |
|----|--|



- ◆現実では男性は「仕事を優先」が50.5%、女性は「仕事と生活を両立」が42.6%で第1位。
- ◆希望では「仕事と生活を両立」が男性77%、女性75.5%と最も多い。

現実

全体・性別



現実の優先度について、全体では「仕事を優先」が43.9%と最も多く、「仕事と生活を両立」(42%)、「仕事より生活を優先」(11.3%)の順となっています。男性は「仕事を優先」が50.5%、「仕事と生活を両立」(41.5%)、「仕事より生活を優先」(4.9%)と続きます。女性は「仕事と生活を両立」(42.6%)、「仕事を優先」(38.5%)、「仕事より生活を優先」(16.1%)の順で続いています。「仕事より生活を優先」は男性より女性の方が10ポイント以上多くなっています。

性年齢・婚姻・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 生活より仕 事を優先 | 仕事と生活 を両立 | 仕事より生 活を優先 | 無回答 |
|-----------|-------------|---------------|--------------|---------------|-------|
| 全体 n=684 | 684 | 43.9 | 42.0 | 11.3 | 2.9 |
| 男性 n=287 | 287 | 50.5 | 41.5 | 4.9 | 3.1 |
| 男性－10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 男性－20代 | 12 | 58.3 | 41.7 | 0.0 | 0.0 |
| 男性－30代 | 28 | 50.0 | 46.4 | 3.6 | 0.0 |
| 男性－40代 | 39 | 53.8 | 38.5 | 7.7 | 0.0 |
| 男性－50代 | 41 | 43.9 | 51.2 | 2.4 | 2.4 |
| 男性－60代 | 66 | 59.1 | 34.8 | 6.1 | 0.0 |
| 男性－70代以上 | 99 | 46.5 | 42.4 | 5.1 | 6.1 |
| 女性 n=392 | 392 | 38.5 | 42.6 | 16.1 | 2.8 |
| 女性－10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性－20代 | 22 | 40.9 | 36.4 | 22.7 | 0.0 |
| 女性－30代 | 55 | 34.5 | 47.3 | 18.2 | 0.0 |
| 女性－40代 | 57 | 36.8 | 38.6 | 24.6 | 0.0 |
| 女性－50代 | 81 | 35.8 | 42.0 | 21.0 | 1.2 |
| 女性－60代 | 77 | 42.9 | 46.8 | 9.1 | 1.3 |
| 女性－70代以上 | 97 | 40.2 | 41.2 | 9.3 | 9.3 |
| 男性－未婚 | 24 | 41.7 | 41.7 | 8.3 | 8.3 |
| 男性－離婚・死別 | 19 | 57.9 | 36.8 | 0.0 | 5.3 |
| 男性－結婚している | 244 | 50.8 | 41.8 | 4.9 | 2.5 |
| 女性－未婚 | 44 | 54.5 | 29.5 | 15.9 | 0.0 |
| 女性－離婚・死別 | 54 | 31.5 | 44.4 | 14.8 | 9.3 |
| 女性－結婚している | 292 | 37.7 | 44.5 | 16.1 | 1.7 |
| 男性－共働き | 105 | 46.7 | 47.6 | 4.8 | 1.0 |
| 男性－片働き | 131 | 53.4 | 37.4 | 5.3 | 3.8 |
| 女性－共働き | 189 | 35.4 | 45.5 | 18.5 | 0.5 |
| 女性－片働き | 96 | 41.7 | 41.7 | 12.5 | 4.2 |

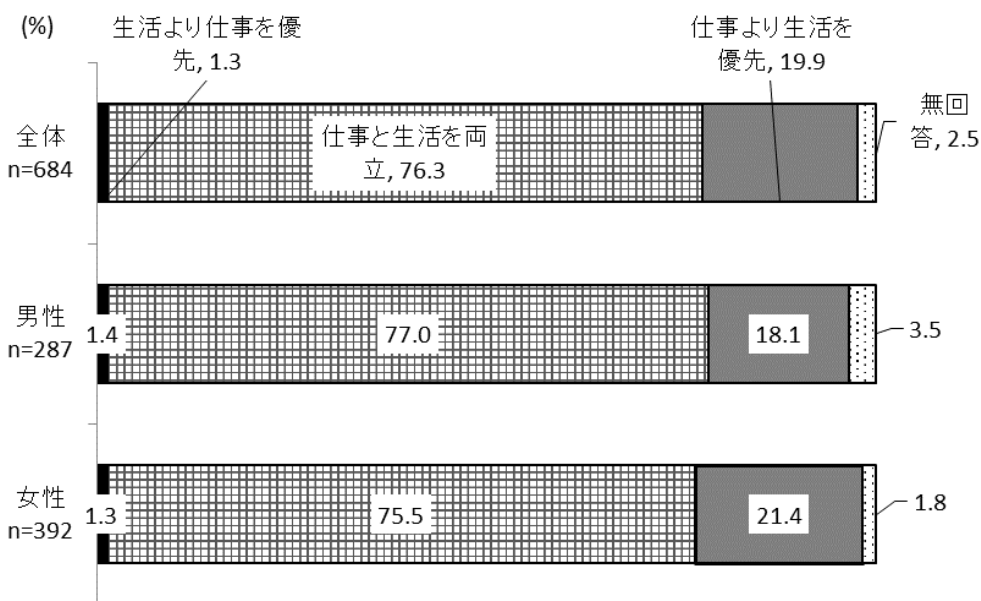
男性は50代を除く年代で「仕事を優先」となっています。一方で女性は、20代は「仕事を優先」が最も高くそれ以外の年代では、「仕事と生活を両立」が最も高いものの、「仕事を優先」との差はわずかです。

婚姻状況別に関して、男性の未婚は「仕事を優先」と「仕事と生活を両立」が同率で、それ以外は「仕事を優先」が第1位です。女性の未婚は「仕事を優先」、それ以外は「仕事と生活を両立」が第1位です。

また働き状況別では、共働きは「仕事と生活を両立」が第1位です。

希望

全体・性別



全体では、「仕事と生活を両立」（76.3%）が圧倒的多数となっています。男性は「仕事と生活を両立」が77%で第1位、第2位が「仕事より生活を優先」（18.1%）となっており、女性は「仕事と生活を両立」が75.5%で第1位、第2位が「仕事より生活を優先」21.4（%）となっています。「仕事を優先」は男性で1.4%、女性で1.3%とごくわずかです。

性年齢別

(単位: %)

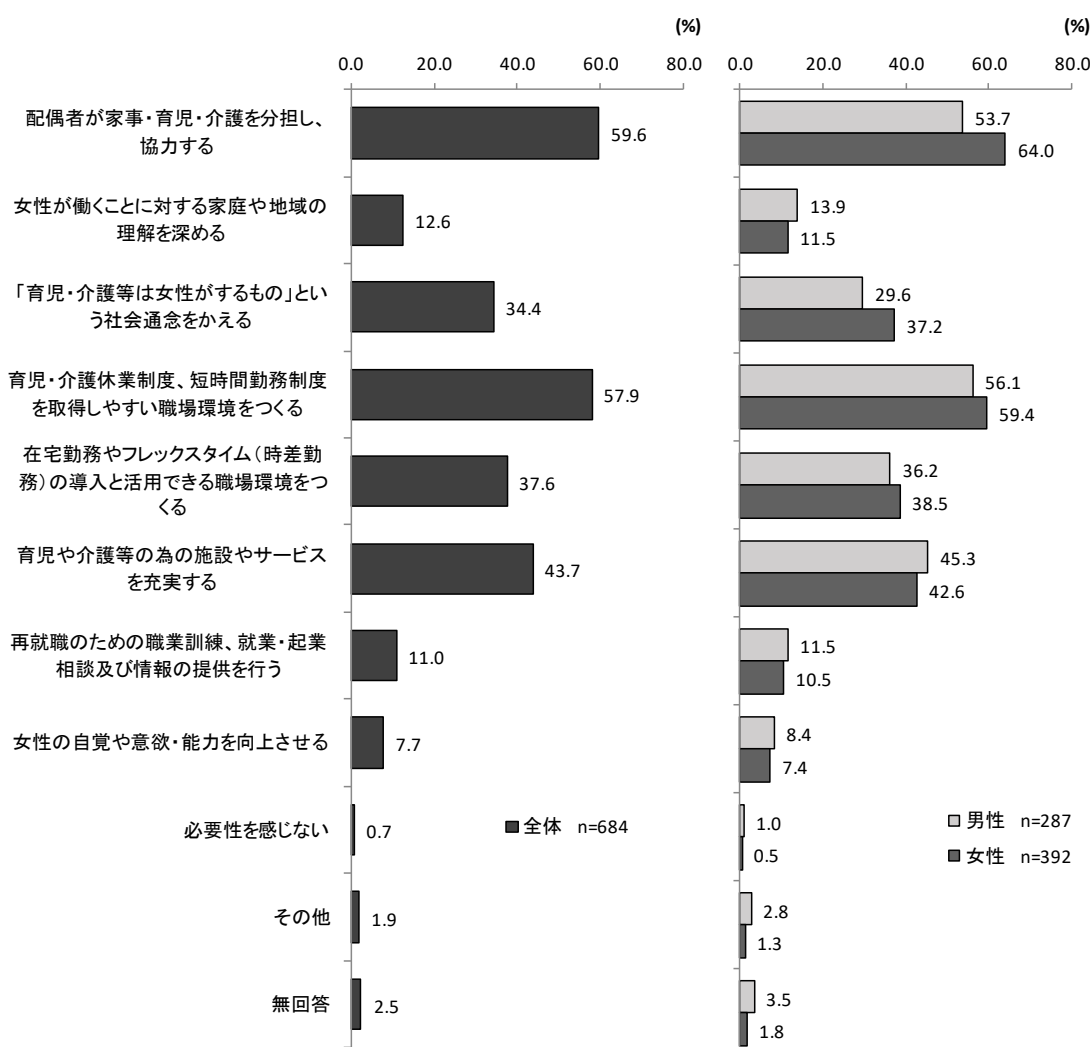
| | 回答者数 (人) | 生活より仕事を優先 | 仕事と生活を両立 | 仕事より生活を優先 | 無回答 |
|----------|----------|-----------|----------|-----------|------|
| 全体 n=684 | 684 | 1.3 | 76.3 | 19.9 | 2.5 |
| 男性 n=287 | 287 | 1.4 | 77.0 | 18.1 | 3.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 2.6 | 69.2 | 28.2 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 75.6 | 22.0 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 3.0 | 80.3 | 16.7 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 1.0 | 80.8 | 10.1 | 8.1 |
| 女性 n=392 | 392 | 1.3 | 75.5 | 21.4 | 1.8 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | 63.6 | 31.8 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 0.0 | 65.5 | 34.5 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 0.0 | 68.4 | 31.6 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 0.0 | 77.8 | 22.2 | 0.0 |
| 女性-60代 | 77 | 2.6 | 85.7 | 11.7 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 2.1 | 79.4 | 11.3 | 7.2 |

(2) 男女の仕事と家庭の両立支援

問10 すべての方におたずねします。男女が共に、仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- ◆「配偶者の家事・育児・介護を分担し、協力する」が59.6%と最も多い。女性は65%近くの方が「配偶者の家事・育児・介護を分担し、協力する」を選択。
- ◆男性の第1位は「育児・介護休業制度、短時間勤務制度を取得しやすい職場環境をつくる」（56.1%）、第2位は「配偶者が家事・育児・介護を分担し、協力する」（53.7%）。女性の第1位は「配偶者が家事・育児・介護を分担し、協力する」（64%）、第2位は「育児・介護休業制度、短時間勤務制度を取得しやすい職場環境をつくる」（59.4%）。

全体・性別



全体では、「配偶者が家事・育児・介護を分担し、協力する」が59.6%と最も多く、「育児・介護休業制度、短時間勤務制度を取得しやすい職場環境をつくる」が57.9%、「育児や介護等の為の施設やサービスを充実する」が43.7%で続いています。

II 調査結果 5 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

性別でみると、「『育児・介護等は女性がするもの』という社会通念をかえる」、「配偶者が家事・育児・介護を分担し、協力する」は女性で多くなっており、女性が制度の整備とともに周囲の理解及び男性の家事や育児への参加などを望んでいることがうかがえます。

性別・働き状況別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 配偶者が家事・育児・介護を分担し、協力する | 女性が働くことに対する家庭や地域の理解を深める | 「育児・介護等は女性がするもの」という社会通念をかえる | 育児・介護休業制度、短時間勤務制度を取得しやすい職場環境をつくる | 在宅勤務やフレックスタイム(時差勤務)の導入と活用できる職場環境をつくる | 育児や介護等のための施設やサービスを充実する |
|---------|-------------|-------------------------------|-------------------------|-----------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|------------------------|
| 全体 | 684 | 59.6 | 12.6 | 34.4 | 57.9 | 37.6 | 43.7 |
| 男性 | 287 | 53.7 | 13.9 | 29.6 | 56.1 | 36.2 | 45.3 |
| 女性 | 392 | 64.0 | 11.5 | 37.2 | 59.4 | 38.5 | 42.6 |
| 男性一共同働き | 105 | 56.2 | 16.2 | 26.7 | 53.3 | 43.8 | 42.9 |
| 男性一片働き | 131 | 51.9 | 11.5 | 33.6 | 56.5 | 29.8 | 51.1 |
| 女性一共同働き | 189 | 65.1 | 9.5 | 41.3 | 61.4 | 43.9 | 38.1 |
| 女性一片働き | 96 | 64.6 | 15.6 | 36.5 | 58.3 | 33.3 | 47.9 |
| | 回答者数 (人) | 再就職のための職業訓練、就業・起業相談及び情報の提供を行う | 女性の自覚や意欲・能力を向上させる | 必要性を感じない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 684 | 11.0 | 7.7 | 0.7 | 1.9 | 2.5 | |
| 男性 | 287 | 11.5 | 8.4 | 1.0 | 2.8 | 3.5 | |
| 女性 | 392 | 10.5 | 7.4 | 0.5 | 1.3 | 1.8 | |
| 男性一共同働き | 105 | 8.6 | 8.6 | 1.0 | 4.8 | 1.9 | |
| 男性一片働き | 131 | 11.5 | 6.9 | 1.5 | 1.5 | 4.6 | |
| 女性一共同働き | 189 | 9.5 | 5.3 | 0.0 | 2.1 | 0.5 | |
| 女性一片働き | 96 | 10.4 | 9.4 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | |

働き状況別でみると、男女共に「配偶者が家事・育児・介護を分担し、協力する」が片働きより共同働きで若干多くなっています。

男女共に共同働きは「在宅勤務やフレックスタイム(時差勤務)の導入と活用できる職場環境をつくる」が片働きより10ポイント以上高く、片働きは「育児や介護等のための施設やサービスを充実する」が共同働きより8ポイント以上高くなっています。

その他の意見

- 配偶者などの意見を尊重し、コミュニケーションを密にとる。
- 一人で一つの仕事を担当せず、どの仕事もチームで担当し、いつでも一人くらい抜けることのできる体制とする。
- ベビーシッターや家事代行などを積極的に使える支援が必要。
- 会社側の理解や協力が必要。
- もっと景気が良くなって収入が増えれば、家庭にもっと入れる。
- 採用情報(ハローワーク等における、採用者の男女比)の公開。
- 男性の業務削減による収入減への対策、女性に対しての業務量に対しての正当な評価(収入増)。
- 「育児・介護等は女性がするもの」女性自身がそう思っているのが一番問題が根深い。憲法で定められた労働の義務を甘く見すぎ。
- 育児も大切な仕事。“共に外で働く”が最良という訳ではない。
- この国では子育てに金銭を生み出していないという理由で下に視られている。子育ては将来この国を支えていく人を育てている立派な職業。

6 女性の活躍推進について

(1) 女性の参画の現状

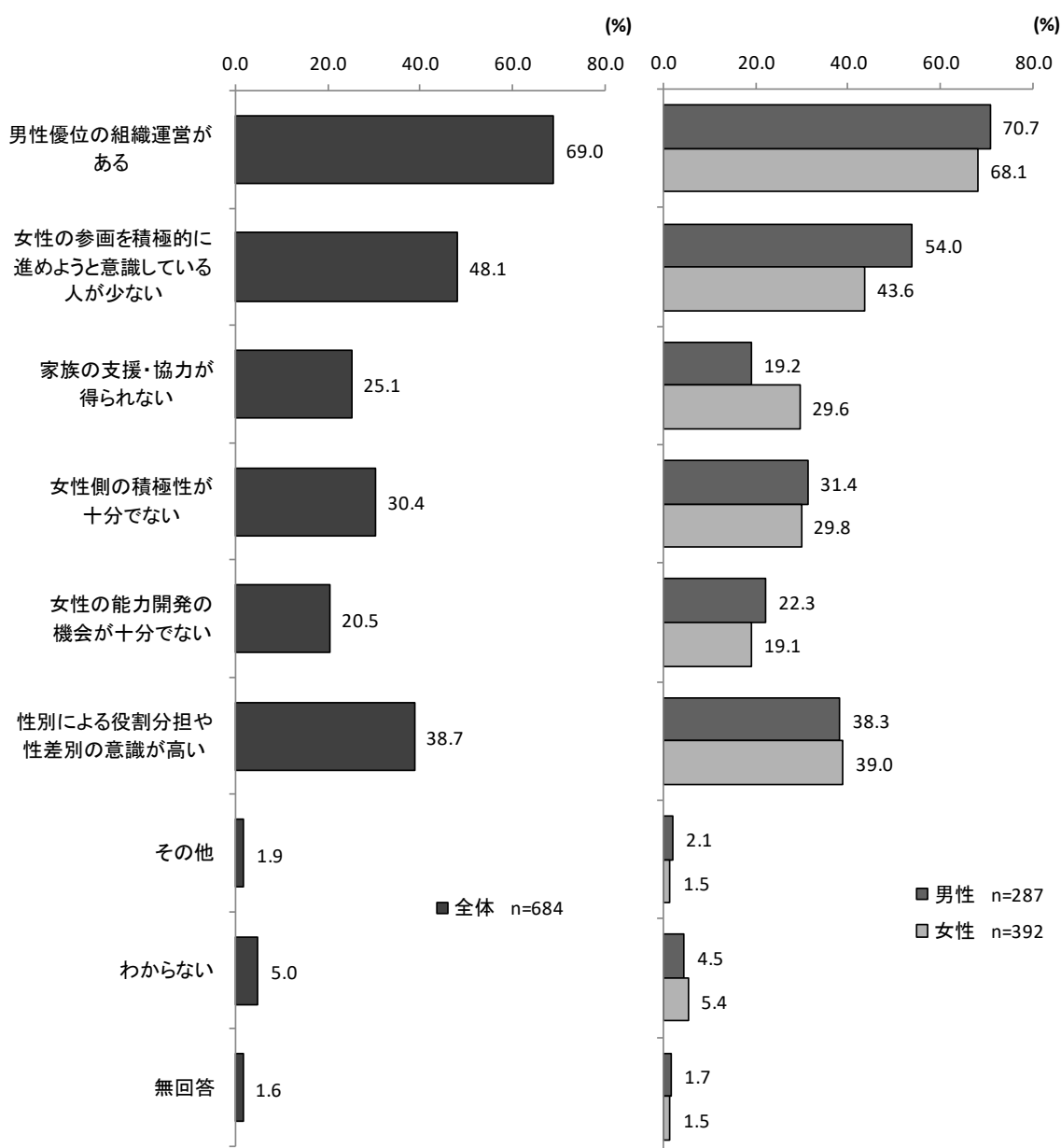
| | |
|-----|--|
| 問11 | すべての方におたずねします。政治や企業、地域活動において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない現状がありますが、その理由は何だと思えますか。(〇はいくつでも) |
|-----|--|



◆男女共に「男性優位の組織運営がある」が70%前後。次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が40~50%台となる。

◆会社員等（被雇用者）で「男性優位の組織運営がある」が70%を超え、次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が47.8%となる。

全体・性別



II 調査結果 6 女性の活躍推進について

全体では「男性優位の組織運営がある」が69%で第1位となり、第2位に「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が48.1%、「性別による役割分担や性差別の意識が高い」と「女性側の積極性が十分でない」が30%で続いています。

性別・職業別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 男性優位の 組織運営が ある | 女性の参画 を積極的に 進めようと意 識している 人が少ない | 家族の支 援・協力が 得られない | 女性側の積 極性が 十分でない | 女性の能力 開発の 機会が十分 でない |
|------------|-------------|---------------------------------|--|------------------------|-----------------------|------------------------------|
| 全体 | 684 | 69.0 | 48.1 | 25.1 | 30.4 | 20.5 |
| 男性 | 287 | 70.7 | 54.0 | 19.2 | 31.4 | 22.3 |
| 女性 | 392 | 68.1 | 43.6 | 29.6 | 29.8 | 19.1 |
| 自営業者 | 39 | 66.7 | 41.0 | 17.9 | 20.5 | 25.6 |
| 家族従業員 | 11 | 63.6 | 45.5 | 18.2 | 27.3 | 18.2 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 70.8 | 47.8 | 23.1 | 31.2 | 19.0 |
| 主婦・主婦 | 184 | 72.3 | 47.3 | 33.7 | 32.6 | 19.6 |
| 学生 | 10 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 20.0 | 20.0 |
| その他 | 91 | 67.0 | 50.5 | 23.1 | 31.9 | 18.7 |
| | 回答者数 (人) | 性別による 役割分担や 性差別の 意識が高い | その他 | わからない | 無回答 | |
| 全体 | 684 | 38.7 | 1.9 | 5.0 | 1.6 | |
| 男性 | 287 | 38.3 | 2.1 | 4.5 | 1.7 | |
| 女性 | 392 | 39.0 | 1.5 | 5.4 | 1.5 | |
| 自営業者 | 39 | 41.0 | 0.0 | 10.3 | 5.1 | |
| 家族従業員 | 11 | 18.2 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 43.1 | 2.7 | 4.1 | 0.7 | |
| 主婦・主婦 | 184 | 34.8 | 0.5 | 6.0 | 0.5 | |
| 学生 | 10 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| その他 | 91 | 37.4 | 2.2 | 5.5 | 3.3 | |

働き別では、会社員等(被雇用者)で「男性優位の組織運営がある」が70%を超え、次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が47.8%と続いています。

その他の意見

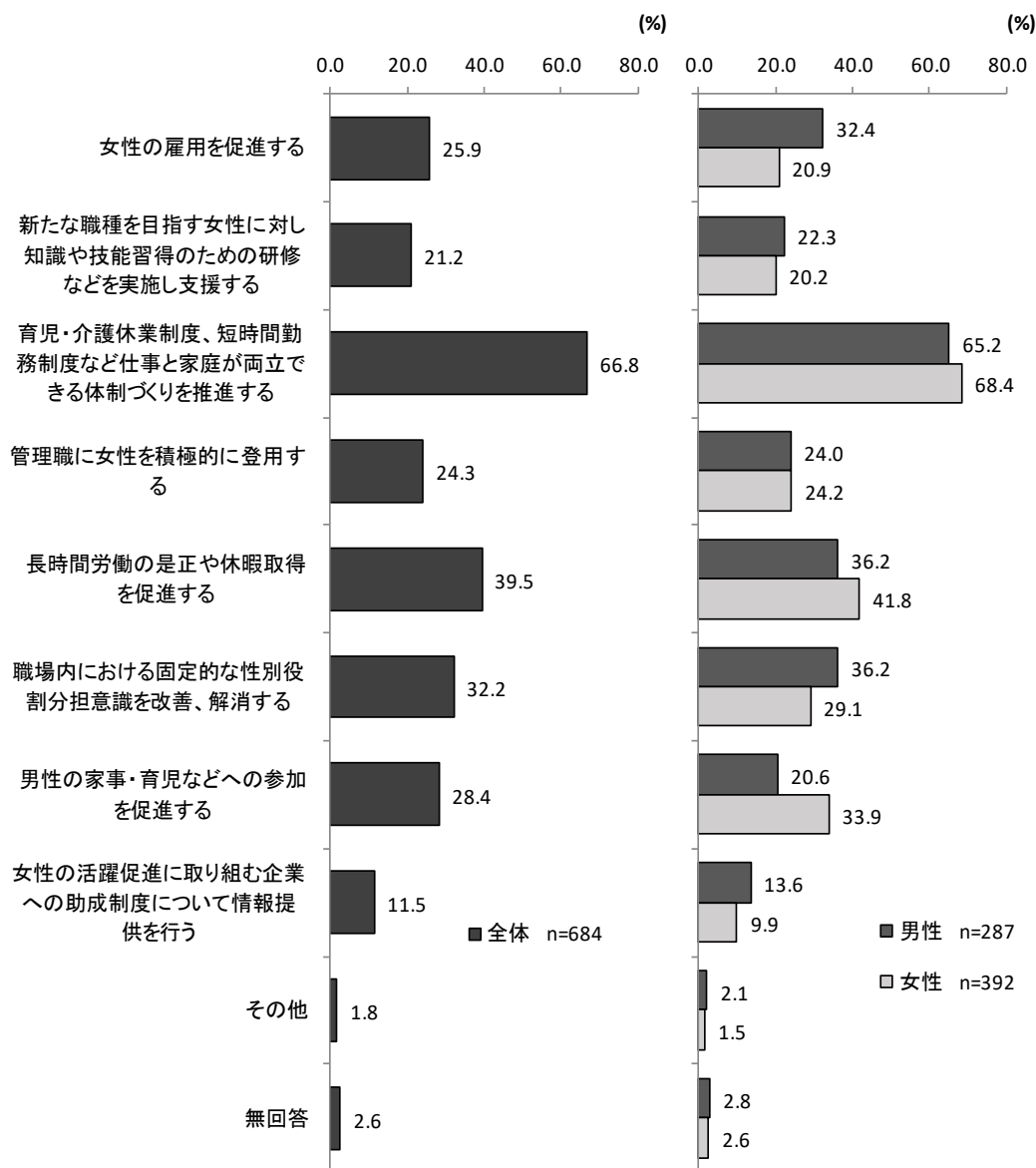
- 選挙制度では法的に、制度的にも男女平等が確立されているにも関わらず、現実には(結果的には)男性優位となっている。まずこの原因を明確にして対策を立てることからはじめてはどうか。
- 育児が大変なので、子供の誕生と共に離職がスタンダードだった文化だったため。
- 育児で活動に制限がかかるため。
- 女性は家庭の細かい事が見えるので、やっていたら政治や地域活動にまで気がまわらないのではないかと(男性が家庭のことをやらない家の場合)。
- どうしても子供自身が犠牲になってしまうためではないか。
- 現在。女性は子育てで忙しい。仕事をしていかないと生活できないからその様な場所へ耳や視点を向ける余裕がない。
- 現自治会の役員を見ると女性が積極的に多い(8割が女性である)。
- 収入の違い(男性の方が多い様に思う)。
- 能力ややる気のある女性が少ない。
- そもそも男性が作った日本の社会活動自体が家庭生活での両立を難しくしている。
- 特に少ないとは思わない。
- 天下り(男)による理不尽かつ非合理的な現状がひどすぎる。

(2) 職場における女性の活躍推進について

問12 すべての方におたずねします。職場において女性の活躍を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

◆全体、男女共に「育児・介護休業制度、短時間勤務制度など仕事と家庭が両立できる体制づくりを推進する」が66.8%と圧倒的多数で他を引き離す。

全体・性別



全体では、「育児・介護休業制度、短時間勤務制度など仕事と家庭が両立できる体制づくりを推進する」が66.8%と圧倒的多数で他を引き離しています。2位以下の差はほとんどありません。

男女差がある項目として、「男性の家事・育児などへの参加を促進する」は約10ポイント女性が多く、「長時間労働の是正や休暇取得を促進する」も女性が約6ポイント多くなっています。逆に、「女性の雇用を促進する」は男性が11ポイント多くなっています。

II 調査結果 6 女性の活躍推進について

性別・職業別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 女性の雇用 を促進する | 新たな職種 を目指す女 性に対し知 識や技能習 得のための 研修などを 実施し支援 する | 育児・介護 休業制度、 短時間勤務 制度など仕 事と家庭が 両立できる 体制づくりを 推進する | 管理職に女 性を積極的 に登用する | 長時間労働 の是正や休 暇取得を促 進する |
|------------|-------------|---|---|--|-------------------------|--------------------------------|
| 全体 | 684 | 25.9 | 21.2 | 66.8 | 24.3 | 39.5 |
| 男性 | 287 | 32.4 | 22.3 | 65.2 | 24.0 | 36.2 |
| 女性 | 392 | 20.9 | 20.2 | 68.4 | 24.2 | 41.8 |
| 自営業者 | 39 | 23.1 | 17.9 | 59.0 | 20.5 | 30.8 |
| 家族従業員 | 11 | 36.4 | 9.1 | 54.5 | 9.1 | 18.2 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 23.7 | 21.0 | 64.7 | 26.4 | 39.7 |
| 主婦・主婦 | 184 | 27.2 | 22.3 | 73.4 | 23.4 | 45.7 |
| 学生 | 10 | 10.0 | 10.0 | 80.0 | 30.0 | 50.0 |
| その他 | 91 | 28.6 | 22.0 | 68.1 | 20.9 | 38.5 |
| | 回答者数 (人) | 職場内にお ける固定的 な性別役割 分担意識を 改善、解消 する | 男性の家 事・育児な どへの参加 を促進する | 女性の活躍 促進に取り 組む企業へ の助成制度 について情 報提供を行 う | その他 | 無回答 |
| 全体 | 684 | 32.2 | 28.4 | 11.5 | 1.8 | 2.6 |
| 男性 | 287 | 36.2 | 20.6 | 13.6 | 2.1 | 2.8 |
| 女性 | 392 | 29.1 | 33.9 | 9.9 | 1.5 | 2.6 |
| 自営業者 | 39 | 30.8 | 10.3 | 15.4 | 2.6 | 7.7 |
| 家族従業員 | 11 | 27.3 | 27.3 | 9.1 | 0.0 | 9.1 |
| 会社員等(被雇用者) | 295 | 33.6 | 30.8 | 11.2 | 2.4 | 2.4 |
| 主婦・主婦 | 184 | 28.3 | 31.5 | 10.3 | 0.0 | 1.1 |
| 学生 | 10 | 40.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| その他 | 91 | 39.6 | 20.9 | 15.4 | 2.2 | 3.3 |

職業別では、どの職業でも「育児・介護休業制度、短時間勤務制度など仕事と家庭が両立できる体制づくりを推進する」が最も多くなっていますが、会社員等(被雇用者)で「長時間労働の是正や休暇取得を促進する」が39.7%と次いで多くなり、家族従業員では「女性の雇用を促進する」が36.4%と多くなっています。自営業者では、「長時間労働の是正や休暇取得を促進する」が30.8%と「職場内における固定的な性別役割分担意識を改善、解消する」と同率2位となっています。

その他の意見

- 女性の意識改革。
- 女性の収入UP。
- すでに職場で女性は活躍している。
- 女性の管理職手当の改善。
- 必要性を感じない。
- 本人の意思。
- 個々の能力を認める。
- 柔軟性。
- いざというとき、辛い役割を女性も男性に任せてしまう傾向がある。
- 長崎は“女だからお茶出し、電話”という古い意識が残っている。その考えはやめようと思う管理職の行動力。

(3) 地域における女性の活躍推進について

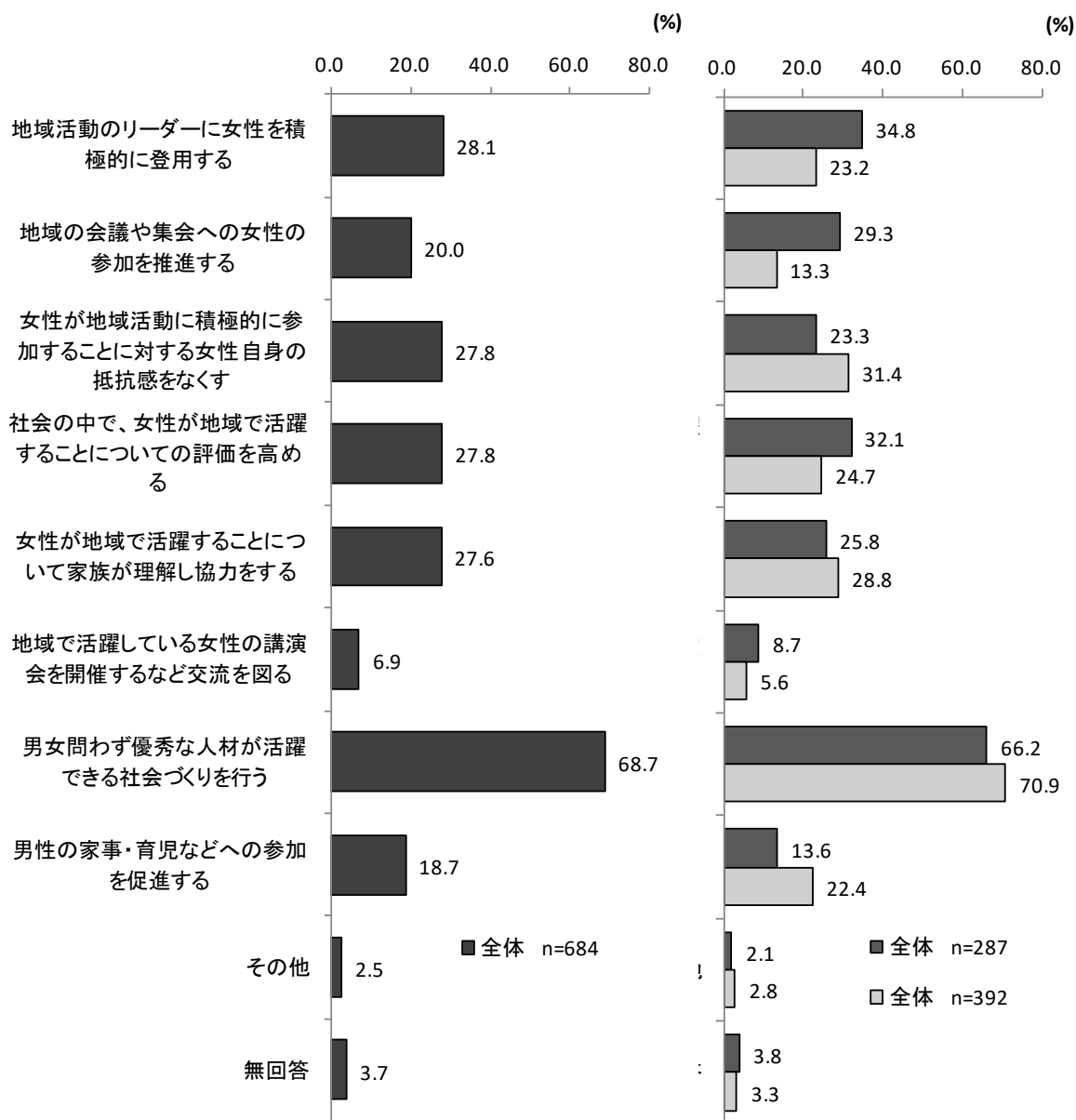
問13

すべての方におたずねします。地域において女性の活躍を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



◆全体、男女共に「男女問わず優秀な人材が活躍できる社会づくりを行う」が68.7%と圧倒的多数で他を引き離す。

全体・性別



II 調査結果 6 女性の活躍推進について

男女共に第1位は「男女問わず優秀な人材が活躍できる社会づくりを行う」で、続いて男性は「地域活動のリーダーに女性を積極的に登用する」、「社会の中で、女性が地域で活躍することについての評価を高める」と続きます。女性は「女性が地域活動に積極的に参加することに対する女性自身の抵抗感をなくす」、「女性が地域で活躍することについて家族が理解し協力をする」と第2位、第3位と続きます。

男女差が大きい項目として、「地域の会議や集会への女性の参加を推進する」が男性 29.3%に対して、女性 13.3%と16ポイント男性が多く、「地域活動のリーダーに女性を積極的に登用する」が男性 34.8%に対して、女性 23.2%と11.6ポイント男性が多くなっています。また、「男性の家事・育児などへの参加を促進する」が女性 22.4%に対して、男性 13.6%と8.9ポイント女性が高くなっています。

性別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 地域活動の リーダーに 女性を積極 的に登用す る | 地域の会議 や集会への 女性の参加 を推進する | 女性が地域 活動に積極 的に参加す ることに対 する女性自 身の抵抗感 をなくす | 社会の中 で、女性が 地域で活躍 することにつ いての評価 を高める | 女性が地域 で活躍する ことについて 家族が理解 し協力をする |
|----|-------------|---|--|--|---|---|
| 全体 | 684 | 28.1 | 20.0 | 27.8 | 27.8 | 27.6 |
| 男性 | 287 | 34.8 | 29.3 | 23.3 | 32.1 | 25.8 |
| 女性 | 392 | 23.2 | 13.3 | 31.4 | 24.7 | 28.8 |
| | 回答者数 (人) | 地域で活躍 している女 性の講演会 を開催する など交流を 図る | 男女問わず 優秀な人材 が活躍でき る社会づく りを行う | 男性の家 事・育児な どへの参加 を促進する | その他 | 無回答 |
| 全体 | 684 | 6.9 | 68.7 | 18.7 | 2.5 | 3.7 |
| 男性 | 287 | 8.7 | 66.2 | 13.6 | 2.1 | 3.8 |
| 女性 | 392 | 5.6 | 70.9 | 22.4 | 2.8 | 3.3 |

その他の意見

- 女性議員の増加。
- 地域活動は必要ない。負担になる。
- 地域において活躍するべきなのはむしろ男性の方だと思います。
- 女性同士の関係性もありなかなか難しいが、年齢に関係ない仕組み作りが大切と思う。
- 必要性を感じない。
- 本人の意思。
- そもそも世帯主の名前で活動していて、実務は配偶者が担っている。
- 年配の人の性別による仕事の采配や、男はもてなされるもの、女は給仕するもの、という昔からの考えを変えないとダメ。(これは年配の女性もそう)
- 子育てを家庭の問題として、活動したくても子供を預けるにもお金がかかる、地域で助けてくれない、子育てと家事で忙しすぎる。そこをどうにか行政が動いてくれないと活躍する時間なんてない。
- 柔軟性。
- 当自治会では女性が主に参加活躍しているので上には該当しない。
- 地域活動は女性の方が行っているのでは。

7 ハラスメントについて

問14

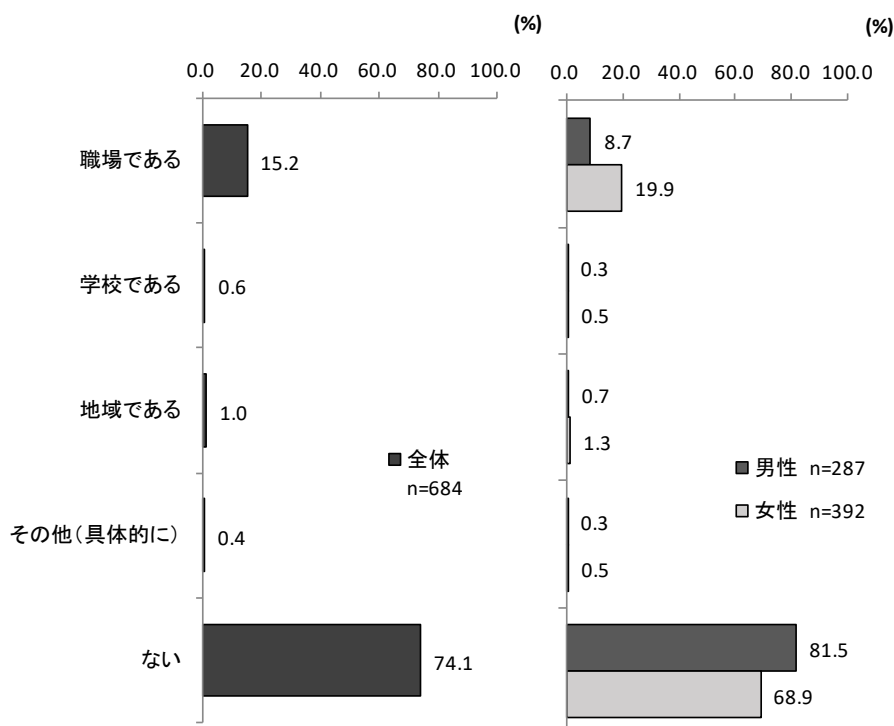
すべての方におたずねします。あなたの身近なところ（職場・学校・地域活動など）で次のようなハラスメント¹を経験したり、見聞きしたことがありますか。また、それはどこで起きましたか。（○はひとつずつ）



(1) セクシャル・ハラスメント

- ◆ 全体の17.2%はセクハラ経験がある。男性で10%、女性で22.2%。
- ◆ 女性の方が経験した人が多く、その中でも職場が多い。

全体・性別



性年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 職場である | 学校である | 地域である | その他(具体的に) | ない |
|----------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| 全体 | 684 | 15.2 | 0.6 | 1.0 | 0.4 | 74.1 |
| 男性 | 287 | 8.7 | 0.3 | 0.7 | 0.3 | 81.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 91.7 |
| 男性-30代 | 28 | 10.7 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 85.7 |
| 男性-40代 | 39 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 87.2 |
| 男性-50代 | 41 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 92.7 |
| 男性-60代 | 66 | 12.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 81.8 |
| 男性-70代以上 | 99 | 8.1 | 0.0 | 2.0 | 1.0 | 72.7 |
| 女性 | 392 | 19.9 | 0.5 | 1.3 | 0.5 | 68.9 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 女性-20代 | 22 | 9.1 | 4.5 | 0.0 | 4.5 | 77.3 |
| 女性-30代 | 55 | 34.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 63.6 |
| 女性-40代 | 57 | 28.1 | 1.8 | 1.8 | 0.0 | 63.2 |
| 女性-50代 | 81 | 23.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 75.3 |
| 女性-60代 | 77 | 18.2 | 0.0 | 1.3 | 1.3 | 74.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 7.2 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 63.9 |

セクシャルハラスメント:

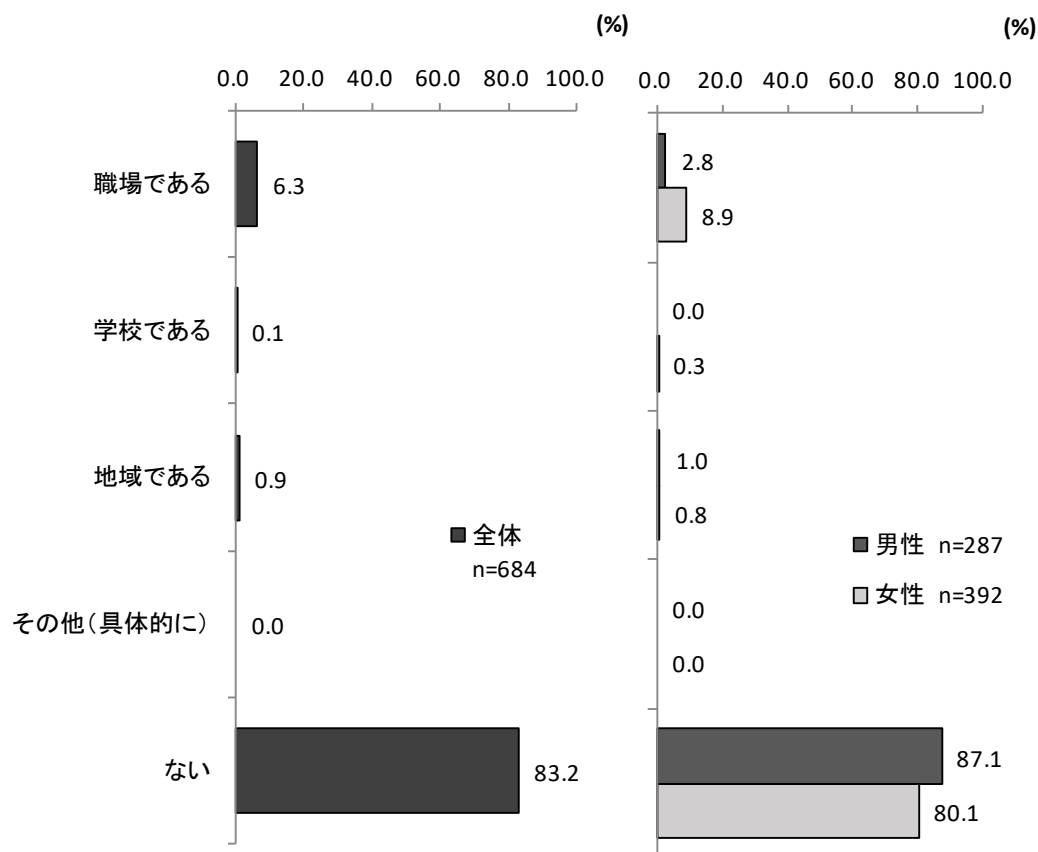
相手の意に反する性的な言葉や行為によって、不快や不安な状態に追い込むことや、それらの言動を拒否したことで、解雇、降格、減給などの不利益を受けること

II 調査結果 7 ハラスメントについて

(2) マタニティ・ハラスメント

◆女性の9.9%はマタハラ経験があり、職場がほとんど。

全体・性別



性年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 職場である | 学校である | 地域である | その他(具体的に) | ない |
|----------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| 全体 | 684 | 6.3 | 0.1 | 0.9 | 0.0 | 83.2 |
| 男性 | 287 | 2.8 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 87.1 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 91.7 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 男性-40代 | 39 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 92.3 |
| 男性-50代 | 41 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 92.7 |
| 男性-60代 | 66 | 3.0 | 0.0 | 1.5 | 0.0 | 89.4 |
| 男性-70代以上 | 99 | 1.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 77.8 |
| 女性 | 392 | 8.9 | 0.3 | 0.8 | 0.0 | 80.1 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 女性-30代 | 55 | 23.6 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 72.7 |
| 女性-40代 | 57 | 12.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 86.0 |
| 女性-50代 | 81 | 7.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 87.7 |
| 女性-60代 | 77 | 9.1 | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 83.1 |
| 女性-70代以上 | 97 | 2.1 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 67.0 |

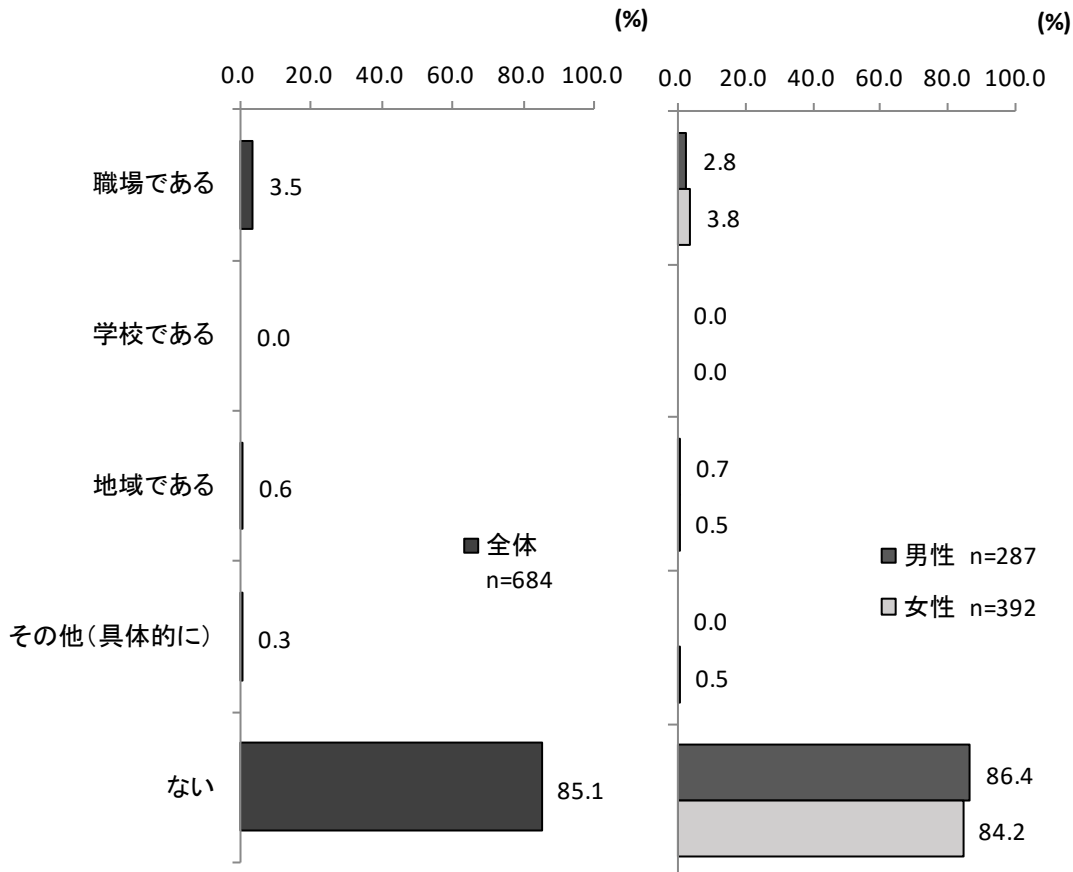
マタニティ・ハラスメント:

妊娠や出産・育児休業などを理由に精神的・身体的苦痛を与える言葉や行為を行うことや、雇用条件などの面で不当な扱いをすること。

(3) パタニティ・ハラスメント

◆男性の3.5%はパタハラ経験があり、職場がほとんど。

全体・性別



性年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 職場である | 学校である | 地域である | その他(具体的に) | ない |
|----------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| 全体 | 684 | 3.5 | 0.0 | 0.6 | 0.3 | 85.1 |
| 男性 | 287 | 2.8 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 86.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 96.4 |
| 男性-40代 | 39 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 92.3 |
| 男性-50代 | 41 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 92.7 |
| 男性-60代 | 66 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 87.9 |
| 男性-70代以上 | 99 | 1.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 76.8 |
| 女性 | 392 | 3.8 | 0.0 | 0.5 | 0.5 | 84.2 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 女性-30代 | 55 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 92.7 |
| 女性-40代 | 57 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 91.2 |
| 女性-50代 | 81 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 88.9 |
| 女性-60代 | 77 | 6.5 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 85.7 |
| 女性-70代以上 | 97 | 2.1 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 66.0 |

パタニティ・ハラスメント:

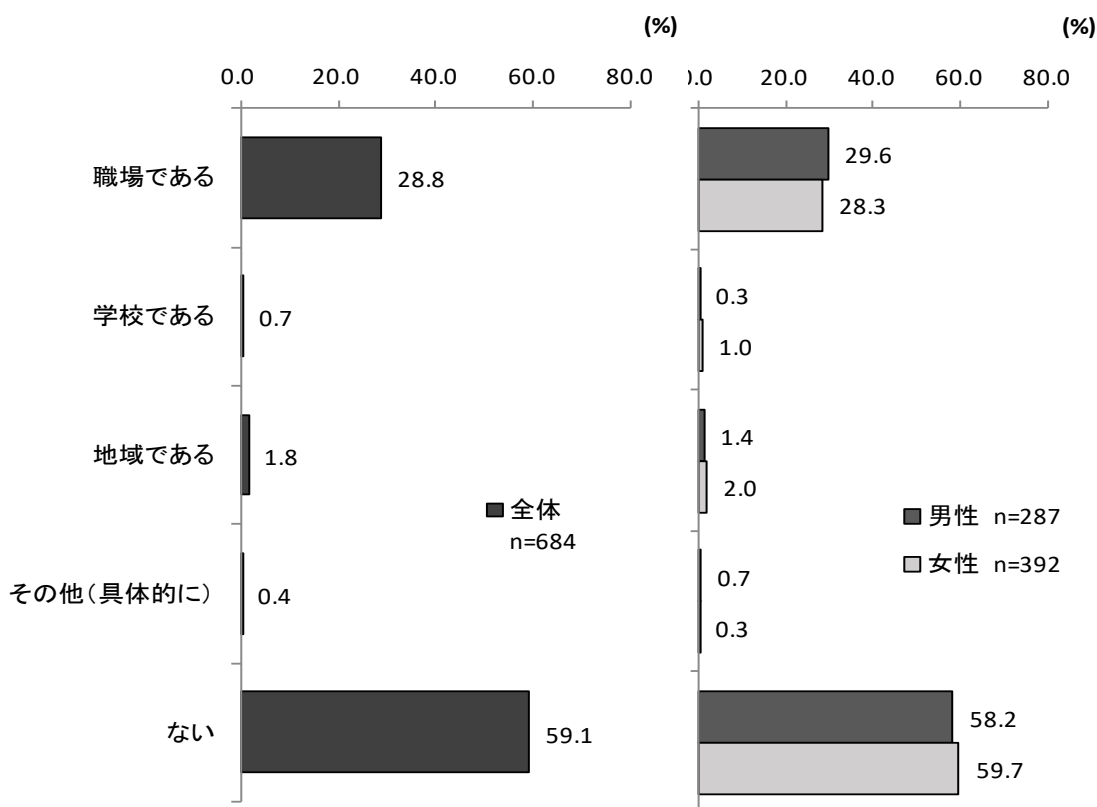
育児のために休暇や時短勤務の取得を希望する男性社員に対して、職場の上司や同僚がその制度を受けるのを妨害するような嫌がらせ行為のこと。

II 調査結果 7 ハラスメントについて

(4) パワー・ハラスメント

- ◆パワハラについては、全体で31.7%、男性32%、女性31.6%で経験有。
- ◆経験者に男女差はほとんどなく、職場がほとんど。

全体・性別



性年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 職場である | 学校である | 地域である | その他(具体的に) | ない |
|----------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| 全体 | 684 | 28.8 | 0.7 | 1.8 | 0.4 | 59.1 |
| 男性 | 287 | 29.6 | 0.3 | 1.4 | 0.7 | 58.2 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 58.3 |
| 男性-30代 | 28 | 39.3 | 3.6 | 3.6 | 0.0 | 53.6 |
| 男性-40代 | 39 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 64.1 |
| 男性-50代 | 41 | 26.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 70.7 |
| 男性-60代 | 66 | 40.9 | 0.0 | 0.0 | 1.5 | 51.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 19.2 | 0.0 | 3.0 | 1.0 | 56.6 |
| 女性 | 392 | 28.3 | 1.0 | 2.0 | 0.3 | 59.7 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 女性-20代 | 22 | 13.6 | 4.5 | 0.0 | 0.0 | 77.3 |
| 女性-30代 | 55 | 38.2 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 60.0 |
| 女性-40代 | 57 | 43.9 | 0.0 | 3.5 | 0.0 | 49.1 |
| 女性-50代 | 81 | 34.6 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 61.7 |
| 女性-60代 | 77 | 32.5 | 1.3 | 3.9 | 0.0 | 58.4 |
| 女性-70代以上 | 97 | 8.2 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 60.8 |

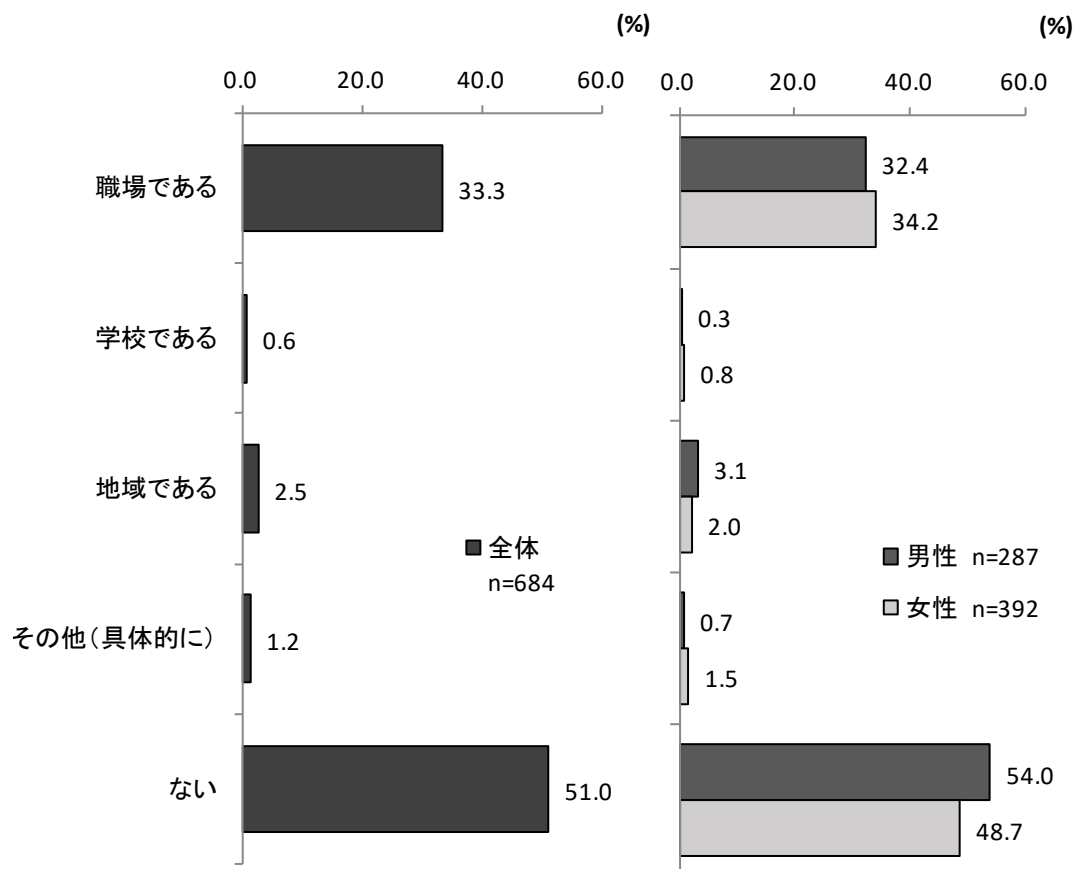
パワー・ハラスメント:

職務上の地位や人間関係などの権限や優位性を背景として、精神的・身体的苦痛を与えるまたは職場環境を悪化させること。

(5)上記の行為を身近な人が受けているのを見聞きしたこと

- ◆全体の37.6%で見聞きしたことがある。
- ◆女性の方が見聞きした人が多く、職場がほとんど。

全体・性別



性年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 職場である | 学校である | 地域である | その他(具体的に) | ない |
|----------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| 全体 | 684 | 33.3 | 0.6 | 2.5 | 1.2 | 51.0 |
| 男性 | 287 | 32.4 | 0.3 | 3.1 | 0.7 | 54.0 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 男性-20代 | 12 | 25.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 58.3 |
| 男性-30代 | 28 | 32.1 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 60.7 |
| 男性-40代 | 39 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 61.5 |
| 男性-50代 | 41 | 36.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 63.4 |
| 男性-60代 | 66 | 48.5 | 1.5 | 4.5 | 0.0 | 39.4 |
| 男性-70代以上 | 99 | 21.2 | 0.0 | 4.0 | 1.0 | 53.5 |
| 女性 | 392 | 34.2 | 0.8 | 2.0 | 1.5 | 48.7 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 女性-20代 | 22 | 18.2 | 4.5 | 0.0 | 4.5 | 68.2 |
| 女性-30代 | 55 | 34.5 | 0.0 | 1.8 | 3.6 | 50.9 |
| 女性-40代 | 57 | 57.9 | 1.8 | 3.5 | 1.8 | 29.8 |
| 女性-50代 | 81 | 43.2 | 1.2 | 0.0 | 1.2 | 49.4 |
| 女性-60代 | 77 | 37.7 | 0.0 | 2.6 | 1.3 | 50.6 |
| 女性-70代以上 | 97 | 13.4 | 0.0 | 3.1 | 0.0 | 51.5 |

8 配偶者や交際相手からの暴力(ドメスティックバイオレンス「DV」)について

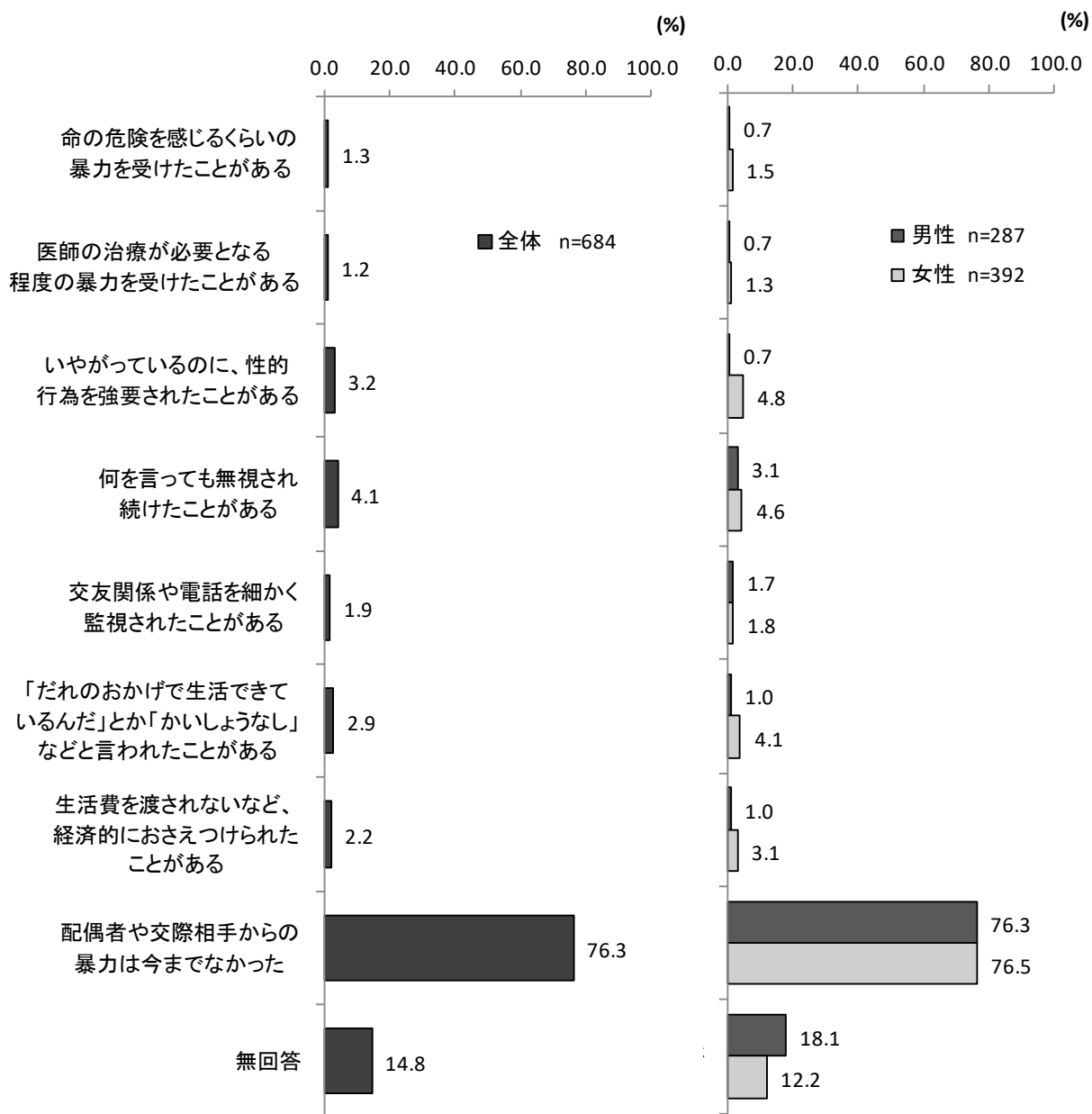
(1) 暴力被害の経験

問15

すべての方におたずねします。あなたは、これまでにあなたの夫または妻や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。(〇はいくつでも)

◆パートナー等からの身体的・精神的・性的・経済的な暴力を受けた経験は女性の方が多い。

全体・性別



Ⅱ 調査結果 8 配偶者や交際相手からの暴力（ドメスティックバイオレンス「DV」）について

「今までなかった」と「無回答」を合わせると全体では91.1%、男性で94.4%と女性（88.8%）の方が少なくなっています。

暴力を受けた経験として、男性は「何を言っても無視され続けたことがある」（3.1%）、「交友関係や電話を細かく監視されたことがある」（1.7%）など精神的暴力が多くなっています。

一方、女性は「いやがっているのに、性的行為を強要されたことがある」（4.8%）とする性的暴力、「何を言っても無視され続けたことがある」（4.6%）や「だれのおかげで生活できているんだ」とか「かいしょうなし」などと言われたことがある」（4.1%）とする精神的暴力のほか「生活費を渡されないなど、経済的におさえつけられたことがある」（3.1%）とする経済的暴力など、様々な暴力経験者が多くみられます。

なお、身体的暴力である「命の危険を感じるくらいの暴力を受けたことがある」は男性で0.7%、女性で1.5%、「医師の治療が必要となる程度の暴力を受けたことがある」は男性で0.7%、女性で1.3%、といずれも女性が多くなっています。

性年齢・婚姻別

（単位：%）

| | 回答者数 (人) | 命の危険を 感じるくらい の暴力を受 けたことがあ る | 医師の治療 が必要とな る程度の暴 力を受けた ことがある | いやがって いるのに、 性的行為を 強要された ことがある | 何を言っても 無視され続 けたことがあ る | 交友関係や 電話を細か く監視され たことがあ る | 「だれのお かげで生活 できている んだ」とか 「かいしょう なし」など と言われた ことがあ る | 生活費を渡 されないな ど、経済的 におさえつ けられたこ とがある | 配偶者や交 際相手から の暴力は今 までなかつ た | 無回答 |
|-----------|-------------|---|---|---|--------------------------------|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|------|
| 全体 | 684 | 1.3 | 1.2 | 3.2 | 4.1 | 1.9 | 2.9 | 2.2 | 76.3 | 14.8 |
| 男性 | 287 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 3.1 | 1.7 | 1.0 | 1.0 | 76.3 | 18.1 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 83.3 | 8.3 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 89.3 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 0.0 | 0.0 | 2.6 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 79.5 | 10.3 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 87.8 | 12.2 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 1.5 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 1.5 | 1.5 | 74.2 | 21.2 |
| 男性-70代以上 | 99 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 3.0 | 1.0 | 1.0 | 67.7 | 26.3 |
| 女性 | 392 | 1.5 | 1.3 | 4.8 | 4.6 | 1.8 | 4.1 | 3.1 | 76.5 | 12.2 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.5 | 0.0 | 4.5 | 4.5 | 86.4 | 9.1 |
| 女性-30代 | 55 | 1.8 | 1.8 | 5.5 | 3.6 | 3.6 | 1.8 | 3.6 | 85.5 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 0.0 | 1.8 | 7.0 | 10.5 | 1.8 | 7.0 | 3.5 | 77.2 | 8.8 |
| 女性-50代 | 81 | 2.5 | 1.2 | 4.9 | 3.7 | 1.2 | 3.7 | 6.2 | 80.2 | 6.2 |
| 女性-60代 | 77 | 1.3 | 1.3 | 9.1 | 1.3 | 1.3 | 2.6 | 0.0 | 75.3 | 13.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 2.1 | 1.0 | 1.0 | 5.2 | 2.1 | 5.2 | 2.1 | 66.0 | 24.7 |
| 男性-未婚 | 24 | 4.2 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 87.5 | 8.3 |
| 男性-離婚・死別 | 19 | 0.0 | 5.3 | 0.0 | 10.5 | 0.0 | 5.3 | 0.0 | 52.6 | 36.8 |
| 男性-結婚している | 244 | 0.4 | 0.4 | 0.8 | 2.5 | 2.0 | 0.8 | 1.2 | 77.0 | 17.6 |
| 女性-未婚 | 44 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | 6.8 | 2.3 | 4.5 | 6.8 | 86.4 | 9.1 |
| 女性-離婚・死別 | 54 | 5.6 | 1.9 | 11.1 | 5.6 | 5.6 | 5.6 | 9.3 | 59.3 | 16.7 |
| 女性-結婚している | 292 | 0.7 | 1.0 | 4.1 | 4.1 | 1.0 | 3.8 | 1.4 | 78.1 | 12.0 |

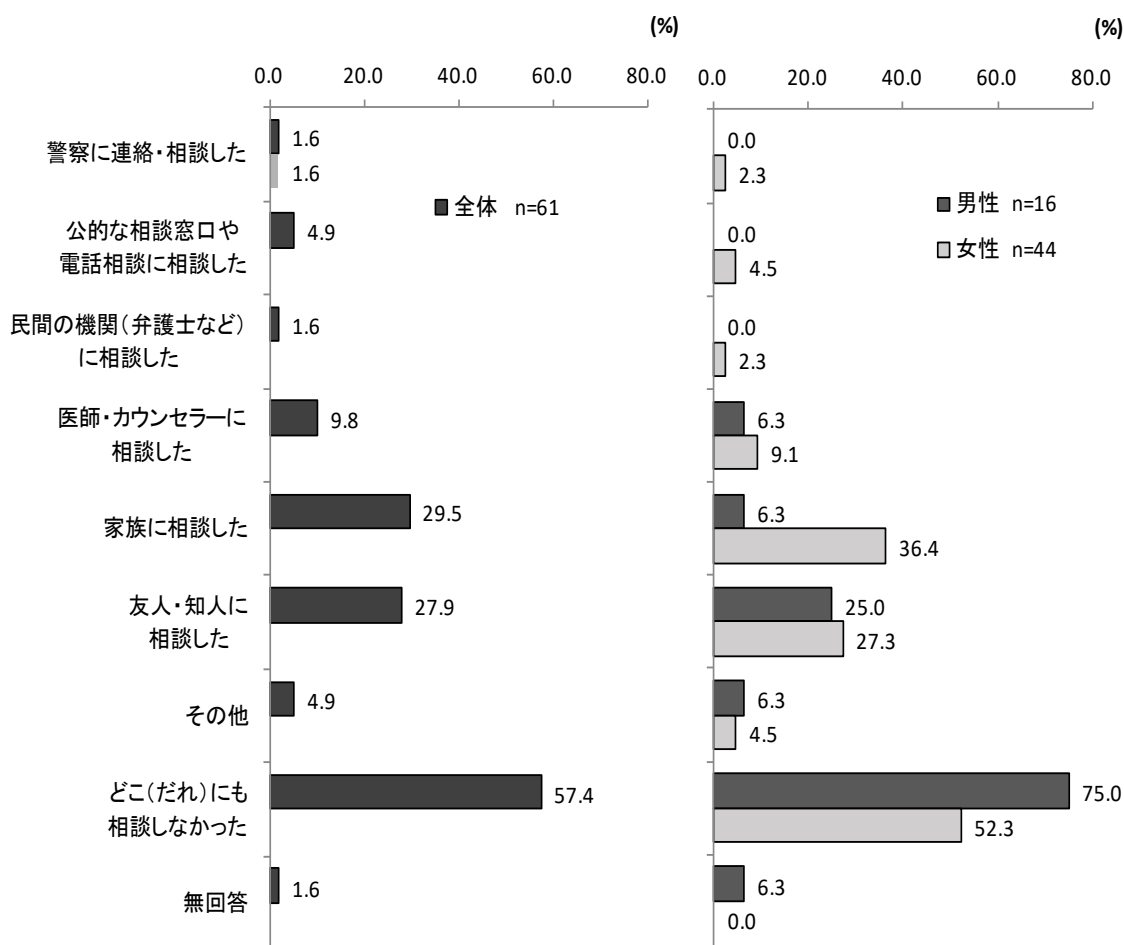
<問 15 で 1～7 を選んだ方におたずねします。>

(2) 被害の相談

問16 あなたは、そのことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（〇はいくつでも）。

◆相談先は家族、友人・知人が多い。どこ（だれ）にも相談しなかったのは、男性では75%、女性では52.3%。

全体・性別



DV 被害の経験を誰かに打ち明けたり、相談したりしたかについては、「どこ(だれ)にも相談しなかった」57.4%、「家族に相談した」29.5%、「友人・知人に相談した」27.9%、となっています。

男女別に見ると、女性では「家族に相談した」、「友人・知人に相談した」の2項目について男性より比率が高いのに対し、男性では「どこ(だれ)にも相談しなかった」の比率が75%と女性の52.3%より20ポイント以上高く、特に男性のDV被害については他人に相談しにくいという状況がうかがえます。

Ⅱ 調査結果 8 配偶者や交際相手からの暴力（ドメスティックバイオレンス「DV」）について

性年齢・婚姻別

(単位:%)

| | 回答者数 (人) | 警察に連絡・相談した | 公的な相談窓口や電話相談に相談した | 民間の機関(弁護士などに相談した) | 医師・カウンセラーに相談した | 家族に相談した | 友人・知人に相談した | その他 | どこ(だれ)にも相談しなかった | 無回答 |
|-----------|-------------|------------|-------------------|-------------------|----------------|---------|------------|-------|-----------------|------|
| 全体 | 61 | 1.6 | 4.9 | 1.6 | 9.8 | 29.5 | 27.9 | 4.9 | 57.4 | 1.6 |
| 男性 | 16 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.3 | 6.3 | 25.0 | 6.3 | 75.0 | 6.3 |
| 男性-10代 | 0 | 0.0 | 1.0 | 2.0 | 3.0 | 4.0 | 5.0 | 6.0 | 7.0 | 8.0 |
| 男性-20代 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 200.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |
| 男性-40代 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 |
| 男性-50代 | 0 | 0.0 | 1.0 | 2.0 | 3.0 | 4.0 | 5.0 | 6.0 | 7.0 | 8.0 |
| 男性-60代 | 3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 66.7 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 66.7 | 16.7 |
| 女性 | 44 | 2.3 | 4.5 | 2.3 | 9.1 | 36.4 | 27.3 | 4.5 | 52.3 | 0.0 |
| 女性-10代 | 0 | 0.0 | 1.0 | 2.0 | 3.0 | 4.0 | 5.0 | 6.0 | 7.0 | 8.0 |
| 女性-20代 | 1 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-30代 | 6 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 50.0 | 16.7 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-40代 | 8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 62.5 | 0.0 |
| 女性-50代 | 11 | 0.0 | 9.1 | 9.1 | 18.2 | 36.4 | 27.3 | 0.0 | 36.4 | 0.0 |
| 女性-60代 | 9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 22.2 | 33.3 | 0.0 | 55.6 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 55.6 | 11.1 | 11.1 | 66.7 | 0.0 |
| 男性-未婚 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 |
| 男性-離婚・死別 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 男性-結婚している | 13 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.7 | 0.0 | 15.4 | 0.0 | 76.9 | 7.7 |
| 女性-未婚 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 150.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-離婚・死別 | 13 | 0.0 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 15.4 | 30.8 | 7.7 | 61.5 | 0.0 |
| 女性-結婚している | 29 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.3 | 37.9 | 27.6 | 0.0 | 48.3 | 0.0 |

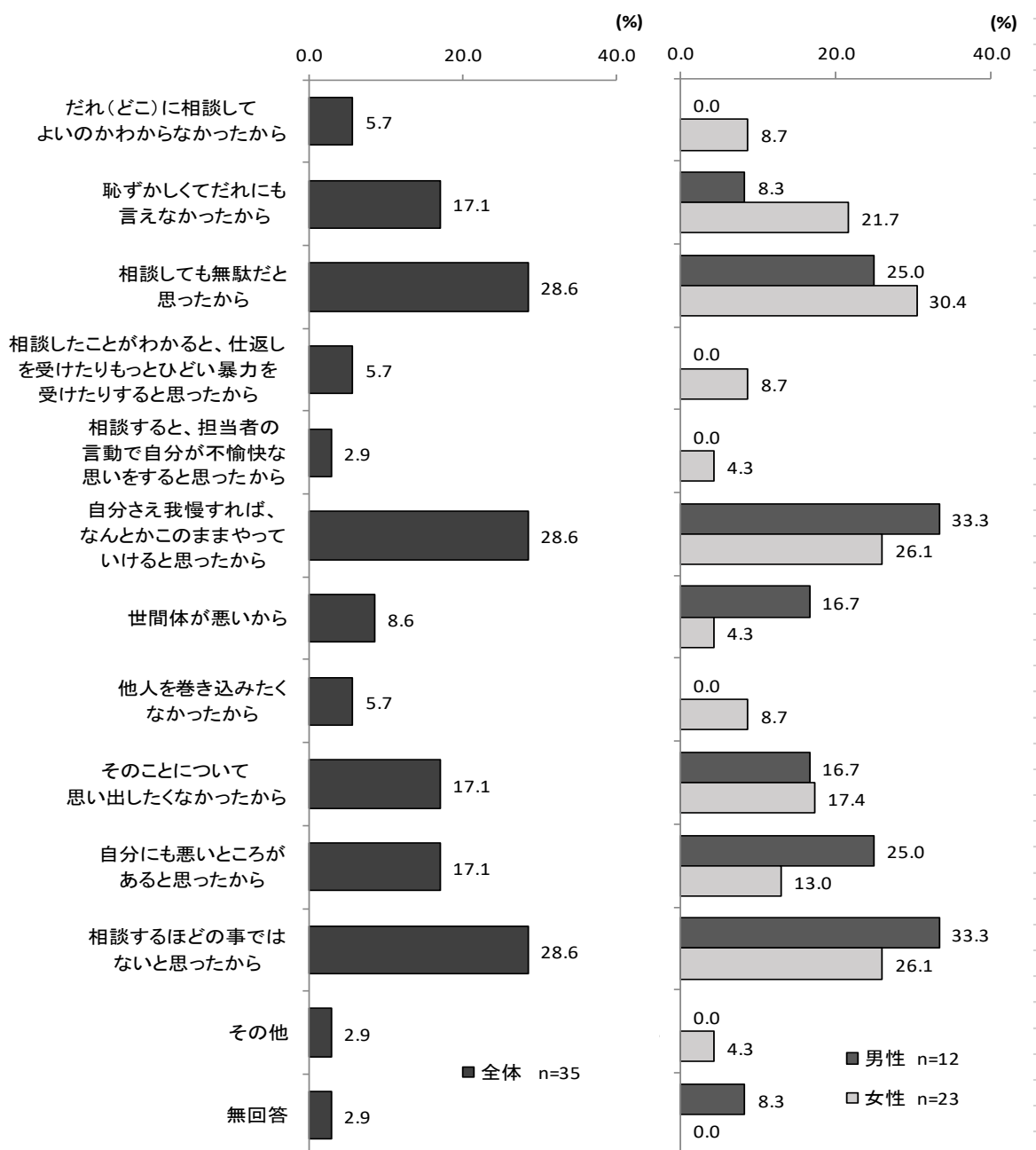
<問 16で 「8 どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した方におたずねします。>

(3) 相談しなかった（できなかった）・相談しようと思わなかった理由

問17 相談しなかったのはなぜですか。（〇は3つまで）。

- ◆女性の理由は「相談しても無駄」「相談するほどの事ではない」と「自分さえ我慢すればなんとかやっていける」、男性の理由は「自分さえ我慢すればなんとかやっていける」「相談するほどの事ではない」が多い。
- ◆「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が男性より女性が13.4%上回り、「世間体が悪いから」「自分にも悪いところがあると思ったから」が男性で約12%女性を上回る。

全体・性別



前問で「どこ（だれ）にも相談しなかった」とした35人（男性12人、女性23人）について、相談しなかった理由は、「相談しても無駄だと思ったから」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」と「相談するほどの事ではないと思ったから」が28.6%と同率で最も多くなっています。

男性は「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」と「相談するほどの事ではないと思ったから」が33.3%と同率で最も多く、「相談しても無駄だと思ったから」が25%で続きます。

女性は「相談しても無駄だと思ったから」が30.4%と最も多く、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」と「相談するほどの事ではないと思ったから」が同率で26.1%で続きます。

男女差がある項目に着目すると、「世間体が悪い」「自分にも悪いところがあると思ったから」は男性で、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」は女性で多い項目です。

9 性の多様性について

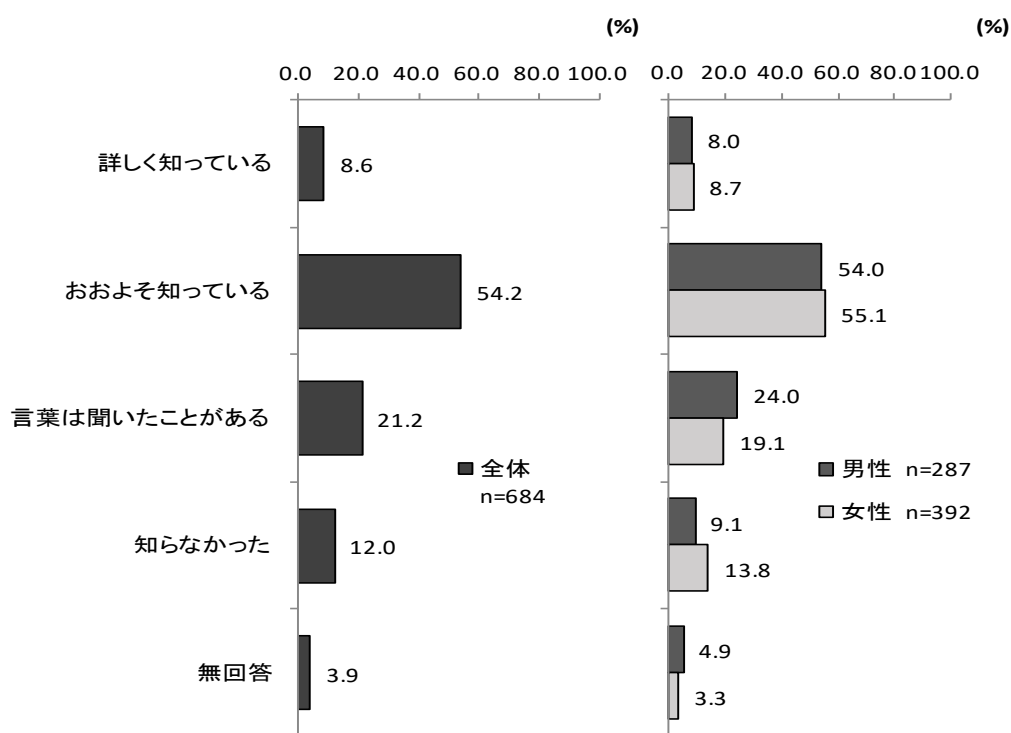
(1) 性的マイノリティ（性的少数者）という言葉について

問18 すべての方におたずねします。あなたは、性的マイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていますか。（○は1つまで）



◆全体、男女共にほとんど差はなく、「詳しく知っている」「おおよそ知っている」合わせて60%以上。
 ◆「知らなかった」は全体で12%。

全体・性別



(単位: %)

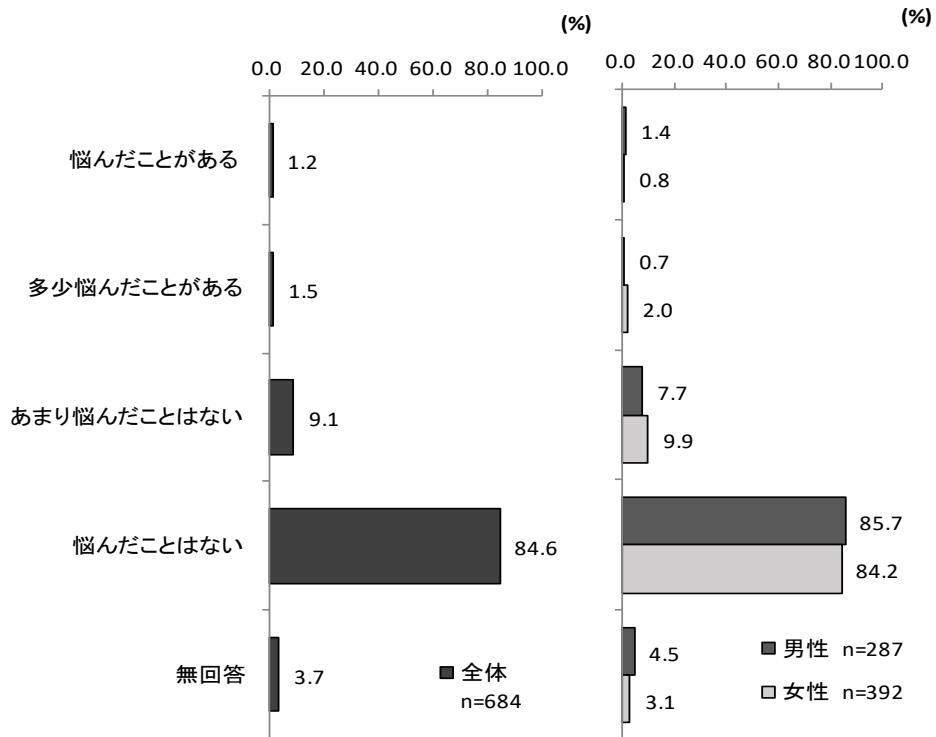
| | 回答者数(人) | 詳しく知っている | おおよそ知っている | 言葉は聞いたことがある | 知らなかった | 無回答 |
|----------|---------|----------|-----------|-------------|--------|------|
| 全体 | 684 | 8.6 | 54.2 | 21.2 | 12.0 | 3.9 |
| 男性 | 287 | 8.0 | 54.0 | 24.0 | 9.1 | 4.9 |
| 男性-10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 50.0 | 16.7 | 25.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 7.1 | 60.7 | 17.9 | 10.7 | 3.6 |
| 男性-40代 | 39 | 7.7 | 56.4 | 25.6 | 10.3 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 17.1 | 43.9 | 34.1 | 2.4 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 6.1 | 66.7 | 19.7 | 6.1 | 1.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 5.1 | 47.5 | 25.3 | 11.1 | 11.1 |
| 女性 | 392 | 8.7 | 55.1 | 19.1 | 13.8 | 3.3 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 9.1 | 45.5 | 22.7 | 22.7 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 12.7 | 58.2 | 18.2 | 10.9 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 12.3 | 77.2 | 7.0 | 3.5 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 8.6 | 60.5 | 23.5 | 7.4 | 0.0 |
| 女性-60代 | 77 | 5.2 | 61.0 | 15.6 | 16.9 | 1.3 |
| 女性-70代以上 | 97 | 7.2 | 33.0 | 25.8 | 21.6 | 12.4 |

(2) 自分の性別や恋愛対象となる性別について

問19 すべての方におたずねします。あなたは、今まで自分の性別や恋愛対象となる性別などについて悩んだことはありますか。(〇は1つまで)

- ◆全体、男女共にほとんど差はなく、「悩んだことはない」が約85%。
- ◆「悩んだことがある」「多少悩んだことがある」合わせて2.6%。

全体・性別



性年齢別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 悩んだことがある | 多少悩んだことがある | あまり悩んだことはない | 悩んだことはない | 無回答 |
|----------|----------|----------|------------|-------------|----------|------|
| 全体 | 684 | 1.2 | 1.5 | 9.1 | 84.6 | 3.7 |
| 男性 | 287 | 1.4 | 0.7 | 7.7 | 85.7 | 4.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |
| 男性-20代 | 12 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 83.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 0.0 | 0.0 | 17.9 | 82.1 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 7.7 | 5.1 | 2.6 | 84.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 0.0 | 0.0 | 4.9 | 92.7 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 95.5 | 1.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 1.0 | 0.0 | 10.1 | 77.8 | 11.1 |
| 女性 | 392 | 0.8 | 2.0 | 9.9 | 84.2 | 3.1 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 0.0 | 4.5 | 9.1 | 86.4 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 1.8 | 3.6 | 12.7 | 81.8 | 0.0 |
| 女性-40代 | 57 | 0.0 | 1.8 | 12.3 | 84.2 | 1.8 |
| 女性-50代 | 81 | 2.5 | 0.0 | 8.6 | 88.9 | 0.0 |
| 女性-60代 | 77 | 0.0 | 0.0 | 6.5 | 92.2 | 1.3 |
| 女性-70代以上 | 97 | 0.0 | 4.1 | 10.3 | 75.3 | 10.3 |

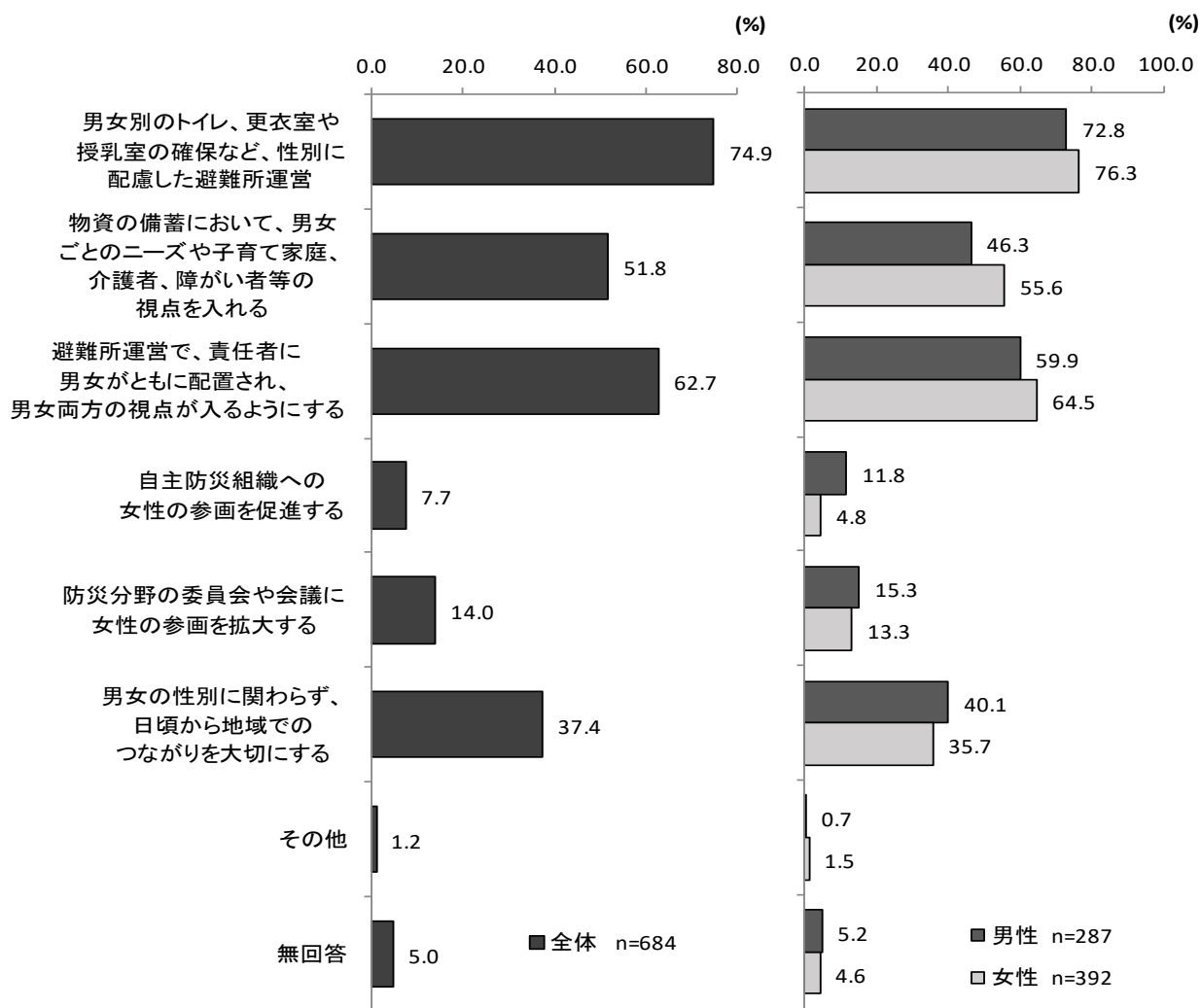
10 防災分野における男女共同参画について

問20

すべての方におたずねします。防災・災害復興活動において、性別に配慮した対応としてどのような対応が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- ◆ 「男女別のトイレ、更衣室や授乳室の確保など、性別に配慮した避難所運営」が男女とも第1位。
- ◆ 「自主防災組織への女性の参画を促進」と「防災分野の委員会や会議に女性の参画を拡大」については、全体でも少ないが、特に女性で少なくなっている。

全体・性別



全体、男女共に、「男女別のトイレ、更衣室や授乳室の確保など、性別に配慮した避難所運営」が70%台と最多で、第2位から第4位は「避難所運営で、責任者に男女がともに配置され、男女両方の視点が入るようにする」（全体62.7%）、「物資の備蓄において、男女ごとのニーズや子育て家庭、介護者、障がい者等の視点を入れる」（全体51.8%）、「男女の性別に関わらず、日頃から地域でのつながりを大切にする」（全体37.4%）と並んでいます。

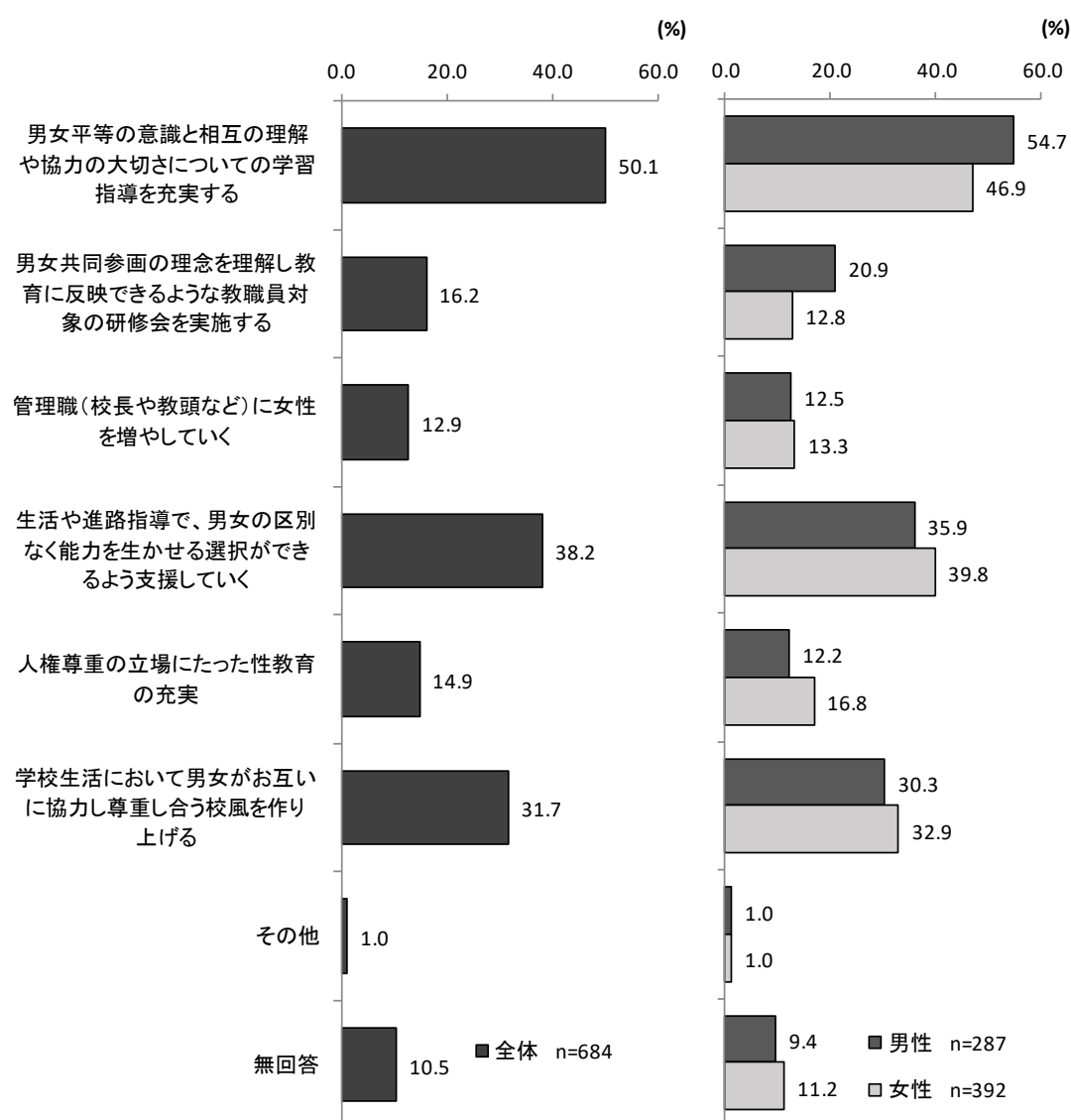
一方で、「自主防災組織への女性の参画を促進する」（男性11.8%、女性4.8%）と「防災分野の委員会や会議に女性の参画を拡大する」（男性15.3%、女性13.3%）については、特に女性で少なくなっています。

11 子どもへの男女共同参画教育について

問21 すべての方におたずねします。男女共同参画社会を実現するためには、学校教育の場で何が必要と思いますか。(〇は2つまで)

◆全体、男女共に「男女平等の意識と相互の理解や協力の大切さについての学習指導を充実する」が第1位。「生活や進路指導で、男女の区別なく能力を生かせる選択ができるよう支援していく」と「学校生活において男女がお互いに協力し尊重し合う校風を作り上げる」の上位3項目が他を引き離す。

全体・性別



Ⅱ 調査結果 11 子どもへの男女共同参画教育について

全体・性別

(単位: %)

| | 回答者数 (人) | 男女平等の意識と相互の理解や協力の大切さについての学習指導を充実する | 男女共同参画の理念を理解し教育に反映できるような教職員対象の研修会を実施する | 管理職(校長や教頭など)に女性を増やしていく | 生活や進路指導で、男女の区別なく能力を生かせる選択ができるよう支援していく | 人権尊重の立場にたった性教育の充実 | 学校生活において男女がお互いに協力し尊重し合う校風を作り上げる | その他 | 無回答 |
|-------|-------------|------------------------------------|--|------------------------|---------------------------------------|-------------------|---------------------------------|-----|------|
| 全体 | 684 | 50.1 | 16.2 | 12.9 | 38.2 | 14.9 | 31.7 | 1.0 | 10.5 |
| 男性 | 287 | 54.7 | 20.9 | 12.5 | 35.9 | 12.2 | 30.3 | 1.0 | 9.4 |
| 女性 | 392 | 46.9 | 12.8 | 13.3 | 39.8 | 16.8 | 32.9 | 1.0 | 11.2 |
| 10代 | 4 | 75.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20代 | 34 | 50.0 | 8.8 | 14.7 | 38.2 | 14.7 | 26.5 | 0.0 | 17.6 |
| 30代 | 85 | 38.8 | 12.9 | 17.6 | 44.7 | 18.8 | 23.5 | 3.5 | 9.4 |
| 40代 | 96 | 49.0 | 13.5 | 15.6 | 41.7 | 19.8 | 28.1 | 2.1 | 5.2 |
| 50代 | 122 | 44.3 | 11.5 | 12.3 | 43.4 | 18.0 | 32.0 | 0.8 | 10.7 |
| 60代 | 143 | 54.5 | 21.7 | 13.3 | 37.1 | 11.9 | 33.6 | 0.0 | 7.7 |
| 70代以上 | 196 | 56.1 | 18.9 | 9.2 | 31.6 | 10.7 | 36.2 | 0.5 | 14.3 |

全体では、「男女平等の意識と相互の理解や協力の大切さについての学習指導を充実する」が50.1%と最多で、次に「生活や進路指導で、男女の区別なく能力を生かせる選択ができるよう支援していく」(38.2%)と「学校生活において男女がお互いに協力し尊重し合う校風を作り上げる」(31.7%)が並んでいます。

その他の意見

- 今、少し昔、どのような問題が起きたのかを教える。
- 社会的進出という観点から、教育の場で「男女」と性差を設ける時点でナンセンスを感じる。
- 小中学校における男女混合名簿の使用。
- 必要性を感じない。
- 教職員において、いまだ男女差を尊重していることが多々見受けられる。教職員の研修から徹底をした方がいいのでは？！

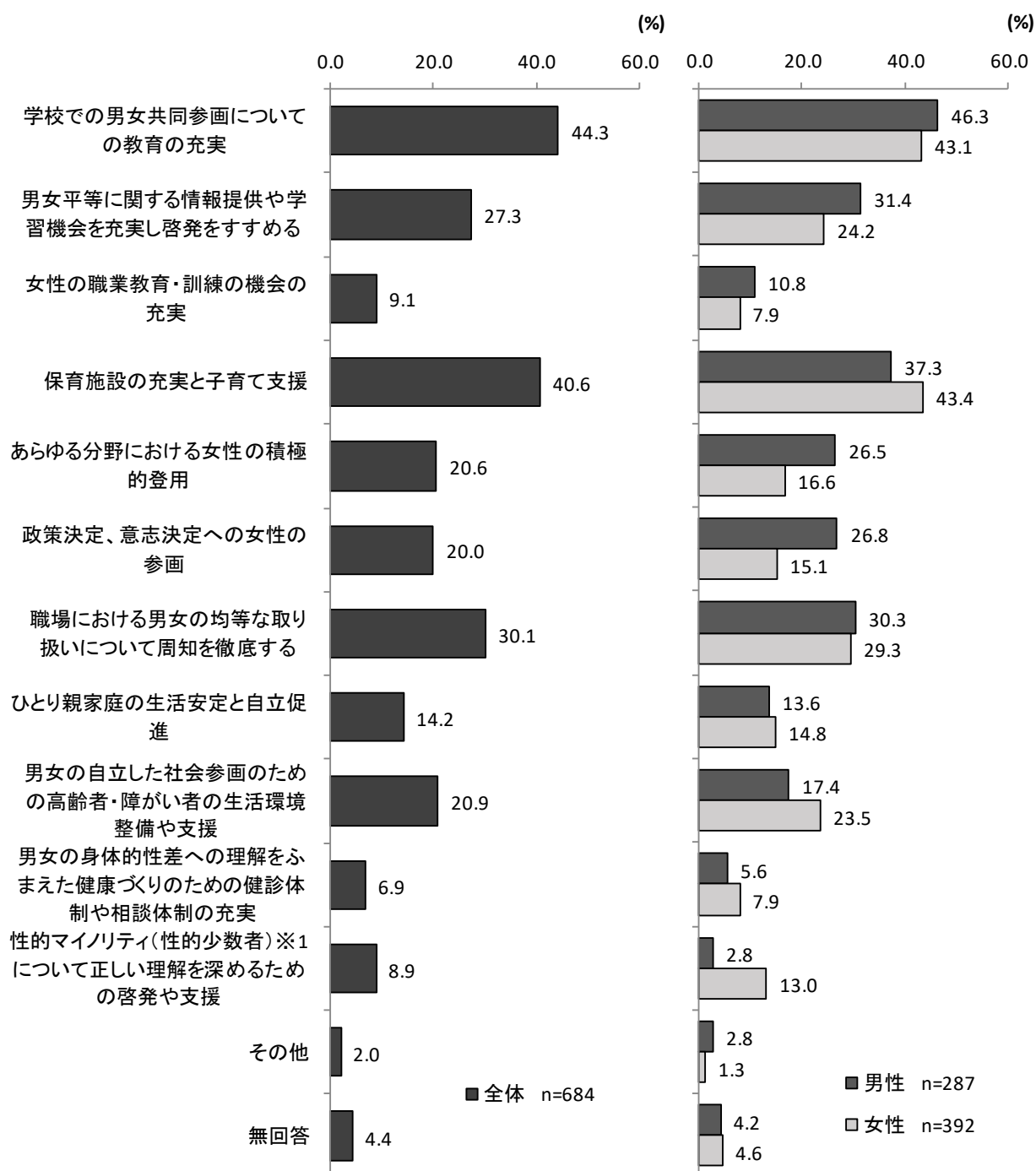
12 男女共同参画の実現について

問22

すべての方におたずねします。男女共同参画社会を実現するために、今後はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

◆全体は「学校での男女共同参画についての教育の充実」が第1位。第2位に「保育施設の充実と子育て支援」、第3位に「職場における男女の均等な取り扱いについて周知を徹底する」が続く。

全体・性別



II 調査結果 12 男女共同参画の実現について

全体では「学校での男女共同参画についての教育の充実」が44.3%と最多。男性の第1位は、「学校での男女共同参画についての教育の充実」(46.3%)、第2位に「保育施設の充実と子育て支援」(37.3%)、第3位に「男女平等に関する情報提供や学習機会を充実し啓発をすすめる」(31.4%)と続いています。女性の第1位は「保育施設の充実と子育て支援」(43.4%)、第2位に「学校での男女共同参画についての教育の充実」(43.1%)、第3位に「職場における男女の均等な取り扱いについて周知を徹底する」(29.3%)と続いています。

性別

(単位:%)

| | 回答者数 (人) | 学校での男女共同参画についての教育の充実 | 男女平等に関する情報提供や学習機会を充実し啓発をすすめる | 女性の職業教育・訓練の機会の充実 | 保育施設の充実と子育て支援 | あらゆる分野における女性の積極的登用 | 政策決定、意志決定への女性の参画 | 職場における男女の均等な取り扱いについて周知を徹底する |
|----|-------------|----------------------|-----------------------------------|--|--|--------------------|------------------|-----------------------------|
| 全体 | 684 | 44.3 | 27.3 | 9.1 | 40.6 | 20.6 | 20.0 | 30.1 |
| 男性 | 287 | 46.3 | 31.4 | 10.8 | 37.3 | 26.5 | 26.8 | 30.3 |
| 女性 | 392 | 43.1 | 24.2 | 7.9 | 43.4 | 16.6 | 15.1 | 29.3 |
| | 回答者数 (人) | ひとり親家庭の生活安定と自立促進 | 男女の自立した社会参画のための高齢者・障がい者の生活環境整備や支援 | 男女の身体的性差への理解をふまえた健康づくりのための健診体制や相談体制の充実 | 性的マイノリティ(性的少数者)※1について正しい理解を深めるための啓発や支援 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 684 | 14.2 | 20.9 | 6.9 | 8.9 | 2.0 | 4.4 | |
| 男性 | 287 | 13.6 | 17.4 | 5.6 | 2.8 | 2.8 | 4.2 | |
| 女性 | 392 | 14.8 | 23.5 | 7.9 | 13.0 | 1.3 | 4.6 | |

その他の意見

- どの仕事も必要数より少し多めの人数で構成されたチームで担当する制度。
- 働き方改革の推進(男女ともに仕事以外も充実できる)社会の構築。
- 男女が対等であるという意識をいまだに持っていない人が恥ずかしいと感じるように、1人1人が自分の性別に関わらず社会生活の中で自己表現を堂々とする。
- 在宅勤務、フレックスなど、家庭を優先しやすい働き方の促進。
- 育休制度促進にかかる企業等への金銭的支援。
- 「男女」と言うのもどうかと思います。「どちらでもない人」はどうすればよいのですか？
- 幼児期から、男女というよりは人は平等で1人1人が大切な存在であるという事を教えてるといいのではと思う。
- 身体的性差に理解をもちつつ男女の自立した社会参画のための環境。

13 男女共同参画用語について

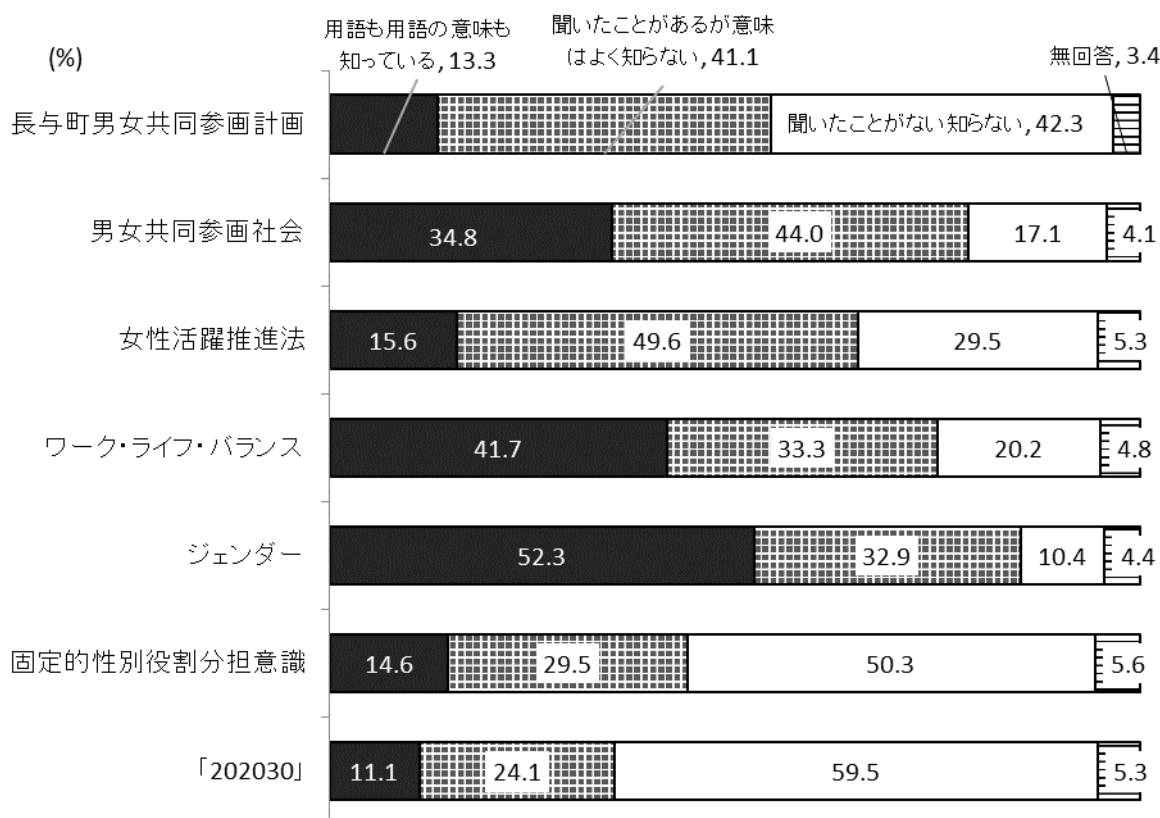
問23

すべての方におたずねします。男女共同参画に関する次の各項目について、それぞれ1つ選んでください。(〇は1つずつ)

◆ジェンダーの認知度は85%を超える。

◆認知度が低いのは「202030」と固定的性別役割分担意識。

全体



「用語も用語の意味も知っている」は【ジェンダー】で50%以上、【ワーク・ライフ・バランス】で約40%となっており、「聞いたことがあるが意味はよく知らない」を合わせた“知っている、聞いたことがある”でみると、【ジェンダー】【男女共同参画社会】【ワーク・ライフ・バランス】【女性活躍推進法】で60%を越えています。一方で、【「202030」】と【固定的性別役割分担意識】は約50%が「聞いたことがない、知らない」となっています。

固定的性別役割分担意識：

男、女という性別を理由として役割を固定的に分ける考え方のこと。

「202030」：

2020年までに管理職など指導的地位に立つ女性の割合を30%にするという政府が打ち出した目標。

性年齢別【長与町男女共同参画計画】

(単位:%)

| | 回答者数(人) | 用語も用語の意味も知っている | 聞いたことがあるが意味はよく知らない | 聞いたことがない知らない | 無回答 |
|----------|---------|----------------|--------------------|--------------|------|
| 全体 | 684 | 13.3 | 41.1 | 42.3 | 3.4 |
| 男性 | 287 | 15.7 | 35.9 | 46.0 | 2.4 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 25.0 | 58.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 3.6 | 35.7 | 60.7 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 15.4 | 23.1 | 59.0 | 2.6 |
| 男性-50代 | 41 | 12.2 | 39.0 | 48.8 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 18.2 | 36.4 | 45.5 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 19.2 | 40.4 | 35.4 | 5.1 |
| 女性 | 392 | 11.5 | 44.9 | 39.5 | 4.1 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 9.1 | 40.9 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 3.6 | 32.7 | 61.8 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 5.3 | 45.6 | 49.1 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 7.4 | 49.4 | 42.0 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 9.1 | 63.6 | 27.3 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 25.8 | 33.0 | 26.8 | 14.4 |

性年齢別【男女共同参画社会】

(単位:%)

| | 回答者数(人) | 用語も用語の意味も知っている | 聞いたことがあるが意味はよく知らない | 聞いたことがない知らない | 無回答 |
|----------|---------|----------------|--------------------|--------------|------|
| 全体 | 684 | 34.8 | 44.0 | 17.1 | 4.1 |
| 男性 | 287 | 37.3 | 41.5 | 18.5 | 2.8 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 58.3 | 16.7 | 25.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 46.4 | 39.3 | 14.3 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 38.5 | 35.9 | 25.6 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 34.1 | 56.1 | 9.8 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 39.4 | 34.8 | 25.8 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 32.3 | 45.5 | 15.2 | 7.1 |
| 女性 | 392 | 32.7 | 46.2 | 16.1 | 5.1 |
| 女性-10代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 63.6 | 27.3 | 9.1 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 34.5 | 38.2 | 23.6 | 3.6 |
| 女性-40代 | 57 | 24.6 | 54.4 | 21.1 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 29.6 | 60.5 | 9.9 | 0.0 |
| 女性-60代 | 77 | 22.1 | 59.7 | 18.2 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 39.2 | 27.8 | 14.4 | 18.6 |

性年齢別【女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)】

(単位:%)

| | 回答者数(人) | 用語も用語の意味も知っている | 聞いたことがあるが意味はよく知らない | 聞いたことがない知らない | 無回答 |
|----------|---------|----------------|--------------------|--------------|------|
| 全体 | 684 | 15.6 | 49.6 | 29.5 | 5.3 |
| 男性 | 287 | 18.8 | 48.4 | 29.3 | 3.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 16.7 | 41.7 | 41.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 17.9 | 64.3 | 17.9 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 17.9 | 51.3 | 30.8 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 19.5 | 48.8 | 31.7 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 18.2 | 51.5 | 28.8 | 1.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 20.2 | 42.4 | 29.3 | 8.1 |
| 女性 | 392 | 13.3 | 50.8 | 29.3 | 6.6 |
| 女性-10代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 13.6 | 40.9 | 45.5 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 9.1 | 54.5 | 30.9 | 5.5 |
| 女性-40代 | 57 | 12.3 | 59.6 | 28.1 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 14.8 | 60.5 | 23.5 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 11.7 | 55.8 | 31.2 | 1.3 |
| 女性-70代以上 | 97 | 15.5 | 34.0 | 28.9 | 21.6 |

性年齢別【ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)】

(単位:%)

| | 回答者数(人) | 用語も用語の意味も知っている | 聞いたことがあるが意味はよく知らない | 聞いたことがない知らない | 無回答 |
|----------|---------|----------------|--------------------|--------------|------|
| 全体 | 684 | 41.7 | 33.3 | 20.2 | 4.8 |
| 男性 | 287 | 44.3 | 34.1 | 17.4 | 4.2 |
| 男性-10代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 50.0 | 33.3 | 16.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 71.4 | 21.4 | 7.1 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 69.2 | 20.5 | 10.3 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 43.9 | 31.7 | 22.0 | 2.4 |
| 男性-60代 | 66 | 48.5 | 34.8 | 16.7 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 23.2 | 44.4 | 22.2 | 10.1 |
| 女性 | 392 | 39.8 | 33.2 | 21.7 | 5.4 |
| 女性-10代 | 2 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 63.6 | 27.3 | 9.1 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 60.0 | 23.6 | 14.5 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 57.9 | 26.3 | 15.8 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 42.0 | 39.5 | 16.0 | 2.5 |
| 女性-60代 | 77 | 22.1 | 46.8 | 31.2 | 0.0 |
| 女性-70代以上 | 97 | 22.7 | 28.9 | 29.9 | 18.6 |

性年齢別【ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)】

(単位:%)

| | 回答者数(人) | 用語も用語の意味も知っている | 聞いたことがあるが意味はよく知らない | 聞いたことがない知らない | 無回答 |
|----------|---------|----------------|--------------------|--------------|------|
| 全体 | 684 | 52.3 | 32.9 | 10.4 | 4.4 |
| 男性 | 287 | 49.8 | 35.9 | 11.1 | 3.1 |
| 男性-10代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 41.7 | 41.7 | 16.7 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 71.4 | 25.0 | 3.6 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 66.7 | 23.1 | 10.3 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 58.5 | 41.5 | 0.0 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 56.1 | 36.4 | 7.6 | 0.0 |
| 男性-70代以上 | 99 | 30.3 | 41.4 | 20.2 | 8.1 |
| 女性 | 392 | 54.1 | 30.9 | 9.7 | 5.4 |
| 女性-10代 | 2 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 72.7 | 22.7 | 4.5 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 72.7 | 21.8 | 3.6 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 80.7 | 17.5 | 1.8 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 61.7 | 34.6 | 2.5 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 46.8 | 44.2 | 7.8 | 1.3 |
| 女性-70代以上 | 97 | 22.7 | 32.0 | 26.8 | 18.6 |

性年齢別【固定的性別役割分担意識】

(単位:%)

| | 回答者数(人) | 用語も用語の意味も知っている | 聞いたことがあるが意味はよく知らない | 聞いたことがない知らない | 無回答 |
|----------|---------|----------------|--------------------|--------------|------|
| 全体 | 684 | 14.6 | 29.5 | 50.3 | 5.6 |
| 男性 | 287 | 16.4 | 30.0 | 49.1 | 4.5 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 33.3 | 58.3 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 14.3 | 50.0 | 35.7 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 17.9 | 28.2 | 53.8 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 14.6 | 29.3 | 56.1 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 21.2 | 33.3 | 43.9 | 1.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 15.2 | 23.2 | 50.5 | 11.1 |
| 女性 | 392 | 13.3 | 29.6 | 50.8 | 6.4 |
| 女性-10代 | 2 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 13.6 | 40.9 | 45.5 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 14.5 | 29.1 | 54.5 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 14.0 | 29.8 | 56.1 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 12.3 | 35.8 | 50.6 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 11.7 | 28.6 | 57.1 | 2.6 |
| 女性-70代以上 | 97 | 14.4 | 22.7 | 41.2 | 21.6 |

性年齢別【「202030」にいまる・にいまる・さんまる】

(単位:%)

| | 回答者数(人) | 用語も用語の意味も知っている | 聞いたことがあるが意味はよく知らない | 聞いたことがない知らない | 無回答 |
|----------|---------|----------------|--------------------|--------------|------|
| 全体 | 684 | 11.1 | 24.1 | 59.5 | 5.3 |
| 男性 | 287 | 14.3 | 23.3 | 58.2 | 4.2 |
| 男性-10代 | 2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 |
| 男性-20代 | 12 | 8.3 | 16.7 | 75.0 | 0.0 |
| 男性-30代 | 28 | 14.3 | 28.6 | 57.1 | 0.0 |
| 男性-40代 | 39 | 20.5 | 23.1 | 56.4 | 0.0 |
| 男性-50代 | 41 | 7.3 | 36.6 | 56.1 | 0.0 |
| 男性-60代 | 66 | 16.7 | 16.7 | 65.2 | 1.5 |
| 男性-70代以上 | 99 | 14.1 | 22.2 | 53.5 | 10.1 |
| 女性 | 392 | 8.7 | 25.0 | 60.2 | 6.1 |
| 女性-10代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 女性-20代 | 22 | 4.5 | 18.2 | 77.3 | 0.0 |
| 女性-30代 | 55 | 7.3 | 12.7 | 78.2 | 1.8 |
| 女性-40代 | 57 | 7.0 | 36.8 | 56.1 | 0.0 |
| 女性-50代 | 81 | 6.2 | 30.9 | 61.7 | 1.2 |
| 女性-60代 | 77 | 11.7 | 24.7 | 59.7 | 3.9 |
| 女性-70代以上 | 97 | 10.3 | 22.7 | 47.4 | 19.6 |

Ⅲ 自由記述意見

ここに掲載した自由記述意見はお寄せ頂いたすべてではありません。
また、基本的には原文のまま掲載していますが、要約している箇所もありますのでご了承ください。

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|----|--|----------|
| 1 | 女性がもっと積極的に意見を言っていないと全てなあなあのままにも変わらないと思います。「男女共同」というなら、そうしたいなら女性ももっと活動しないと変わるものも変わりません。それに男性が甘えすぎていて見ててイライラします。でも子連れの母などは常識がなく子供がお店のものを投げたりつぶしてるのを見て横で笑って見るだけなど頭悪そうな人が多いです。道歩いてても手つながらないから人の進路をジャマしたりしますし、まずシングルマザーになった人はなる原因を自ら作っているのだからあまり同情できません。あと長与役場の男性たちだらだらしてて悪印象です。仕事女性に丸投げしないで働いて下さい！ | (女性、20代) |
| 2 | 子育てしやすい制度だったり、妊娠中の助成だったり見直した方がいい。 | (女性、20代) |
| 3 | 長与町の小中学校は名簿も男女別、教室の机や並び順なども男女で分けられていた。他市や他県の学生と話をし、そのことがおかしいことだと気付いた。子供の頃は男子が先、女子が後、ということになんの疑問ももたなかったが・・・義務教育の頃から必要のない区別はなくすべきであると思う。 | (女性、20代) |
| 4 | アンケートの意図・目的がよくわからなかった。 | (女性、30代) |
| 5 | 全ての女性が仕事と家庭の両立をはかりたいとは限らない。生活のために仕方なく働いている人もいれば、仕事をしたい人もいますので、男女問わずに働き方を選択できる社会が必要と思う。また昔のように世帯主の収入のみで生活できるような社会にならないと上記のような働き方の選択は難しいと思う。男女共同参画はいいが、管理職の男女比を均等にすることは、そもそも男性と女性では身体的にも異なり、家庭での役割も異なるのだから、均等などの考え方は良くないと思う。 | (女性、30代) |
| 6 | 様々な場面で、男女を問われることがあるが、当たり前のようになくなってしまっていないか。本当に男女を問う必要があるのか見直したほうが良いと思う。 | (女性、30代) |
| 7 | 子どもをたくさん産むけど働かない(けない)も立派な社会への貢献と考えます。仕事とみなして、十分に手当てをすればよいと思います。女性にしかできない社会への参画の方法では？マイノリティーの意見に耳を傾けると言いながら、専業主婦を悪とする考え方が広がりつつあることに危険な雰囲気を感じます。 | (女性、30代) |
| 8 | 男女だけでなく、老若男女、多種多様な人々が対等に評価され、チャンスを得られると良いと思います。女性の社会進出、女性が働きやすい環境作り・・・に注目されがちですが、男性の仕事の負荷が高く、家事や子育てに参加したくても難しいのも現状だと思います。夫の職場では、子供のことで「奥さんの実家に頼めないの？」といったやり取りが未だにあるようです。慣行のあり方を変えるのが一番難しいですが、一番必要なのではないでしょうか。 | (女性、30代) |
| 9 | 時代の背景があるので仕方ないかもしれないが、「男女共同参画」と言いつつ男性優位、男性基準の改定視点が気になる。女性はライフスタイルが変わる度に選択に迫られる機会がまだまだ多いと思う。実際問題、女性が子育てと両立しながら働くということにおいても、保育施設には預けづらいし、子供優先に働くということも世間体や会社の理解は得づらいと思う。誰が誰の為にこういう社会を求めているのかということをもっときちんと考えた方がいいと思う。 | (女性、30代) |
| 10 | 時短勤務を選択しても収入が減らない制度があると良いと思います。本当は子供が小さいころは時短にしたかったのですが収入が万単位でかわるので諦めました。そして、子供の行事などで有給取得する頻度が高く、居づらいこともあります。子供が就学までは男女ともに収入の減らない時短を選択しやすくなると男女関係なく離職が減るのではと思います。 | (女性、30代) |
| 11 | 今回のアンケートについても女性についての社会貢献についての質問が多すぎるように感じた。男性についての質問が少ないと感じ取った為、アンケート(質問)についても、もう少し考えるべきでは？と思う。また、障害者についての質問事項も少なすぎる為、もう少し考えるべき。役所について、行政についての女性参画に関する事についても、結局は男性が優位に立ち過ぎと思われる。 | (女性、30代) |
| 12 | 経営者などトップの意識改革が大切だと思う。トップや役職の人向けのセミナーを開いたり、意見会など定期的に行ってはどうか。トップの考えが変わらないと、女性の社会進出は難しいと思う。 | (女性、30代) |
| 13 | 長崎、九州は比較的性別役割分担意識が今も根強いと肌で感じます。恐らく土地の厳しさから来るものなのでしょう。現役世代が男女の別なく社会に出るには、非現役世代の支えか、かなり手厚い子育て支援が欠かせません。欠けば、共同参画のプレッシャーで子をもうける事を躊躇し、長期的には長崎県が先細るでしょう。財政的にも、人材的にも厳しい面があるとは思いますが、安心して働ける長崎であってほしいと思います。 | (女性、40代) |
| 14 | 男・女ということでもなく、女性の中でも格差はある。正社員として働いている女性ばかり優遇されていないか？子供が学校に行っている間だけ働いている人、仕方なく専業主婦をしている人、好きで(子供のことを考えて)専業主婦をしている人。そういう人たちと正社員として働いている女性は何が違うのだろうか。好きで働いている人もいる。それなのに手当だったりもらったりしている。男・女という前に、女性間でもそういう違いがあることを整理してほしい。専業主婦もちゃんと見てほしい。このアンケートは、働いている女性と男性についてとしか思えない。 | (女性、40代) |
| 15 | まちづくりを行うにしてホームページ上等での投票(多数決)で決めるのはどうか(案を募集→公開→投票) そうなると議員さんが不要になる・・・ | (女性、40代) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|----|--|----------|
| 16 | 組織内の男女比ばかりを注視して、能力のない女性が役職につく事には疑問を抱く。研修会などを企画するのであればパフォーマンスにとどまらず、しっかりとした内容、本当に変わるんだという信念のもとやって欲しい。でなければお金ももたない。 | (女性、40代) |
| 17 | 男女平等もいいですが、個々として向き不向きがあると思います。何でも分担や、無理に平等にするのではなく、個性を認め合ってお互いやれることをやり、適材適所でいければいいと思います。 | (女性、40代) |
| 18 | 子育てが一段落した世代の女性が、再び社会に出て活躍できるように、夜の時間帯などに講座やセミナーを企画されると良いのではないのでしょうか。 | (女性、40代) |
| 19 | 平等の下で生物としての性差すらのなしにした考え方に触れるとぞっとします。人権としての平等であり、生物学的には異なるが広がったらいいと思います。 | (女性、40代) |
| 20 | アンケートだけでなく民間の企業へ実際に足を運び調査した方が良いと思います。このような町づくりには役場の人だけでなく企業で働いている人を推進メンバーに多数取り入れる方が現実的だと思います。 | (女性、40代) |
| 21 | 女性の活躍はよいこと、すべきこと、というのが「正しい」意見であるという、世間の目が女性にとってときどき辛くなる。女性だから活躍せねばならない訳ではない。「多様な」生き方が受け入れられる社会であるべきで、それを望む。活躍したい人、そうでない人、家庭にいる人、職を持っている人、どなたも認められ尊重されるべきと考える。 | (女性、40代) |
| 22 | 具体的にどのような活動をしているのか、内容も含めて告知してほしい。その際、女性に関わることによってどのようなメリットがあるか、デメリットがあるのか、説明があれば安心すると思います。デメリットがあれば解消してほしい。言葉だけで、活動内容が見えてこない。 | (女性、40代) |
| 23 | 固定的性別役割分担意識をなくすために学校での男女共同参画について教育の充実を行ってほしい。 | (女性、40代) |
| 24 | まだまだ家庭でも、男性は外で働く、女性は家事をこなす、の考えは根強いと思います。男性と女性、別の考えを持っているので家庭から父親、母親のコミュニケーションで変わっていくのではないかと考えます。現代は共働き家庭が中心です。家族で協力しあって家事等家の中の事が出来る様になると、女性も働きやすくなり、いいのではないかと思います。(もちろん、外注して家事等をリーズナブルにする必要もある)と思います。 | (女性、40代) |
| 25 | コミュニケーションが一番だと思います。コロナ禍なので今は難しいかもしれませんが町内で老若男女、健常者、障害者、ジェンダー、日本人、外国人関係なく全員が参加できる催し物があればいいなあと思います。長女が小学生の頃夏休みにあった行事、インターナショナル外国の方との交流会が次女の時にはなくなり残念でした。それに年配の方が入ったりして外国の方にも日本の良さを知ってもらったりご年配の方が子供や外国の方と知り合う機会があってもいいのではないのでしょうか。そこから色々な事が広がってくると思います。 | (女性、40代) |
| 26 | 男性、女性両方の意識改革が大切。特にアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)による悪影響が生じないよう、行政、表現(言葉、文章など)教育の場での配慮が必要。男だから女だからという性別による固定的役割分担意識をなくすためにみんなが(特に大人)積極的に学ぶことが第一!! | (女性、40代) |
| 27 | 女性の管理職を増やせばいいという風潮には反対。思いもよらず管理職に就いたとしても、じゃあ子供はどうするのか、家事はどうするのか、などが解決しない事にはきつくなるばかり。配偶者に協力してもらえばよい、と単純に言って解決する問題ではないので結局女性がつぶれるか、仕事を辞めるしかなくなってしまう。女性が仕事をしながら子育てしやすいためにはどうすればよいか、を男女共に考えて世論を変えていかないといけない。田舎や年配の方の男尊女卑の考えもひどいが、その考えに洗脳された男性も淘汰すべき。その考えはおかしいと声をあげるべき! | (女性、40代) |
| 28 | 病院で管理職をしていますが、産休に入った看護師が保育園に入れることができず、戻ってこれません。一人ではなく多くいます。育休延長となりますが、これでは男女共同参画どころではありません。とにもかくにも、待機児童0を実現して下さい。長与町だけでなく、市内、諫早も同様の状況です。長崎県全体で取り組んでほしいと思います。よろしく申し上げます。 | (女性、40代) |
| 29 | 男は仕事・女は家庭で困っていない、望んでそうしている家庭もあると思いますが、社会へ出ていきたい女性・家庭生活を守りたい男性がどちらも気兼ねなく暮らしていける社会、好きな人生を歩める社会になれば幸いです。よろしく申し上げます。 | (女性、40代) |
| 30 | 今、若い人の中では家事や育児を男性も女性も協力して行うことは必須となっている。未だに理解していない人は(特に年配の方)かわいそうだとも思える。相互関係を良くしていこうという考えが全くない方とはお話ししたいとも思えません。又、性別に関係なくやりたい仕事や社会参加は家族が協力して成り立つと思う。もう、いいかげん、男性は女性よりも上という意識は捨てて、同じ人間として尊重していけば、男性が上でも女性が上でも職場や社会はうまく回るという事を皆が理解していこう!すばらしい未来を信じて・・・ | (女性、50代) |
| 31 | SNS等により直接のコミュニケーションが減ってしまっている。是非男女共同参画社会(地域の清掃や子育て支援、独居者の支援)を活発にしてほしいと思います。 | (女性、50代) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|----|---|----------|
| 32 | 男女関係なく能力や適性を考えて、リーダーや管理職などの役割を与えるべきだと思います。女性でも、結婚・出産・子育てを経験した人とそうでない人ではかなり差があると思いますので、その辺りも考慮するべきだと思います。 | (女性、50代) |
| 33 | 子育てや介護等、現代フルタイムで働く女性が多い中、夫婦で協力し合いながらでないどちらかが仕事を辞めることになる。会社で男女ともに育休や介護休が取りやすい環境を作してほしい。在宅ワークや時短勤務など職種によっては無理な場合もあるがパートを雇うなど工夫してほしい。高齢化社会の現代これから男女共同参画社会の実現はとても大切だと思う。 | (女性、50代) |
| 34 | 男女共同参画社会を実現していくにあたって、いろんな事、問題が出てくる。結婚していて、子供が小さかったら預かってくれる場所(幼稚園・保育所)がない。時間が決まっていて遅くまで残れない。(お迎えがある)小学校に上がると、児童館なども時間が決まっていて5時、6時には帰らないといけない。夫婦の問題でもあるが、そういうところから見直していかなければならないと思う。男性、女性とか関係なく、全ての人が安心して働ける社会を実現してほしいです。もちろん子供達も利用できる場所を作るべきだと思います。 | (女性、50代) |
| 35 | 男はこうあるべき、女はこうあるべきという昔からの考え方を変えるために、何をどの様に変え、行動に移していくのか。女性の社会進出と共に家庭の中での男女の考え方も対等である事を家族間で家事を分担し、協力して行うなど親が積極的に子供世代に見せ、手本となるのが大切だと思う。 | (女性、50代) |
| 36 | 「男だから、女だから」をやめること。 | (女性、50代) |
| 37 | 最近、「男女平等」と「男女共同参画社会」が同じ解釈として取り上げられることを目にします。男性と女性は、その心身の機能や医学的な解剖学の視点からも、決して男女平等に社会で活躍できるものではないことを、今一度、国民へ周知徹底して頂きたい。このような「男女参画社会」を取り上げる際は、同時に(e.g. 男は外で働くものというのは、現代では社会として機能していかないが、男は男性機能性として体力もあり、思考力の違いもあるため労働することに適していることは間違いない。男性は子供を産めないこともその一つである。)男女が「共同」で「社会を作り上げる」という初心の理念を再度、広報してもらいたい! | (女性、50代) |
| 38 | 伝統的にあるリーダーは男性、補助的役割は女性、というあり方を変えていく必要があると思う。まずは長与町で実践してもらい町民の意識を変えてもらいたい。数年前、長与中学校に女性の管理職が来て飛躍的に女子の制服の改善が見られた。女性のリーダーが現れることによって、これまで陽が当たらなかった事にも陽が当てられる。小さなことの積み重ねが大切だと思う。まずは手をつけやすい学校などで行ってほしいと思う。(男女混合の出席番号など)高齢者の意識を変えることは簡単ではないと思うが、例えば親戚の集まりで男は座って料理や酒を味わうだけ、準備や片づけは女の仕事、みたいなことがおかしいという身近な例を出していくことは大切だと思う。未だに「女の子だから無理して学校に行かなくても・・・」という親がいて驚くが、長崎県は遅れているという自覚を持つことも必要だと思う。 | (女性、50代) |
| 39 | 回答の中に興味がない項目が欲しい。頭の良い人なら参加できるんでしょうね。職場、地域では同性からおとしいられる。男女の比ではない。 | (女性、50代) |
| 40 | 小さな事からの取組み、誰もが出来るやすい事をより多く発信して行って下さい。言葉や意見は知らなくとも、やっている方も多いのでは?と思います。 | (女性、50代) |
| 41 | 男女共同参画社会を進める中で、企業も賃金の平等、女性役職者の増員を行っていますが、何かと「女性」というフレーズが使われていて社会へのアピールにすぎないような気がします。最近の若い人は家事・子育てに夫婦で頑張っていると思います。一番不安なのは「賃金」ではないでしょうか。安心して生活が出来るまちづくりをお願いします。また、今回は家族ありきのアンケートだったと思います。一人世帯の方も増えてきていますので、だれもが住みやすいまちづくりをお願いします。 | (女性、50代) |
| 42 | 1人1人の意識の変化が求められるとともにこれを実現させる為には、実現可能な、ライフワークバランスを保てる働き方ができるようにならなくてはならない。女性の参画を、正社員の働き方に限らず、多くの人に参加できる(短時間でも)仕組みづくりが必要だと思う。例えば、1人の正社員の仕事を3~4人の人が関わることで、バックアップ体制もとれ、時短勤務が必要な女性も活躍しつづけられるようにするなど柔軟な働き方を認める。育児が落ち着いたら仕事時間を延長するとか、介護が必要になったら、又時短でも仕事ができるなど。時短で仕事をする人も、社会保険を継続できるとか、生活が安定するような、仕組みも必要だと思う。 | (女性、50代) |
| 43 | アンケートに答えながら思うのは、「こうあるべきだ。」「～な社会」「～な職場」という願いを込めて理想的な意見は誰もが考えているし、大差ないと思うが、問題は現実がどうかということ。長与町がより良くなっていくためにリーダーたちに頑張ってもらうためにも私は、子供達や自分で声を上げにくい弱い立場の人達の生活が取り残すことなく守られている社会でなければならないと考えている。そんな優しい社会で育った子供は自然に「男女共同参～・・・」の意識だって持っているだろうと。子供達が守られていれば親も安心して働くことができるでしょう。 | (女性、50代) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|----|--|----------|
| 44 | 企画自体は良いことだと思います。その促進の為に、まず女性が負担に感じていることへの補助・支援を充実させて下さい。 1. 子育て→保育・学童施設の充実とスタッフの質の向上 2. 食事の世話→弁当の宅配の無料化 3. 家事→配偶者の説得・協力の手助け ☆男性が「男性優位の社会に甘んじ、当たり前だ」と思っていることの打開策がまず必要です。男性が「もし自分が女性なら」という視点から物事を考えていくことから始まるのではないのでしょうか。 | (女性、60代) |
| 45 | 男女共同参画社会により子供達が夕食等（両親が仕事の為に）一緒に食べる事ができずにいる子供達が増えることに対して疑問に思うので、いろんな事に参加する事はよいが子供に対しての普段のあるべき生活は考えてほしいと思う。 | (女性、60代) |
| 46 | 男女共同参画社会の実現は徐々に若い世代では広まっている感じはありますが、現時点で50代～70代の男性の中で女性に対する考え方が「男尊女卑」的な物の言い方や対応をする方をよく目にします。車の駐車場でも自分の駐車方法を少しさまたげられたとこちららが女性だと文句を言い、男性が乗っていることを知るとしりぞくという場面多々あります。（特に70代に多い）私は60代～70代の男性とは関わりたくないと思うほど一方的な物の言い方をされた事があります。その方々が考え方を変えないと無理ではないのでしょうか。 | (女性、60代) |
| 47 | ご苦労様です。女性が能力を発揮できず家庭に縛り付けられているのを見るのは辛いです。もっとのびのびと女性が生きていける社会になりますように私も考えていきたいと思えます。 | (女性、60代) |
| 48 | 土・日・祝日も利用できる施設が増えてほしい。（子育て・介護など） | (女性、60代) |
| 49 | 年上より若い人に意見を聞いた方がいいのでは。18歳から50代くらいの方が。 | (女性、60代) |
| 50 | 今から「男女共同参画社会」の長与町のまちづくりを興味を持ってみたいと思います。 | (女性、60代) |
| 51 | 働く意欲のある女性、能力がある女性、政治、地域活動に興味がある女性、もちろん性別に関係なくこのような方々が活躍できる長与町になるともっと発展していくと思えます。 | (女性、60代) |
| 52 | 若い世代の方々は理解もし、納得していると感じます。年配の方々が頭が固く、理解等難しいように思います。政治は確実に世代交代すべきです。「長与町、なんかいいよね」と思ってもらえるようなまちづくりができるといいのですが。 ①長与町講座に、まちづくりに関するものを取り入れる。 ②教育が一番大切！保育の方や教員等、給与を上げる。 ③介護職の給与を上げる。いないと多くの方が困る方々です。 ②と③は男女共同参画社会への近道では？ | (女性、60代) |
| 53 | 年代により実現化への意識が異なると思います。意識の差を少しずつなくすようにしていけたなら・・・ | (女性、60代) |
| 54 | ・男女平等が全てにおいて同じことをするという意味ではないと考えます。男性、女性それぞれの特性を生かしながら仕事をしたり生活をしたりすることが望ましいです。「男女共同参画」という言葉が出たことで、家庭があっても女性を遠い地へ単身赴任させられることが多くなりました。子育てに母性は不可欠です。何もかも男女同じようにはなく状況に応じた働き方を構築してこそ「男女共同参画」だと思います。 ・小さい子を育てている女性は、子供が病気になる時に休まなければなりません。長与町に病児保育ができる施設を作っていただきたい。また補助金もお願いしたい。 | (女性、60代) |
| 55 | 女性が社会に参加するにはやはり子育て、介護などの支援が不可欠だと思います。また男性の固定観念を撤廃する必要性、その為の努力が必要だと思います。 | (女性、60代) |
| 56 | 議会や役所等、まっさきに変わらなければいけないところが固定観念や常識に固執しているように思います。前例がないとか他市町を参考にとか。とは言えいろんな考えの人がいる町をまとめるのは大変ですね。 | (女性、60代) |
| 57 | 良くわからないことが多かったです。頑張って答えつつもりです。女性でも実力のある人が前に出れるようになれば男女共同参画に近くなるのでは。 | (女性、60代) |
| 58 | 男だから女だからではなく（個人々で）得意不得意なことがある。”何でも同じ”にできる？長与町はどちらかというと”開かれた町”に当たると思います。住みやすい、暮らしやすいと思う、ということは”共同参画”とわざわざ言わなくてもある程度浸透しているのでは？という気もしています。 | (女性、60代) |
| 59 | 性差は当然として、格差が生じているところを共同しあって行きましょうという意味でしたら、長い目で見た時に、幼児教育、家庭教育の大切な時期に人としての思いやり、心のありようを教えてあげられるようなゆとりが持てる家庭環境を町の政策として整えて差し上げるのも良いのではと思いました。 | (女性、60代) |
| 60 | 男女平等な学生生活を送っても大人になると結婚、出産、育児、家事一般、女性に強いられる負担はまだまだ大きいものがあります。男性の意識改革やその親世代も考え方を変えていかないとと思えます。 | (女性、60代) |
| 61 | 男女共同参画作りと意識せず自然に参加協力している雰囲気作り。実行している企業があると思うので、意見を聞いて集約する。自分達にできることから進めていく。 | (女性、60代) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|----|--|------------|
| 62 | 研修とかではなく、育児も介護も正解があるわけではないので、それぞれが相談出来たりする環境、時間が必要だと思います。男女の性別で考えるのではなく人間という枠で考えていくことが必要だと思います。 | (女性、60代) |
| 63 | 小泉首相時代に改革された事により、女性の就職はものすごく不利になり派遣制度の自由化があたりまえになり仕事は重要にもかかわらず手当が軽んじられており働く意欲は失われ、外国人にとられてしまっている男女ともにもいえますでしょうか。 | (女性、70代以上) |
| 64 | 高齢になると地域活動を中心に社会参加がますます必要と思うがそのためには交通が便利でないと難しいと思う。「男女共同参画社会」実現していくまちづくり、大いに賛成だが、性差は絶対にある。何もかも平等は有り得ない。女性も甘えず努力していくべき。まずは男女にかかわらず、自分自身を大切に自分以外の他の考え、他を尊重することを学ぶ機会が増えると良いのかと思います。 | (女性、70代以上) |
| 65 | 町長を女性にしてください。 | (女性、70代以上) |
| 66 | 若い人たちへの教育を望みます。 | (女性、70代以上) |
| 67 | できる限り若い人材を登用し、新しい考え方、企画を増やしていった方が良いと思う。例えば自治においても国においても若い人の方が対応力に優れ、実行力も早い。私共年老いてくると判断力が遅くなり、動き出すのに時間がかかる。私ももっと若いうちはここまで考えが衰えるとは思ってもみなかった。特に上にたつ者は若い人材が良いと思う。男女問わず活性化できると思う。 | (女性、70代以上) |
| 68 | 今からの若い世代の人達は貧富差が出てくると思います。世の中皆、平等に暮らせる様、協力し合って頂きたいと思います。 | (女性、70代以上) |
| 69 | 具体的に何がなされているか知らない。 | (女性、70代以上) |
| 70 | 難しいことはわかりませんが、 ・基本は最も小さい集合の家庭で日常的に平等の考え方で家事・育児その他を分担、協力できているかを良く話し合い実行する事と思います。各家庭で女性にも余裕がある生活をする事で一步踏み出せると思える・・・ ・自治会などの活動を見ても「人がいないから・・・」と何十年も同じメンバーで運営に当たる？等見てしまいます。人材の発掘を工夫して、新しい空気やムードを作ることに力を注ぐ必要を感じます。 | (女性、70代以上) |
| 71 | 男女問わずお互いの立場を考え、共に参加出来る事が一番と思います。 | (女性、70代以上) |
| 72 | 奨励、推進というあいまいな言葉ではなく、実現には形に視えるサポート（設備、窓口等）が強く求められると思います。 | (女性、70代以上) |
| 73 | 何となく男女共同参画社会と言う言葉は知っていますがなかなかどんな事かなどはつきり知りません。何か勉強会みたいな会合などがあれば参加してもっとわかりたいと思います。 | (女性、70代以上) |
| 74 | 難しい用語や言葉でなくわかりやすい伝達を！ | (女性、70代以上) |
| 75 | 長与町が進めているとは知らなかった。 | (女性、70代以上) |
| 76 | 子供達が小さいうちから男女が協力しあって何事もなすことを教えるのが良いのではないのでしょうか。外国の方（他国）の中には女性の役職につく割合が男女共半々のように見受けられます。日本では国会議員の数も男性が8割ぐらいで女性は少数のように思います。もっと日本の女性の議員政治家が増える事を願っています。女性が増えると考え方もおだやかになると思うのですが、又、社会の人の考え方も変えないといけないと思います。 | (女性、70代以上) |
| 77 | 女性が結婚してからも仕事が続けられて行かれるような社会、たとえば子供が生まれたら保育園等の子供を見ていただける所がもう少し多くあれば又、共働き等男性も女性のお手伝いをして、子育ての大変さを知る必要があると思います。ので町として、時折、勉強会等も開いていただけたら良いと思います。 | (女性、70代以上) |
| 78 | このような大切なアンケートに私（87歳）が無作為に選ばれたことは残念です。若い女性の方々に自覚や意欲を向上させてほしいと思います。 | (女性、70代以上) |
| 79 | 私は退職して7年になりますが、15～65才まで約40年間職場でしたが様々な事が多くありました。女性として仕事は最後迄、老人になる迄、人生・育児・介護までやりきる事が次の世代にも必要と思いました。 | (女性、70代以上) |
| 80 | 個人の能力を十分発揮出来る様な社会実現を期待します。 | (女性、70代以上) |
| 81 | 息子が子連れで外出した時、大きなモールではあるのだが、赤ちゃんのおむつを替えるとき場所を探すのに苦労したと言っていたので、父親も気軽に入れる赤ちゃん連れの部屋・場所があるといいな。オーストラリアのモールの階段に腰かけて父親らしいひげもじゃらのおじさんが、赤ちゃんにミルクを飲ませていた。通りがかりの知り合いらしいおじさん達にこやかに挨拶してそばを通り過ぎていた。イギリスでは道端でおじさんが赤ちゃんのおむつを替えていた。以上の光景を目にして、日常茶飯事の事だと感じられるようになると本物の共同参画社会かなと思う。 | (女性、70代以上) |
| 82 | 思いのやりとりができる人間作りの社会形成ができるといいなあ～と考えています。 | (女性、70代以上) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|----|--|------------|
| 83 | 私は70代後半の女性です。私の主人は、九州男子で、男尊女卑が徹底している人です。いくら妻が具合が悪くても黙って何もしないで見ている人です。結婚して53年になりますが、毎日がとても虚しいです。「男女共同参画社会」といっても私には、絵に書いた餅にしか見えません。 | (女性、70代以上) |
| 84 | 選ばれてありがとうございます。90過ぎても何とか一人で書くことができホッとしています。介護をしながら毎日が大変ですが頑張っています。10年以上もなりますが、今は一番幸福です。毎日を大事に過ごしています。 | (女性、70代以上) |
| 85 | 家事ができるように男性もできるようになる事、女性の社会的な地位向上も大切。家でも母が家の事を行っていてそれが当たり前のようになっている。学校の家庭科くらいじゃ何もできない自分がいてアルバイトなどで洗濯、食事など自分でできるようになった。女性の負担を男性もできるように学習する場をほしいと思う。 | (男性、20代) |
| 86 | 色々な問題があるが、男性、女性関係なく働きやすい環境づくり、そして家の仕事も女性に押し付けるだけでなく夫婦で助け合うことが大事という法律を作る。 | (男性、20代) |
| 87 | 現況、男性優位の社会であると思うが、「女性推進」を掲げることについて違和感がある。とても大切なことだが「女性推進」を行うことによって、次に男性の不満も増えてくることでしょうか。そのため「男女共同参画社会」を実現したくば、固定観念をなくし、男は、女はという考えを改め、ラフに生活できるようにすむべきかと思えます。このアンケートの質問の解答（選択）は、女性をもっとか協調性にかけるものが多い。実に非合理的だと思いました。問2に関しては対象が既婚者に限られているのでは？少し難しかった印象でした。 | (男性、20代) |
| 88 | 個人的な意見として、男女が共に社会でよりよく生活できるためには、それぞれの役割を明確にして希望に沿うような働きかけが必要と考えます。どうしても男性、女性は異なる性で社会的役割（女性だけしか子どもを産むことができないなど）も異なります。よって社会に必要なものは、育児は男性も、仕事は女性もではなく、男性らしさ、女性らしさを「大事」にして各々の本来あるべき姿（男性はお金を稼ぎ、女性は家を守る）を大切にしていくのが本当の男女共同参画社会であると考えています。※ジェンダーレス、同性婚を考えると自分の考えは今の社会に合っていない感じがします。 | (男性、30代) |
| 89 | 男女差別のない世の中を希望します。 | (男性、30代) |
| 90 | ・違い（性別など）を認めて、それを問題にしない意識 ・育児に関して、人に頼れる、頼りやすい環境の整備、例えばベビーシッターや家事代行などの有効活用や利用しやすくする支援など。 | (男性、30代) |
| 91 | ライフイベントとして、女性の場合、出産→育児という流れになりがちであり、企業側でも採用の際、出産→育児休暇を取られ、業務に穴が開くくらいなら男性を採用した方が安定する、という古い考え方の企業も根強く残っていると感じている。ダイバーシティを推進していくにあたり、上記状況を改善するにはやはり育休取得の強力な推進が必要だと考える。自治体としても、例えば「育休取得率の高い企業に対し、助成金を出す」等目に見える形で支援を行って頂ければ幸いです。 | (男性、30代) |
| 92 | ・会社の近く、もしくは会社の中に保育園や介護施設があれば安心して働けると思いますが。助成金だけじゃ会社は導入は厳しいと思いますが・・・ ・元気なじいちゃん、ばあちゃんも保育園に参加出来たら少しは改善にならないでしょうか？ | (男性、30代) |
| 93 | 年齢を問わず、異性に対する理解を深める（男女差のある生理現象等への理解など）必要がある。50代以降の方々に対しては、男女平等の啓発を強くすすめるべき。（未だに「男は外で働き、女は家庭に」という固定概念をもっている方が多数いると推測できるため）ただし、全ての女性が働きたいという訳でもなく、「働く女性は偉い」というような評価の仕方ではなく、自由に選択できることを強調していったほうが良いと思います。 | (男性、30代) |
| 94 | 時津、長与町が協力し合い、それぞれの良いところを取り入れ合う。 | (男性、30代) |
| 95 | 私の妻にも聞きましたが、長与町に住んでいて女性であるからという理由で困ったことは何もないそうです。職場も女性が多く、とてもいきいきしています。このアンケートの質問事項自体が少し古い気がします。今時、そんな男尊女卑の人間ってそんなにいるのでしょうか？ | (男性、40代) |
| 96 | 実現に向かうには、環境づくり、女性の意識向上、男性や家族の理解が必要。実際は結婚や出産、子育てが大きなハードルになっていると思います。女性は出産、子育てがあることで仕事や社会的な地位の面でブランクを持ちますし、社会、企業、男性は、ブランクを女性だから仕方ないという具合ではないでしょうか。また女性も同様に仕方ない女性だから・・・と消極的になっている気がします。やはり結婚・出産・育児への多角的なサポートがより一層必要なのではないでしょうか。 | (男性、40代) |
| 97 | 行き過ぎた女性優遇は結果的にただ逆転させるだけなので「男」「女」の区別ではなく「人間」として障害者やマイノリティーも含めた社会を目指していただきたい。またこの手のアンケートはWEBでできるようにして頂きたい。 | (男性、40代) |
| 98 | 町職員における管理職の男女の割合や町議の男女の割合および各年代から選出するような取り組みが必要と考える。 | (男性、40代) |
| 99 | 専業主婦の家庭と共働きの家庭では根本的に生活の軸が違う部分があるので、それぞれの観点から考えてみるのも良いと思う。 | (男性、40代) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|-----|--|----------|
| 100 | リーダーとして働く人や活動する人が男性であるのか女性であるのかは本質的には関係がないはずで、その方々が「いろいろな立場の人がいるなあ」ということを意識して、リーダーシップを発揮していけるといいなと考えます。リーダーにならずとも、全ての人の意識の中に、差別意識と向き合う心を築いていかなければならないと感じました。今回のアンケートで自分自身の心と向き合うことができました。今後の生活に活かしていきたいです。ありがとうございました。 | (男性、40代) |
| 101 | 私たちの年代は3世代同居していて、幼少の頃より祖父母から男はこうあるべき、女はこうあるべきと教わってきた為、学校教育だけでなく家庭を含めた全世代の教育が必要と考えます。 | (男性、40代) |
| 102 | 町の施設「働く婦人の家」の名称は今の時代に合わない。できることから変えていかないと。長与町は他所よりいいとは思いますが、もっと住みよい町、住みたい町にしていくことが参画につながると思う。 | (男性、50代) |
| 103 | 継続して下さい。状況等は広報ながよ等で確認します。 | (男性、50代) |
| 104 | 男性、女性関係なく、その人の能力・意志・技術が生かされるべきである。数字合わせのように30%の女性を一定の地位に無理に入れるのは違うと思う。無理に数合わせする事で、能力のある男性が入れないというのは、逆に差別になる。入れられる女性も能力以上の事が求められ、結局その人の事を理解している事になる。 | (男性、50代) |
| 105 | 謳えば謳うほど、格差を強調することにつながることも考えておく必要があるとも思う。時間がかかるかもしれないが、幼いころからの平等意識の醸成が最も有効だと思う。 | (男性、50代) |
| 106 | 子育て世代の子供、出産無料化・学費医療の無料化、子供の教育充実（日本一） | (男性、50代) |
| 107 | 長与町男女共同参画計画の詳細内容について知りたいです。男女共同参画社会の実現は急務と考えます。日本は世界に比べ周回遅れの感じがします。女性町長の実現を希望します。このアンケートは誰が作られたのでしょうか？男性が多？女性の意見はどの程度入っているのか？このままだと日本は世界のスピードについていけなくなると思いますが。政治はもちろんです国民も変わらないといけな時期にきていると思います。出来る事からやりたいと思います。 | (男性、50代) |
| 108 | 女性を無理に引っ張り出さない。積極的な女性に対し、理由なくして拒まない事、男女問わず平等な評価、能力重視で会社も社会も行うべきであると思う。夫婦ならお互い助け合いながら互いに伸していければいいと思う。 | (男性、50代) |
| 109 | 「男女共同参画社会」の言葉自体が意識改革後退だと思う。 | (男性、50代) |
| 110 | 長与町としての啓発活動が弱い。 | (男性、50代) |
| 111 | アンケートにも記入したが、現実社会では女性が、男性にいざとなったらつらい仕事を任せる。一步下がる→男性が前に出ざるを得ない場合を何度か経験した。都合が悪い場合、男性に任せるといった考え方や行動をとる女性は残念ながら一定数存在するのではないかと！時折世間の逆の意味での男女不平等を感じることもある。 | (男性、50代) |
| 112 | 男性の方よりも、女性の考え方、意識を高める事のほうが大事ではないですか。男性よりも女性がまじめ気質な所があるように思えます。その点で女性の勤勉差を社会全体での取り組みで、男性中心を女性中心にし、男性の社会の通年を教育の立場の場所で少しずつつかえる事が大事な取り組みになるのではないですか。男の子、女の子と分ける、まつりも社会でかえる事で、意識が子供時からなじんで行くべき。 | (男性、50代) |
| 113 | 1. 男女共同参画社会という言葉だけが前歩きしていてもっと女性の方ももっと自己啓発が必要であると思います。 2. ハラスメントという言葉で男女が委縮していると思います。言いたいことも言えず、逆にコミュニケーションが取れなくなっているのも現実である。男女の溝が深まっていると思います。 | (男性、60代) |
| 114 | 女性が参加している会議に参加して思う事は、時に脱線して本来の趣旨とは異なる話になる事が多いように感じる。女性ならではの細かな心遣いに感心させられる場面もあるが、合理的に物事を進める、合理的に考えるという側面から考えるとなかなか相応しい女性は見当たらない。 | (男性、60代) |
| 115 | 今回みたいにアンケート調査をする事で皆さんの意見を聞いてもらえる機会が与えてもらったのは嬉しいと思う。 | (男性、60代) |
| 116 | 日本は古来から男性と女性の役割は民意の中に築かれている。教育で本来の日本人の生活様式を教えることがなく、戦後GHQの指針に沿った教育が歴史のわい曲を（日教組、学術会議等）行っている。性別を区別せず和をもって尊しとなし個人+家庭+地域→国家という个体感皆DNAに記憶されているのであるから、正しい歴史を教えることが子供たちに重要ではないか。 | (男性、60代) |
| 117 | ・少子高齢化がすすむ中、男性も女性も働かなければならない状況が進みつつある。そういう中、家事、子育て（保育所・学童など）、介護など、家庭で時間をとられる仕事をサポートするしくみ・環境作りをしないと、夫婦共働き（女性の社会進出含む）はなかなか進まないと感じる。 ・女性の家事を男性にシフトするという狭い考え方では、もはや労働人口の減少に歯止めをかけられないと考える。 | (男性、60代) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|-----|---|------------|
| 118 | 結婚後及び出産後において仕事を継続できるシステム構築、保育所等子供をあずける施設の充実、働き方としてフレックスタイムの導入、職場環境の改善として、育児、介護について職場内でサポートできる体制と育児、介護している事を積極的に言える職場環境が必要であると思う。女性の管理職等については女性の視点で自由発言できる環境づくりが必要。 | (男性、60代) |
| 119 | 男女共同参画という女性の問題であると思われるのですがこのことはむしろ男性の問題であり、男性の意識が低いことでおこっているように思う。育児休暇や介護休暇などはどんどん男女問わず積極的に利用していいと思うし、最近では会社等もその意識は高まっていると思う。あとは個々の方たちの意識を変えていくこと。それにはやはり地域社会での研修会などを開催していくことなどで多くの人々が男女共同参画社会に興味を持ってもらえるようにしていくことが大事だと思う。 | (男性、60代) |
| 120 | 実現にあたっては抽象的な政策ではなく町民が身近に肌で感じることができるよう具体的な政策に取り組んでいただきたい。 | (男性、60代) |
| 121 | 各地区での研修会の実施。 | (男性、60代) |
| 122 | 私の周りでは、男女共同参画社会について、特に女性の方が強く思う方があまりいない様に思える。 | (男性、60代) |
| 123 | 男女共同参画であれ、弱い人たち（意見の言えない人）にも利得があるような社会にしてほしい。立場の違いによって知りえる情報（特に役所関係）による、損得等「聞きにすれば教えるじゃなく」弱い立場の人がいたなら、平等な立場で助け合ってほしい社会にしてほしい。 | (男性、60代) |
| 124 | ・男だから女だからという意識をしない差別につながる ・給与格差をなくす。 このアンケート自体が差別意識の現状では？収入にしても仕事内容にしても同等にし（女性に働けと言うならば）女性は出産、子供を産み育てるという社会的に大切な役割があり、男が社会が協力するのは当然の事。働きたくない、家庭を守り子育てに専念したい女性もいる事を無視してはいけない。このアンケートは女性の人権を無視した差別的な内容だ。 | (男性、60代) |
| 125 | 「男女共同参画社会」の実現をバランス良く進めなくば少子高齢化、人口減少へつながって行くので意識しながら対処する必要があるのではないかと。男女共同参画政策は雇用対策の一環であるとしても思えてならない。 | (男性、70代以上) |
| 126 | 「男女共同参画社会」の実現への町づくりがどこまで考えて今まで来たのかを考えれば、他と比べてかなり進んでいると思います。しかしこれで十分とは言えないからのアンケートだろうと思います。役場の中をもっと変えることに思い至ってのことと思えずと、「どうだろうか」役場の中はどうでしょうかね。 | (男性、70代以上) |
| 127 | 性別に関係なく、それぞれがあらゆる意見を言える社会、職場などを作り、あらゆる考え方があることを社会、職場、官庁が理解し弱者を保護する、社会を樹立することが大事と考えます。役所も職場もよく考えて、発進する社会の樹立を目指すことが重要と考えます。弱者を助けられる社会を作ることが大事と考えます。 | (男性、70代以上) |
| 128 | 男女関係なく近隣の方々が感謝する心と想う心を持つことが大事だと思う。また自治会が一人の人間のための自治会ではなく、男女自治会会員が気軽に集える自治会になる様希望する。 | (男性、70代以上) |
| 129 | 本当にやる気があるのか？行政に意欲と実行力が日頃から感じとられない。行政マン全てが一度離れ自分たちを見て欲しい。才ある人材の活用ができる眼力を持つ行政人が不在なのでは。要は才無き故に才が判らないのではないのか。少数精鋭でいいから議員も役人もやる気のある者で構成していいと思う。やる気のない者は去ったほうがいい。 | (男性、70代以上) |
| 130 | 幼少期からの性差への違いや性的マイノリティへの理解と協力を教えていくこと、多様性の社会への促進と理解を認め、政治への関心を高め、主権者教育を積極的に行うこと。子育てと家庭と介護を家庭社会が共に協力出来る環境と職場づくり、管理職の知識の向上と改革が必要である。男性が積極的に子育てに参加し、家庭の仕事も分担して行うこと。役場としてもPRを更に充実させて欲しい。弱者には手厚い福祉を提供して頂きたい。高齢者には最期まで長与で住んで良かった、幸せだったと思う町づくりを願う。 | (男性、70代以上) |
| 131 | 役職への女性の登用を積極的に進める。衆議院・参議院の比例代表に女性を多数入れる。 | (男性、70代以上) |
| 132 | 「男女共同参画社会」の実現は自治会活動の活性化なくしては無理だろうと考えます。まずは自治会の中で男性の家事育児などへの参加に対して支援する、女性の働きやすい環境を作ることに取組み、徐々に男女共同参画への気運を高めて行くことが大事だろうと思う。しかし、自治会活動の現状は衰退の一路を辿っているように思えます。原因は若い家庭層の自治会離れです。何故自治会から離れていくのか？入らないほうが得するからです。自治会費（年600円）は払わなくていいし、自治会の役員を押し付けられることもない。ゴミは自由に捨てられるし。自治会に入ったほうが得になるような方法を考えるべきです。今のままでは衰退してしまいます。従って今は自治会活動の活性化に取り組むことが急務だと考えます。 | (男性、70代以上) |
| 133 | 特にありませんが、これまでのアンケートで、参画用語等について個人の知識の衰えを覚えます。今回アンケートに参加させて頂き誠に有難うございました。 | (男性、70代以上) |

| | 記述内容 | 性別、年代 |
|-----|--|------------|
| 134 | 少子高齢化社会到来が歴然となった現在、社会、企業活動の維持、発展に特に転出者（人口減）日本一の長崎においては、女性、高齢者、社会的弱者の活用促進は喫緊の課題である。政治経済、教育、福祉全ての分野において、より具体的な方針、対策の確立、実行が望まれる。 | (男性、70代以上) |
| 135 | 国、県、町、会議員をはじめ、町の各種審議会委員などで男性・女性の最低限の割合（男女比率）を定めるべきでは？ | (男性、70代以上) |
| 136 | 官公庁、国会、県、市議会から、大企業、中小企業へと手本を示して行くべきじゃないだろうか？ | (男性、70代以上) |
| 137 | 女性の社会進出や役割、女性としてのあり方等、現代がグローバルな時代と云いつつ、国の成り立ちや歴史、国境があるかないか、海洋国家かどうか等、その他様々な形態によって違いがあって当たり前でなにも西欧社会を参考にはしても、少しでも近づこうとことさら、マネをしたり努力を無理することはないと思う。男性社会であった我が国も考え方が大分変わってきているのが周囲の雰囲気で見えます。色々と規定を作ったり、数字を当てはめたりしないで普通に自然に時代の成り行きを見守っていけば、女性の社会進出も共同参画も進んで行くものと思います。余り強制的にやると必ず後でひずみが出ます。一番は女性自身が参画に意欲を持ち、意識を変えることが大事です。 | (男性、70代以上) |
| 138 | あらゆる面で女性の参加を認めること。もちろん権利だけでなく義務も男女平等。 | (男性、70代以上) |
| 139 | PTA等の集会時を多く利用し（但し、短時間）計画的に目指す「参画社会」の意識を理解してもらおう。 | (男性、70代以上) |
| 140 | 「男女共同参画社会」の理念に異論はないが、当面する最大の課題は「少子化対策」であろうと思う。子供を二人、三人と産み育てる家庭を支援する方策を最優先し、それが男女共同参画社会にもつながるのであれば良いが、後者が優先された結果少子化がさらに進んだ、ということにならないようにしてほしい。 | (男性、70代以上) |
| 141 | 高齢者（80才以上）はアンケート回答から除外した方が良いと思います。回答の内容を絞った方が良いと思います。 | (男性、70代以上) |
| 142 | 教育の分野で、私が生徒のころに嫌だと思っていたことが改善されていたら嬉しいです。例えば本当にささいなことですが、出席番号が男子が先、女子があとに、なっていたのは「男女一緒に番号順ならいいのに」とずっと思っていました。男子優先、というだけでなく男子、女子がはっきり分けられている感じが嫌だと思っていました。今は、どうでしょうか？ここ数年で、ジェンダーレスの考え方がずいぶん社会に浸透してきている感じはしますので、とても嬉しいです。 | (その他、30代) |

IV 使用した調査票

男女共同参画に関する町民アンケート 〈調査の趣旨とご協力のお願い〉

町民の皆様には、日頃より町政へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

長与町では、男女が対等なパートナーとして、共に響き合い支え合うことのできる「男女共同参画社会」の実現に向けた取組を進めています。

男女共同参画社会とは、「社会のあらゆる分野に男性も女性も対等に参画して、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を十分に発揮することができる社会」のことです。

この調査は、今後男女共同参画社会を形成する施策の推進及び、これから策定する長与町第4次男女共同参画計画の作成にあたり、町民の皆様のお考えをお聞かせ頂くために、住民基本台帳をもとに、町内在住の18歳以上の男女の方から2,000名を無作為に選ばせて頂き、実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い致します。

令和4年6月 長与町長 吉田 慎一

〈アンケート回答にあたってのお願い〉

◎回答にあたっては、原則としてあて名のご本人がお答えください。

◎このアンケートは無記名回答方式ですので名前を記入する必要はありません。また、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を公表することはありませんので率直な回答をお願いいたします。

◎質問は24問あります。回答にかかる推定所要時間は20分程度です。

〈回答方法について〉

◎記入して頂いた調査票は同封の返信用封筒に入れ、7月15日（金曜日）までにポストに投函してください。封筒への記名や切手を貼る必要はありません。

お問い合わせ先

長与町企画財政部政策企画課

男女共同参画担当

Tel : 095-801-5661

Fax : 095-883-1464

男女平等（男女の地位など）についておたずねします。

問1 すべての方におたずねします。現在の社会において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の項目についてそれぞれ1つ選んでください。（○は1つずつ）

| | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかと言えば男性の方が優遇されている | 平等である | どちらかと言えば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | わからない |
|-----------------|-----------------|----------------------|-------|----------------------|-----------------|-------|
| (1)家庭生活 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (2)職場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (3)学校教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (4)法律や制度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (5)政治や行政の方針決定の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (6)地域活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (7)慣習・しきたり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (8)社会全体 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

家庭生活や、地域活動についておたずねします。

問2 すべての方におたずねします。現在、あなたの家庭において、収入を得ることなどは、どなたがなさっていますか。また、望ましいと思う分担はどれですか。該当する項目についてそれぞれ1つ選んでください。（○は1つずつ）

| | 現実（○は1つ） | | | | | | 望ましい（○は1つ） | | | | | | | | | | | |
|---------------------|----------|-------|-----|-------|-------|-------|------------|------|-------|-----|-------|-------|-------|------|---|---|---|---|
| | 主に自分 | 主に配偶者 | 者両方 | 自分と配偶 | 家族と共に | の家族以外 | 該当なし | 主に自分 | 主に配偶者 | 者両方 | 自分と配偶 | 家族と共に | の家族以外 | 該当なし | | | | |
| (1)収入を得る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (2) 日常の家計管理 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (3) 財産の管理 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (4) 食事の準備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (5) 食事の後片付け | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (6) 掃除・洗濯 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (7) 育児（世話） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (8) 子どものしつけ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (9) 介護・看護 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (10) PTA など学校行事への参加 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (11) 自治会など地域行事等への参加 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問3 すべての方におたずねします。今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
4. 家事などを男女問わず家族で協力して行うようなしつけや育て方をする
5. 夫婦が家事などを協力して行うことについて、まわりの人が当事者の考え方を尊重する
6. 社会の中で、男性が家事などに参加することについての評価を高める
7. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
8. 男性が家事などについて関心を高めるよう啓発や情報提供を行う
9. 男性の家事などの技能を高めるような講座等を開催する
10. 男性が子育てや介護、地域活動を行うためのネットワークづくりをすすめる
11. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
12. 必要性を感じない
13. その他 ()

男女の働き方についておたずねします。

問4 すべての方におたずねします。あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。(〇は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そうは思わない

問5 すべての方におたずねします。あなたは、「女性が仕事をする事」についてどのように思いますか。(〇は1つだけ)

1. 結婚するまでは職業をもったほうがいい
2. 子どもができるまでは職業をもったほうがいい
3. 子どもをもってもずっと職業を続けるほうがいい
4. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がいい
5. 女性は職業をもたないほうがいい
6. わからない

問6 すべての方におたずねします。子育てや介護によりいったん離職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 職業に関する情報を積極的に提供する
2. 働くための技能を身につける機会を増やす
3. 結婚・出産などによる退職者が再就職しやすい制度を促進する
4. 働き方を選択できるような制度を取り入れる
5. 採用の年齢制限の廃止や緩和を促進する
6. 女性が働くことに対する、家族や職場など周囲の理解・協力を深める
7. 育児や介護のための施設やサービスを充実する
8. 特に必要なことはない
9. その他 ()
10. わからない

問7 すべての方におたずねします。男性が育児休業制度や介護休業制度を利用することについてどう考えますか。次の項目についてそれぞれ1つ選んでください。(〇は1つずつ)

| | 積極的に取った方がよい | どちらかといえば取ったほうがよい | どちらかといえば取らないほうがよい | 取らない方がよい | わからない |
|----------|-------------|------------------|-------------------|----------|-------|
| (1) 育児休業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (2) 介護休業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問8 すべての方におたずねします。男性の育児、介護休暇がとりにくい状況があるように言われていますが、そのことについてどう思いますか。(〇は2つまで)

1. 育児・介護休暇制度を利用しても不利にならない人事評価制度をつくったほうがよい
2. 短時間勤務や在宅勤務など柔軟な働き方を整備したほうがよい
3. 職場や上司の理解・協力が必要
4. 「男は仕事、女は家庭」という社会通念を改めたほうがよい
5. 代替要員の確保など、業務に支障がでないようにする
6. 男性が育児、介護休暇を取得する必要性を感じない
7. その他 ()

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておたずねします。

問9 すべての方におたずねします。仕事と生活（家庭生活、趣味や学習などの個人の時間、地域活動など）の優先度について、「現実」と「希望」それぞれについて最も近いお考えを選んでください。

| 現実 (〇は1つ) | 希望 (〇は1つ) |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活より仕事を優先 2. 仕事と生活を両立 3. 仕事より生活を優先 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活より仕事を優先 2. 仕事と生活を両立 3. 仕事より生活を優先 |

問10 すべての方におたずねします。男女が共に、仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 配偶者が家事・育児・介護を分担し、協力する
2. 女性が働くことに対する家庭や地域の理解を深める
3. 「育児・介護等は女性がするもの」という社会通念をかえる
4. 育児・介護休業制度、短時間勤務制度を取得しやすい職場環境をつくる
5. 在宅勤務やフレックスタイム（時差勤務）の導入と活用できる職場環境をつくる
6. 育児や介護等のための施設やサービスを充実する
7. 再就職のための職業訓練、就業・起業相談及び情報の提供を行う
8. 女性の自覚や意欲・能力を向上させる
9. 必要性を感じない
10. その他 ()

女性の活躍推進についておたずねします。

問1 1 すべての方におたずねします。政治や企業、地域活動において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 男性優位の組織運営がある
2. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない
3. 家族の支援・協力が得られない
4. 女性側の積極性が十分でない
5. 女性の能力開発の機会が十分でない
6. 性別による役割分担や性差別の意識が高い
7. その他 ()
8. わからない

問1 2 すべての方におたずねします。職場において女性の活躍を推進するためには、どのようなことが必要だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 女性の雇用を促進する
2. 新たな職種を目指す女性に対し知識や技能習得のための研修などを実施し支援する
3. 育児・介護休業制度、短時間勤務制度など仕事と家庭が両立できる体制づくりを推進する
4. 管理職に女性を積極的に登用する
5. 長時間労働の是正や休暇取得を促進する
6. 職場内における固定的な性別役割分担意識を改善、解消する
7. 男性の家事・育児などへの参加を促進する
8. 女性の活躍促進に取り組む企業への助成制度について情報提供を行う
9. その他 ()

問1 3 すべての方におたずねします。地域において女性の活躍を推進するためには、どのようなことが必要だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 地域活動のリーダーに女性を積極的に登用する
2. 地域の会議や集会への女性の参加を推進する
3. 女性が地域活動に積極的に参加することに対する女性自身の抵抗感をなくす
4. 社会の中で、女性が地域で活躍することについての評価を高める
5. 女性が地域で活躍することについて家族が理解し協力をする
6. 地域で活躍している女性の講演会を開催するなど交流を図る
7. 男女問わず優秀な人材が活躍できる社会づくりを行う
8. 男性の家事・育児などへの参加を促進する
9. その他 ()

ハラスメントについておたずねします。

問14 すべての方におたずねします。あなたの身近なところ（職場・学校・地域活動など）で次のようなハラスメントを経験したり、見聞きしたことがありますか。また、それはどこで起きましたか。（〇は1つずつ）

| | ある | | | | ない |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----------|----|
| | 職場で | 学校で | 地域で | その他（具体的に） | |
| (1)セクシャル・ハラスメント※1を受けたこと | 1 | 2 | 3 | 4 () | 5 |
| (2)マタニティ・ハラスメント※2を受けたこと | 1 | 2 | 3 | 4 () | 5 |
| (3)パタニティ・ハラスメント※3を受けたこと | 1 | 2 | 3 | 4 () | 5 |
| (4)パワー・ハラスメント※4を受けたこと | 1 | 2 | 3 | 4 () | 5 |
| (5)上記の行為を身近な人が受けているのを見聞きしたこと | 1 | 2 | 3 | 4 () | 5 |

- ※1 相手の意に反する性的な言葉や行為によって、不快や不安な状態に追い込むことや、それらの言動を拒否したことで、解雇、降格、減給などの不利益を受けること
 ※2 妊娠や出産・育児休業などを理由に精神的・身体的苦痛を与える言葉や行為を行うことや、雇用条件などの面で不当な扱いをすること
 ※3 育児のために休暇や時短勤務の取得を希望する男性社員に対して、職場の上司や同僚がその制度を受けるのを妨害するような嫌がらせ行為のこと
 ※4 職務上の地位や人間関係などの権限や優位性を背景として、精神的・身体的苦痛を与えるまたは職場環境を悪化させること

配偶者や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス「DV」）についておたずねします。

問15 すべての方におたずねします。あなたは、これまでにあなたの夫または妻や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。（〇はいくつでも）

1. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けたことがある
2. 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けたことがある
3. いやがっているのに、性的行為を強要されたことがある
4. 何を言っても無視され続けたことがある
5. 交友関係や電話を細かく監視されたことがある
6. 「だれのおかげで生活できているんだ」とか「かいしょうなし」などと言われたことがある
7. 生活費を渡されないなど、経済的におさえつけられたことがある
8. 配偶者や交際相手からの暴力は今までなかった

※問15の質問で、1～7を選んだ方にお聞きします。

問16 あなたはそのことについて、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。

（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 警察に連絡・相談した | 2. 公的な相談窓口や電話相談に相談した |
| 3. 民間の機関（弁護士など）に相談した | 4. 医師・カウンセラーに相談した |
| 5. 家族に相談した | 6. 友人・知人に相談した |
| 7. その他 () | |
| 8. どこ（だれ）にも相談しなかった | |

※問16で「8 どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した方におたずねします。

問17 相談しなかったのはなぜですか。(〇は3つまで)

1. だれ(どこ)に相談してよいかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたりもっとひどい暴力を受けたりと思ったから
5. 相談すると、担当者の言動で自分が不愉快な思いをすと思ったから
6. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 世間体が悪いから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. そのことについて思い出したくなかったから
10. 自分にも悪いところがあると思ったから
11. 相談するほどの事ではないと思ったから
12. その他()

性の多様性についておたずねします。

問18 すべての方におたずねします。あなたは、性的マイノリティ(性的少数者)という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

1. 詳しく知っている
2. おおよそ知っている
3. 言葉は聞いたことがある
4. 知らなかった

問19 すべての方におたずねします。あなたは、今まで自分の性別や恋愛対象となる性別などについて悩んだことはありますか。(〇は1つ)

1. 悩んだことがある
2. 多少悩んだことがある
3. あまり悩んだことはない
4. 悩んだことはない

防災分野における男女共同参画についておたずねします。

問20 すべての方におたずねします。防災・災害復興活動において、性別に配慮した対応としてどのような対応が必要だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 男女別のトイレ、更衣室や授乳室の確保など、性別に配慮した避難所運営
2. 物資の備蓄において、男女ごとのニーズや子育て家庭、介護者、障がい者等の視点を入れる
3. 避難所運営で、責任者に男女がともに配置され、男女両方の視点が入るようにする
4. 自主防災組織への女性の参画を促進する
5. 防災分野の委員会や会議に女性の参画を拡大する
6. 男女の性別に関わらず、日頃から地域でのつながりを大切にする
7. その他()

子どもへの男女共同参画教育についておたずねします。

問21 すべての方におたずねします。男女共同参画社会を実現するためには、学校教育の場で何が必要と思いますか。(〇は2つまで)

1. 男女平等の意識と相互の理解や協力の大切さについての学習指導を充実する
2. 男女共同参画の理念を理解し教育に反映できるような教職員対象の研修会を実施する
3. 管理職(校長や教頭など)に女性を増やしていく
4. 生活や進路指導で、男女の区別なく能力を生かせる選択ができるよう支援していく
5. 人権尊重の立場にたった性教育の充実
6. 学校生活において男女がお互いに協力し尊重し合う校風を作り上げる
7. その他()

男女共同参画の実現についておたずねします。

問22 すべての方におたずねします。男女共同参画社会を実現するために、今後はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 学校での男女共同参画についての教育の充実
2. 男女平等に関する情報提供や学習機会を充実し啓発をすすめる
3. 女性の職業教育・訓練の機会の充実
4. 保育施設の充実と子育て支援
5. あらゆる分野における女性の積極的登用
6. 政策決定、意志決定への女性の参画
7. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知を徹底する
8. ひとり親家庭の生活安定と自立促進
9. 男女の自立した社会参画のための高齢者・障がい者の生活環境整備や支援
10. 男女の身体的性差への理解をふまえた健康づくりのための健診体制や相談体制の充実
11. 性的マイノリティ(性的少数者)※1について正しい理解を深めるための啓発や支援
(※1 こころの性とからだの性が一致しない、あるいはこころの性がはっきりとしない人たちの総称)
12. その他()

長与町男女共同参画アンケート調査 結果報告書

発行日：2022年（令和4年）度

発行：長与町企画財政部政策企画課

長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷 659 番地 1

電話：095-883-1111（代表）